満洲日報

八月三十日發行

政府、政友正面衝突

閣内の意見纏まらず 政友との妥協不可能

成行如何で政局重大化

【東京二十九日發】政府は政友會の率勢米價削除に對し、後藤農相頑強に反對し、負債整理組合中央金庫法案には高橋藏相頑強に反對し居るため閣内の意見を纏めるに至らず遂に政友との妥協不可能となり政友の主張通り衆議院を通過した場合、後藤農相に反對を言明せしめ、貴族院の決定に委す事となつた結果、貴族院が政府案を支持すれば茲に兩院協議會となり右協議會で政府側に有利に決定されたとしても、右決定案を更に兩院本會議に上程採決するものでこの場合政友會が如何にするか、若し政友會が否決すれば政局は重大化する事となるがこの點未だ政友の態度は決してないが、問題はこの場合高橋、三土、鳩山三相が黨議に服すべきか、閣議に服すべきかの問題を惹起するのでこの點も注目される

【東京二十九日發】政府が政友會との妥協餘地なしと觀て會期三日間延長を決したので、政友會も亦獨自の方針により政府が反對するとに拘らず政府案の修正の要あるものは修正し、政友會提出二案を可決し貴族院通過に努力する事に決定した

政友、强硬方針に邁進

政府側は背水の陣を布く

【東京三十日發】政友會の豫算案並に重要法案に對する態度は既に廿九日朝の幹部會において決定せる通り豫算案は之を承認支持し、黨提出の負債整理組合中央金庫法案及び率勢米價廢止を根幹とする米穀法中改正法案は飽く迄之を固執する事として政府案との立法技術上の取扱ひを山崎政務調査會長並に東、大口兩特別委員長に一任したが、右三氏と黨首腦部との間に協議の結果

一、政友會提出の**負債整理組合中央金庫法案はその儘通過せしむる**

一、**政府提案の負債整理組合法案は多少の修正を加へて通過せしむる**

一、**政府提案の米穀應急施設法案は否決する**

一、政府提案の米穀需給調節特別會計法中改正法案は米の買上金額七千萬圓を增額して二億圓に修正して通過せしむる

一、政友會提出の**米穀法中改正法案**(卽ち率勢米價廢止を根本とする案)**は飽く迄之が通過を圖る**

といふに決定し、既定の强硬方針を以て一路邁進し、政府の如何なる妥協をも之を排撃することに態度を決定した、而して**政府も最早や政友會に妥協の餘地なしと見て背水の陣を布き貴族院において之を否決し去らんとの方途を立て**關係筋を運つて種々之が畫策を講じてゐる模樣であるが、政友會はこの裏を掻き先づ自黨案のみを先に衆議院を通過せしめて貴族院の之に對する態度を見る迄衆議院において之を押へて政府案も共に葬らんとするの

【東京三十日發】政府は問題の兩案に對する政友會の態度依然强硬で二十九日朝來岡田海相の妥協調停も遂に水泡に歸し、政友會に互讓の餘地無き事が明瞭となつたので、政府も一切の諒解運動を中止し斷然政府原案を固執する事になつた、この結果政友會は政府提出米穀關係二法案の中米穀應急施設案を否決し米穀需給資金增額案に

政府は前途を樂觀す

内閣の運命に關せずとて

【東京三十日發】政府は政友會との正面衝突に關しては成行に放任し貴族院の審議に俟つこと〻なつてゐるが、政府筋の見る處によれば政府提出の農村負擔整理案は結局兩院通過は疑ひなく政友會提案の中央金庫案は富裕類似のものあるため例へ衆議院を通過しても貴族院において否決さる〻ものと認めをり、政友會案の率勢米價削除の米穀案は多數を以て衆議院を通過すべきも貴族院の形勢逆睹し難きものあり、若し否決さるれば其れ迄の事で例へ通過するとも後藤農相の進退に迄及ぶものに非ず、況んや内閣の運命に迄關するものに非ずとしてゐる、只政友會は政府の米穀需給案を否決せんとしてゐるが、政府も之は諦めてゐるから結局大した事なく前途を樂觀してゐる

作戰を採るもの〻如く最早政友會と政府とは全く正面衝突の狀態に陷り一歩誤れば政局に重大なる波紋を生じはせぬかと憂慮されてゐる

林總裁歸任期

【東京特電三十日發】臨時議會出席のため上京中の林滿鐵總裁は各種の事情により議案の審議が遲れ議會會期三日間延長となつたので同總裁の歸連が遲れ九月九日には歸れず同月中旬以後となる模樣

貴院の諒解に努力

會期の再延長は不可能

【東京三十日發】政府は衆議院の議事進行狀態に鑑み三日間の會期延長御裁可を仰いだが、右は衆議院における豫算案重要法案の審議が三十、三十一兩日で全部議了し貴族院の審議は大體二日間で足りるとの見通しに依る、然し各種重要案件審議に會期不足を告げ更に延長により通過確實と見られる場合、護憲内閣當時に做ひ最大限度の一日延長は已むを得すと考慮されてゐる模樣だが、再延長は政府の不明を暴露する一大醜態で政府の責任を生ずるので政府は九月二日までに諸案通過を圖るべく貴族院の諒解に努める方針である

飽迄所信を枉げず

後藤農相決意

【東京三十日發】二十九日の議會散會後後藤農相は米價問題について語る

率勢米價は廢止しない事に既に閣議で政府の方針を決定してゐる、故に自分としてもこれに對し廢止に反對だ、例へ政友會案が兩院を通過してもこれに同意は出來ぬ

と飽く迄所信を枉げぬ決意を披瀝した

衆院本會議

直に休憩

議員數少なく

【東京三十日發】三十日の衆議院本會議は定刻より遲れ午前十時三十分振鈴、今日が最終日だつた會期も三日間延長されたので議員着席至つて悪く傍聽席のみ滿員、同二十五分議長着席、議員定數を缺く程少い議場をながめ開會を躊躇してゐたが、政友會の大部分は却々入場しないので稍あつて議長開會を宣した後暫時休憩を宣して二十六分休憩に入る

吉林總務廳長

三浦氏來連

前關東廳内務局長三浦碌郞氏は今回吉林總務廳長として新國家に迎へられ卅日入港うすりい丸で來滿した埠頭には出迎への顔なじみも多く同氏はなつかしげに語る

新國家に行く事は殆ど決定してゐるが、まだ内定だ滿洲は最近迄居つたところで故郷に歸つて來た樣な氣がする、取敢ず新京に行くが多分吉林で仕事に就く樣になるだらう、今後は各種の問題がある事と思ふがこんな際は夫々分に應じて大事業の完成に努めねばならぬ、各自專問に全力をつくして良いものを作りあげる、そんな氣持が大事だと考へる、とにかく氣永にやるんだね、吉林は關東廳に在職中一度視察に行つた事があるが鐵道でも完成したら交通上の重要な地點になると思ふがそれだけに責任は重い、今日は遼東ホテルに投宿の豫定だ

……深く記憶したい事は皇軍奮闘と同時に部下の職員の獻身的努力殊に警察官吏、滿鐵現業員の覺悟ある奮闘に對し深く感激の言葉を捧げたい、同時にその間成立した滿洲國家の要路の人達が建設に盡力された事に對し謝意を表する

今回職を離れても滿蒙に對しては微力を盡したい(寫眞は甲板上の山岡氏)

ばいかる丸船客

【門司特電三十日發】一日大連入港豫定のばいかる丸の主なる船客諸氏

淸安也、川村多實二、大森德作、金子陽介、臼田種吉

人事

▲吉原矩氏(陸軍工兵少佐)三十日午前十時出帆香港丸にて歸國
▲内山福三氏(同工兵大尉)同上
▲田島互氏(陸軍技師)同上
▲赤木周陸氏(砲兵大尉)同上
▲安藤妙子孃(旅順要塞司令官安藤紀三郞中將令孃)同上
▲三浦碌郞氏(滿洲國吉林總務廳長)三十日入港うすりい丸にて來連
▲一見庭造氏(拓務省官吏)同上
▲田村一郞氏(同上)同上
▲加藤久男氏(同上)同上
▲原嶋四郞氏(滿洲國勸業司長)同上
▲西健氏(東京帝大教授)同上
▲矢内原忠雄氏(同上)同上
▲野宮定茂氏(同上)同上
▲薗部一郞氏(同上講師)同上
▲丹下正治氏(九州帝大教授)同上
▲寺岡信人氏(外務省官吏)同上
▲星野桂吉氏(中央滿蒙協會)同上
▲伊庭榮次郞氏(大阪梅花女學校長)同上
▲岩崎作義氏(撫順炭販賣會社)外四名同上
▲代喜純孝氏(山下汽船上海支店長)同上
▲本庄潔三氏(陸軍少將)同上
▲小玉吞象氏(易學者)同上
▲小川順之助氏(大連市長)同上
▲庵谷忱氏(奉天商工會頭)同上歸滿
▲山岡萬之助氏(前關東長官)三十日午前十時出帆香港丸にて家族同伴歸國
▲小阪隆雄氏(同上前秘書官)同上
▲藤原幹治氏(前滿鐵囑託將校工兵少佐)同上赴任の途につく
▲恒吉秀雄氏(前關東軍高級副官步兵大佐)同上
▲村上キミ子夫人(滿鐵村上理事夫人)同上
▲中村新八郞氏(東京興亞學塾教授)同上
▲山崎百治氏(宇都宮高農教授)同上

伍堂滿鐵理事

【東京特電三十日發】日滿經濟統制聯合同會議準備のため商工省の希望により滯京中の伍堂理事は目下臨時議會のため對政府關係が閑散となつたので九月一日夜一先づ離京歸連の途につくことになり途中大阪に一泊社用を果す筈である

品川氏赴任

【東京三十日發】前宮城縣内務部長品川主計氏は三十日午前九時東京驛發滿洲國へ赴任した

滿蒙の戰慄(86)

直木三十五作　淺枝次朗畫

轉落(七ノ一)

上東は、胃に、痛みを感じてきた。それは、いつも、よく飲食する解からきた、胃酸過多的な胃が餓りに、すきゝつてきたかららしかつた。

足も痛んできた。だが、道は、深い土埃の田舍道になつて、楊柳が、見えてゐるし、家屋も、支那家屋のみが、點在してゐるだけであつた。

(この道を行くと、何處へ出るか)

上東は、そう考へながら

(何處でもいゝ——捕まりさへしなければ、——例令、匪賊の爲に殺されても——)

そんな事を思ひながら、疑問着の裾をまくつて歩いてゐたが——

(そうだ、この着物では、日本人に、一人でも逢へば、その口から發覺するだらう)

そう思ふと、上東は、畑を横切つて、一軒の支那人の家へ近づいて行つた。豚と、あひるとが、濁い川の近くや、川の中にゐた。楊柳だけが、空だけが、美しかつた。

(甍瓦?)塀の中の、同じ建物の中へ入らうとすると、塀の中で、何かしてゐた支那人が、振向いた。上東は

「おい」

支那人は、ぢつと、顔を見たまゝ、家の中へ入りかけた。

「日本語、わかるか」

支那人は、手を振つて、何か云つたが、上東には、わからなかつた。家の中から、子供が、一寸、顔を出して、すぐ、引込んだ。暗い土間の中から、一人の老人が

「いけない」

と、云つて、出てきた。

「金やる、着物、賣つてくれんか」

「さもの?」

子供が二人出てきたし、家が一人出てきて、……

支那人は、笑つて、それを、子供に渡すと、婆が、すぐ、取上げて、中へ、何か云ひつゝ、入つて行つた。支那人は、袴をとつた。そして、上東は、疑問着を、脱いだ。そして、二人の裸の男は、お互に笑ひながら、着物を交換したが、上東が、上衣をつけると

「よく似合ふ」

と、支那人が云つた。

「履く物」

と、上東が、自分の足を叩いて濁い足の裏へ、履き物を、はかせる眞似をした。支那人が、頷いて何か、内部へ怒鳴ると、暫くして別の男が、新らしい木の履をもつてきた。

「水」

上東は、手で水をのむ手つきをした。支那人が

「入れ」

と、云つた。

「食べ物あるか」

「ある」

上東は、ほつと、豪勢の底から息をついて、濁と、煙突のある土間の中へ、入つて行つた。

人出てきて、ぢつと、上東をみてゐた。上東は、腹卷の中から、紙幣を一枚、取出して

「これで、その 着物、賣つ てくれ」

と、老人の 衣服を、引つ ぱつた。老人は、笑つて、頷いた、そして、上東のもつてゐる紙幣を、手にとると、暫く、ぢつと、見てゐたが、手早く、服の中へ入れてしまつて

「脫ぐ」

と、いふと、上衣を、脫して、上東へ渡した。埃と、垢と、臭氣とが、鼻へにほつてきた。だが、上東は

(これさへあれば、大丈夫だ)

と、思ひつゝ、帶をといて

「これ、やる」

「くれる」

本庄凱旋將軍

けふ各方面に挨拶

昨秋事變以來の後援に對して

……を明かした凱旋將軍本庄軍事參議官は三十日午前十時二十分幕僚を伴つて**滿鐵本社**を訪問、八田副總裁の案内で總裁應接室に入り、副總裁はじめ山西、竹中兩理事、山崎、武部、市川、富永、猪田各次長より交々凱旋の祝辭を受け、「有難う」と一々鄭重に答禮、三種の盃を擧げ健康を祝し合ひ、將軍は

滿鐵社員の方々には事變以來一方ならぬ御世話になりました

と感謝の辭を述べ、社員多數の見送りを受け、約十分にして次いで市役所に小川市長を訪問し

在任中は公私とも多大の御同情と御後援を得、感謝に堪へぬ、また事變に際しては軍隊慰問その他に種々御盡力下された大連市民に厚く御禮を申上ぐ

と謝意を表し惜別の辭を述べ約十分後辭去、それより**大連神社**に到り石本、福田、松田諸氏ら總代參列の上同十時四十分神前に玉串を捧げて參拜、同十一時四十分星ケ浦水明莊に病氣靜養中の于沖漢氏を訪問、病氣を見舞ひ惜別の辭を述べ約二十分會談、正午星の家における八田滿鐵副總裁の招待午餐會に臨んだ

滿鐵首腦部の招待

滿鐵首腦部では三十日正午本庄軍司令官を星の家に招待午餐を共にした

凱旋狀況放送

大連放送局では九月二日うすりい丸で離滿する本庄將軍の凱旋を送るためマイクロフオンを埠頭待合所、同貴賓室及びうすりい丸船上の三箇所に設備し當日午前九時三十分ころより歡送の情景を放送すると共に船上における將軍の告別の言葉を放送する、また當日の埠頭は混雜を極めると豫想されるが不逞人物の侵入をも防ぐため三十一日午前水上署並に滿鐵埠頭憲兵隊等の間で警備會議を開催する事となつた

滿鐵社員に對し感謝狀を贈る

本庄前軍司令官から

前關東軍司令官本庄中將は今回離滿に際し今次事變に多大の功績を殘した滿鐵社員一同に對し左の感謝狀を贈つたが、滿鐵では卅日協和會館における本庄將軍感謝送別會で山崎總務部次長が社員一同にこれを披露すること〻なつた

感謝狀

客歲九月十八日滿洲事變勃發するや社員各位は能く今次事變の重大性を認識し眞に軍民一致の範を垂れたり

抑々大作戰は鐵道なくして遂行し難く機動作戰は愈々之に依て光彩を放つ神速なる關東軍の行動は實に帝國の實力を背景とする貴線道戰存の賜なり

而も武裝なき社員各位が驚劇なる軍事輸送に從ひつ〻勇躍して敵地におくさる…の日本精神の發露とは謂へ本職の最も欣快とし最も感謝に堪へざる所なり、唯々殉職に斃れたる社員と遺族とを想へば寔に斷腸の思ひあり

茲に大命に接し終生思出の地たるべき滿洲を離る〻に方り社員各位の偉績と後援とに對し衷心より感謝の意を表す

あす旅順へ

滯滿中の本庄軍事參議官は三十一日午後四時三十分大連驛發同六時五分旅順着、黃金臺ヤマトホテルに投宿、一日旅順各方面を應訪離滿挨拶する筈

けふの本庄將軍

寫眞(上)は大連神社に凱旋奉告の將軍と(下)は滿鐵本社を訪問の將軍と見送る八田副總裁

調査報告書の結論取止主張

佛委員クローデル氏

【北平二十九日發】聯盟調査團は愈々本日より結論作成の最終討議に入つたが、リツトン卿の法理一點張りに對し、フランスのクローデル氏は**結論は却つて極東の紛糾を增大する**として結論取止めを主張し三十一日の報告完了は難かしくなつた【寫眞はクローデル氏】

技術局會議

歸省中の滿鐵技術局庶務課長由利元吉氏は三十日朝歸連したので技術局では午前十時から次長室に根橋次長以下各審査役、木村地質調查所長、由利課長等參集第一回技術局昭和八年度事業豫算の打合せ會を開いた

各方面の協力を心から感謝

けふ離滿に際して

山岡前關東長官談

前關東長官山岡萬之助氏は夫人令孃同伴、小阪前秘書官帶同、三十日出帆香港丸で離滿の途についた埠頭には關東廳側林警務、目下内務兩局長はじめ各部課長等滿鐵側より八田副總裁等、それに安藤要塞司令官、小川市長ら旅大官民多數見送り特に水上署所有淡海丸で神まで名殘りを惜むものもあつた長官はサロンにおいて離滿にのぞみ記者團に左の如く語る

在職僅かにして去るが私が離滿に際して諸君にお話したいのは赴任當時はまことに時局の容易ならぬ時であつたが幸ひ大過なく經過した事はよろこびに堪へぬ、これは全く各方面の御同情と御聲援の賜もので眞に感謝するところだ、後任の長官は德望一世に高い人で新長官により關東廳の事務は作興するであらうと確信する、そして去るに當り

蛇角

盛んなる歡送迎、輝かしき設本庄將軍、旅大の一兩日は正に「本庄デー」である。

◇

お前もお前なら、俺も俺、政府と政友會が背中合せで互にツンとしながら前進する。

◇

これが擧國一致内閣と、それを支持する者の行動、國民は怪訝な顔で「一たい何うして異れる?」

◇

閣議に忠ならんと欲すれば黨議に不孝、黨議に孝ならんと欲すれば閣議に不忠。

◇

今重盛の三閣僚、高橋、三土、鳩山諸氏の悲歎場もあり。

◇

晴雲、驟雨、而して斷腸、しい天候恰も政界昨今の雲行のやうに。

夢うつゝに飛び起き 匪賊に戰く童心

聽け！安奉線中間驛の辛苦

二十九日安東にて　能勢特派員發

國際鐵道たる安奉線を死守する滿鐵從業員を慰問する十河理事、郡社員會幹事長、郡同相談部長の一行は二十九日午後益々感激の度を高めつゝ安東に向ふ、本溪湖安東間の二十驛中九驛は總て驛そのものが襲撃されると云ふ最後的洗禮を受け今なほ所々に殘つてゐる彈痕は當時を物語つてゐる、枕木や土砂で築造した防塞や鐵條網を背にして整列した從業員とその家族は勿論皇軍や警官の代表も一行より懇ろなる慰問と慰問品を受け何れも凛々しい面持に或は頭を垂れて或は決意の瞳を輝かす、命を的に鐵道を守ると云ふことは理窟や金では出來ない、止むに止まれぬ高調しきつた崇高な犧牲的獻身的なものによつてのみ遂行されることを一行は眼のあたり感ぜしめられて思はず頭を下げる、そしてどの驛長も申し合せた樣に一渡り驛情の經過を報告した後

我々は死すとも自分の鐵道と任務を守ります、非常に緊張してゐる故か案外病人も出ません、また保線狀態も二倍の勢力を要しこそすれ事變前より惡くなつてゐません、御心配下さるな、御安心下さい

と云ふ意味のことを述べる、それは理性と意氣の交錯した縄もしくも悲壯な言葉ではないか、居並ぶ社員や夫人達は僞はれて

會社ばかりでなく御國のために盡さなければならぬ當然の勤務だと云ふことを主人から聞かされてゐますのでさう苦にもなりません

或は

晝稽古してゐる關係からこの兒が夜中にすわ馬賊だと突然飛び起きて床の下に潜り込まうとすることがあります

と云ふ樣な純情溢ちた話も出る、併し何分短い時間内で而も夫人達に對する慰問は最後に行はれるので慰問使等もこれ等の言葉に對して挨拶する遑なく只お辭儀を以て千言萬句に代へて進行を始めた列車を追ひかけて飛び乘ると云ふ有樣だ、かくて言葉に盡せぬ慰問の眞を殘し何とも形容し切れぬ交々の感慨を胸に秘めて一行は安東に着いたが、驛舍に參入した從業員一同に對し十河理事並に郡幹事長より一場の懇切なる慰問の挨拶をなした後一行は安奉線慰問を終へて同夜安東に泊つた【安東電話】

昨夜姚千戸屯驛と歪頭山驛襲撃

救援に臨時列車運轉

二十九日午後十一時頃殆ど時を同じうして安奉線姚千戸屯驛には三百名歪頭山驛には十數名の匪賊が包圍襲撃して來たので同地駐在我が警官は蘇家屯署より來たれる應援隊と協力して猛烈な交戰の後これを撃退した、在住民は多大の恐怖にかられ安全地帶に避難するものあり引續き大警戒中である【奉天電話】

廿九日午後十時ごろ歪頭山驛を十五、六名の匪賊が襲撃し、なほ後方に大部隊が控へる形勢があつたゝめ守備兵〇名警官十六名、驛員六名應戰これを撃退した、然るに賊は直に逆襲し、更に午後十一時四十分ごろ約二百名の匪賊が三方から姚千戸屯驛舍を攻撃、わが守備兵、警官、驛員と交戰、この報に奉天及び本溪湖から三臨時列車で應援隊が出動したが賊團は何れも臨時列車の到着前午前一時十分に逃走した

出發午前十時十五分頃吳家屯、陳相屯間にさしかゝるや三十名の匪賊が線路の西側より襲撃したのでこれを撃退したがこれがため公安隊員一名頭部に重傷を負ふた外窓硝子三枚破壞された【奉天電話】

今曉、千山驛も砲撃を受く

鞍山署から救援撃退

滿鐵に入つた情報によれば廿九日安奉線姚千戸屯附近に大部隊の匪賊が現はれ驛舍襲撃、橋梁破壞を敢行するとの報が傳はつてゐたが千山西方にあつた約二百の賊は更に賊二百五十を増し附近部落賊と合流匪賊約一千名は一擧に千山を占領し鐵路を破壞する計畫を樹てつゝあるとの情報が頻々として千山派出所に入るので千山附屬地は異常に緊張し自衛團を招集して嚴戒中三十日午前零時十五分支那町守備隊兵舍の二方面より突如砲撃を受けたので大部隊の襲撃と鞍山警察署に急報救援を求めた、本署では非常招集を行ひ山本、土田兩警部補約二十名の警官を率ゐ臨時列車にて出動二百米の地點より猛射を浴びせ難なく撃退した、賊數は判明せぬも賊の尖兵が鐵道東に移動せんとして牽制射撃を行つたものではないかと觀測されてゐる守備隊からも數名出動警戒した【鞍山電話】

線路作業中襲撃さる 警戒員が應戰

廿九日午後零時二十分大石橋分水間二四五キロ附近において滿鐵保線員が作業中約三十名の匪賊が襲撃して來たが警戒員應戰これを撃退した

混合列車射撃

二十九日午前九時安奉線本溪湖發奉天公安隊員八十名その他我警官隊の乘車せる二百三號混合列車が

恒吉大佐が凱旋

藤原少佐も同船歸國

關東軍高級副官として滿洲事變に活躍した恒吉忠雄歩兵大佐は今回陸軍士官學校生徒隊長に榮轉し三十日午前十時出帆香港丸にて家族同伴凱旋の途についた

在滿期間三年前秦軍司令官と共に來滿して始めての忙はしい日を送つたが、今回の事變に際して同胞の示された一致團結の愛國心には直接戰鬪に參加せる我々は何れだけ勇氣づけられたか知れない

在滿邦人は勿論内地の國民はおろか在外邦人より寄せられた慰問、激勵の熱援には感激おく能はざるものがあつた、幸ひ大過なく任務をはたし得たのもこれ亦全國民の熱烈なる御後援に依るもので深く感謝してゐる、事變中の多忙も何等苦しみもなく月日を忘れて奮鬪し得た事は同胞の示されたこの熱誠なる愛國心の結果である、滿洲を去るに臨み貴紙を通じ在滿諸氏によろしく御傳へ願ひたい

また在滿二年半滿鐵囑託將校として事變に際しては殊に盡力した藤原幹治工兵少佐は今回千葉鐵道第二聯隊に榮轉し香港丸にて家族同伴赴任の途についたが

同少佐は軍事鐵道の事務多忙に日を送るうち昨年六月誕生の双生嗣子忠、孝兩君が腸炎にて四ケ月餘も入院生死の境界をさまよつてゐたるも家庭を顧る暇もなく邦家のため活躍された氏の責任感の強さを賞讃すると共に武人の典型として敬仰されてゐる【寫眞は右恒吉大佐と藤原少佐】

愛犬のお手柄で持兇器犯人逮捕

逃走したのを追跡し

卅日午前一時過ぎ市内聖徳街三丁目聖徳太子堂附近を大連方面より歸途の二人連れ擧動不審者を同所警戒中の沙河口署中屋刑事が誰何したところ怪漢は西方に向け逃走したのを中屋刑事は携行中の愛犬シェパートを放つて追跡せしめ兩名が市内福星街某所に潜伏してゐるのを難なく逮捕し本署に連行したが

この兩名は市内…郎こと有平樂(二二)及び瓦房店生れ宮萬山(二七)で去る十五日ごろ深夜星ヶ浦公園内某別莊に侵入し寫眞器一臺及び現金五十圓を窃取した外同地方面の文化住宅を荒し廻つた棒泥坊で現に餘罪四十數件を自白して居るがこの兩名は何れも前科二犯三犯を有し常に懷中には拳銃短刀を所持し同夜逮捕の際も危く犧牲者を出すところを中屋刑事愛犬シェパードの活躍で未然に捕縛することが出來たものである

東支各線と呼海線復舊進む

長春哈市間の直通列車は四、五日中に運轉

滿鐵々道部に入つた東支鐵道、呼海線の水害狀況は左の如くで漸次復舊完成を見つゝある

東部線 哈市、一面坡間は去る二十七日から列車の運轉を開始、一面坡以東橫道河子間は目下修理中にて復舊には約十日を要する見込

西部線 廟臺子の破壞點は二十八日東支鐵道副局長の言によれば三十一日までに復舊の見込

南部線 蔡家溝、双城堡間不通箇所を木材積無側車一輛を以て不通後第一回の試運轉を行つたところサンドルを組んだ箇所の路盤遂に崩壞した、更にサンドルを組むためには二、三日を要するに就き長春ハルピン間直通列車の運轉はなほ四、五日を要するものと見られてゐる

呼海線 張維屯、克音河間の一六九粁の木橋は廿八日夜來の降雨のため破壞せられ列車不通となり復舊は廿九日夕刻迄に完成の見込

大阪各學校を代表して慰問

大阪梅花女子專門學校長伊庭菊次郎氏は大阪の中等學校以上の私立學校聯盟代表として北滿に活躍する軍隊の慰問を兼ね在滿諸學校と內地學校との教育の連絡を圖るため三十日午前入港うすりい丸にて來滿したが大連には約一週間滯在女學校等で講演も行ふ筈であるが約一ケ月に亘り滿蒙各地を訪問する豫定であると

本庄將軍に慰められて石本老が感激の涙

けさ大連神社々頭で

卅日午前十一時滿鐵の正式訪問を終へて直に大連神社に參拜した本庄前司令官は氏子を代表して迎へた石本鏆太郎氏の姿をみるや「どうも御令弟はお氣の毒な事です」と熱河義勇軍に拉致された石本權四郎氏について同情にみちた眼差で懇ろに慰めの言葉を送り「有難うございます、色々閣下には一方ならぬ御配慮に預りました、實は私もそれで奉天から歸つたばかりです」とお禮を云へば「いや、救出が遲延してさぞ御心配でせう、軍としても出來るだけの手を盡してゐます、どうかあせらずにゐて下さい」と力強く自信づけて細々と救出に關する經緯を物語るのであつた、全滿の舊軍閥を潰散らした武勇かくかくたる本庄將軍の慈父に似たるやさしい言葉に、石本氏は老の眼に泪を露と光らせて感激と感謝の無言のまゝたゞ佇立するのみであつた【寫眞は慰める本庄前司令官】

拓務省から調査班

けふ三名來る

拓務省では滿洲の產業調査のため一見彪造、田村一郎、加藤久男の三氏を滿洲に派遣する事となつたが三十日入港うすりい丸にて來滿した一行の行動は上陸の上滿鐵、關東廳、新國家等の間に協議の上決定されるものであるが、拓務省の調査班としては最初の滿洲入りで一行の行動は頗る重要性を帶びてゐると

秋季競馬 第三日午前

秋季星ケ浦競馬第三日目は三十日午前十時より開始されたが午前中は山岡前關東長官見送りのため來連した林警務局長、森本警務課長の一行が歸旅の途中來場して一レースを見物歸旅した、午前中の成績は左の通り

▲第一競馬(新古呼四頭)千八百米 第一着石河(奧田騎手)二分廿二　配當(單)十圓三十錢(附加券)一等五十二圓三十錢、二等十七圓四十錢、三等八圓七十錢、以下八圓七十錢

▲第二競馬(新抽七頭)千八百米 第一着豐龍(內村騎手)二分四十五秒四、第二着明司(頭)第三着白龍(二馬身半)配當(單)十圓二十錢(複)一着七圓十錢、二着十圓五十錢(附加券)一等百二圓七十錢、二等三十四圓二十錢、三等十七圓十錢、以下四圓二十錢

▲第三競馬(各抽六頭)千六百米 第一着豐(內田騎手)二分九秒四 …着(一馬身半)配當(單)十八圓五十錢(複)一着七圓、二着五圓十錢(附加券)一等百三十二圓九十錢、二等四十四圓三十錢、三等二十二圓十錢、以下七圓三十錢

▲第四競馬(新古呼六頭)千八百米 第一着三鳳(小川騎手)二分二十二秒四、第二着旭昇(一馬身)第三着乃公(大差)配當(單)五圓七十錢(複)一着五圓三十錢、二着六圓七十錢(附加券)一等百五十九圓八十錢、二等五十三圓二十錢、三等廿六圓六十錢、以下八圓八十錢

安東大將逝去

【東京廿九日發】元臺灣總督陸軍大將安東貞美男は二十九日午後零時四十五分逝去した享年八十、長き逝去では左の御沙汰あつた

陸軍大將從二位勳一等　男爵　安東貞美

授旭日桐花大綬章

高橋源市判決

元關東州辯護士會所屬辯護士高橋源市にかゝる公正證書不實記載行使橫領の所謂金州土地不正事件は廿九日長島裁判長より懲役一年六月の判決があつた、なほ清水勤外三名執行猶豫の恩典があつた

少年行方不明

ハルビン埠頭區買賣街十九號山崎辰之助の二男良次(一七)は家族と共に來連中二十九日午後六時ごろ買物に出たまゝ歸宅せず誘拐されたのではないかと卅日大連署へ搜査を願出た

大連郵便局改稱

大連郵便局の電信課は九月一日から郵便局より分離獨立して大連中央電信局となり、郵便局は大連中央郵便局と改稱される事になつた

大連道場稽古時間

滿鐵大連道場では九月一日より退社時間午後四時となるので二日より稽古開始時間を午後四時三十分に變更する

家出人捜査

市內山城町四番地山城寮保線區員高澤準一(二四)は二十九日午前九時ごろ突如行方を晦まし自殺のおそれあるので嶺家大連保線區長は三十日大連署へ搜查を願出た

酌婦捜査願

市內逢坂町遊廓第四豐榮樓抱酌婦福勇こと丸山さよ(一九)は廿九日午前五時行方不明となり樓主は卅日大連署へ

帝大教授來る

東京帝大法學部教授矢內原忠雄氏及び同大學農學部野宮定茂、同講師團部一郎兩氏等は滿蒙各地を約一ケ月の豫定で視察すべく三十日午前七時入港うすりい丸にて來連したが九州帝大農學部教授丹下正治氏も新國家の畜產方面に關する研究調査のため同船にて來滿した

西教授講演に

東京帝大工學部教授西健氏は旅順工科大學の招聘に應じ來る五日より九日迄同大學に於いて電氣に關する講演を行ふため三十日朝入港うすりい丸にて來連したが講演後奧地の視察をなす筈である

本庄少將來滿

豫備役陸軍少將本庄庸三氏は三十日午前入港うすりい丸にて來連したが氏は新滿蒙の各地を視察し新舊の史蹟を巡る筈である

滿洲國を占つた

小玉呑象氏けふ來滿

今次北滿事變に先だち事變の勃發と滿洲國の成立を豫言した易學者小玉呑象氏は三十日午前七時入港うすりい丸にて八ケ月振りに來連したが氏は語る

私は故小村壽太郎侯と同鄕の日向であるが故小村侯存命中より滿洲の將來に注目せよと訓へられ爾來滿洲には深く關心をもち支那要人には多くの知己があるが今度も私の豫言せる通り新國家の成立を見たので御祝ひ旁々敬意を表しに來た、滿洲の將來は輝かしいが產れた許りの子供である、母はこれを育てる義務がある、滿洲の將來は農を先づ主とし、交通の發達につれて礦業も盛になるのは當然だがその間には紆餘曲折は覺悟せねばならぬ然しそれ等の困難は即ち喜びに變る、聯盟總會も心配する事はない、好きな女と酒を吞んでゐても仲々好きな女には直接話が出來ぬものだ、然し結局は好きな女の手を取る事になるそれと同じで各國も日本と支那と何れが大事か好きかは知つてゐる、だが今は判然と口に云へないのである、日米間の問題を云々されるがこれも心配した事はない、滿洲國承認を懸念する必要は更らにない【寫眞は呑象氏】

食客中に盜む

市內濱町待合新富の元帳場曾我正巳(三〇)は同町秋山米藏方に食客中十六日午後七時ごろ秋山氏の現金百圓を窃取し長春に高飛びしたのを手配により二十五日逮捕され卅日大連署へ身柄を押送されて來た

北西の風 曇一時晴　三十一日

滿潮(午前十時十分 午後十一時十五分)

干潮(午前三時十五分 午後四時三十分)

各地氣温

	三十日午前十一時	昨日の最高
大連	二一・八	二四・三
旅順	二三・七	二四・九
營口	二二・九	二五・八
奉天	二一・七	二五・七
長春	二〇・三	二六・七

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一二〇圓八五錢

大大連實現の諒解を得た

具體的な研究はこれから 小川市長の土產話

大々連の實現と財源問題を擁へて上京拓務省を始め軍部その他內閣要路に陳情諒解に努めてゐた大連市長小川順之助氏は大內市會議長より一足おくれて三十日午前入港うすりい丸にて歸連したが船中サロンにて語る

今度は別に案を作つてもつて行つたのではないが、所轄要路を歷訪し親しく大連の現狀を述べ市民の聲をそのまゝ率直に傳へて大大連市の實現並びに財源問題の解決に對して陳情諒解を求めて來たが大體に於いて要路の人々も充分その事情を諒解されたし考慮を願ふ事になつた、然し市政の擴充並びに財源問題を今後何うするかと云ふ事はこれから研究し具體案を作る事となるが兎も角市政を市役所と民政署と二つが別々に行つてゐる現在の繁雜と不便さを一日も早く一掃し市としての全機能を發揮し市の發展並に施設の擴充を期する必要は充分認められてゐる筈である、關東廳官制の變更を期に法制、財政、實際の各方面から大連市政の變革をなし大連市の發展を容易ならしめんとするのが今度の上京の用件でその後の具體的問題はこれから拓務省その他要路と打合せ充分研究しよう、明年開催する博覽會についても各方面に於いて熱烈な後援を約されたので充實した立派なものが出來ると確信してゐる

石川大尉凱旋

昂々溪戰鬪の功勞第一人者の稱ある石川勝藏砲兵大尉はその後チチハルにあつたが今回原隊に凱旋することゝなり三十日出帆香港丸で離滿した

童子團講習會

文教部主催の滿洲國童子團指導者講習會は九月五日より九日間新京において開催の筈であつたが講師の都合により九月十日より十四日まで五日間開催し豫定を變更、講師は少年團日本聯盟理事長二荒芳德伯、同理事三島通庸子、同主事芦谷泰造氏、同指導員戶田和夫氏等でこの機會に新京及奉天における童子團の結團式を行ふことになつてゐる【新京電話】

金州りんごデー

戰蹟見學の好機會

秋の訪れを迎へる最初の催しとして來る九月四日(日曜)を期し金州苹果デーを擧行することは既報の通りであるが金州側でもこの催しに双手を擧げ全市民こぞつて盛んに歡迎する。秋の一日を利用し思ひ出深い金州附近の戰跡を探り殉國の將士の英靈を慰むるのも有意義であり或は州內唯一の舊都に滿洲氣分を味はひ響水寺の勝景に接し秋の一日を行樂せんとする人に絕好の機會で奮つて參加せられたい

ゆき 九月四日大連驛發午前六時五十分、沙河口驛發午前六時五十九分

かへり 金州驛發同日午後四時一分、大連着四時五十分

會費 一般金七十錢(小兒半額)鐵道無賃乘車證所持者金二十錢(小兒半額)

金州コース 午前七時四十七分着それより一行は南山に集合、南山激戰講話あり午前九時半より午後三時半金州驛集合まで自由行動

特典 參加者に洩れ無く幸運券を發行(一等より五十等まで)響水寺林間聚落開放、南山、福昌農園、南山園、金州園、原田農園の各所に無料休憩所を設け苹果及び湯茶の接待を行ひ土產用としては特別値段で提供

會券取扱所 滿電バス待合所、常盤橋電車待合所、滿日本社(沙河口方面)同榮新聞店、前田新聞店、滿鐵社員は(鐵道部營業課宣傳係)

附記 南山—響水寺—金州驛までの滿電バス乘車券も特に會券と共に取扱ひます

主催 滿洲日報社

國難日本刀 (79)

高桑義生作　京極佳夕畫

犧牲者（三）

「なるほど、こりやあ……」

思ひきつて念入りさといふ注文通り、源次は子分にいひつけたのだが、斯うして持つて來たのを見ると、場所がら、顏をしかめずにはゐられない物だつた。

「剝がして來たのか？」

「へえ、恰好な物がございませんので……」

「結構ですとも。せい〴〵似合ふに違ひありません。どうもお世話さまでした」

とお千はその勞をねぎらつた。

伊三次はブツ〳〵呟いた。

「冗談ぢやないぞ」

芝居の着附ぐらゐに思つたのが、本物のを剝がして來たと聞いて、着ない先から、襟元がぞく〳〵する。

「着替へは、物置を拜借させて頂きます」

「どうぞ……」

「あなたは男ですから、御免を蒙つて、お庭先で――では早速」

「おい〳〵、ひどい目に合はせるぢやないか。何も何でももう少しどうにかしたのを……」

「お蔭に、ぜいたくはございませんよ」

「だつて、あんな物、くさくツて……」

「でなけりや、本物にはなれませんよ」

「ひどいなあ」

伊三次はうらめしさうな顏。

源次は笑ひたいやうな、氣の毒さうな表情で、だまつて二人の問答を聞いてゐる。

「では親方、男物はこゝへ、女物は物置の方へ持つて參りますか」

と子分がきく。

「さうしてくんねえ」

「さあ、あなた……」

とお千が促す。

「あゝ、飛んでもねえ事になつたなあ」

「どうも……」

と源次も、いふべき言葉を知らない、かれは二人が緣側を下りるのを見送つて、遠慮した。

落日のあとの、薄明りの漂ふ庭である。

伊三次は、地上に崩れてゐる、なまなましい乞食のぬけがらを、見詰めて、腕をくんだ。

「思ひ切つて。さつさとお召し遊ばせ」

「こりやあ清水の舞臺から飛び下りるより、大仕事だ。仕方がない觀念して、お召し遊ばさうか。やれ〳〵、人間もかうなつちやあおしまひだな」

汚らしさうに、今着ようとする物をつまんで、ふるつたものだ。

お千は笑ひを押し殺して、物置へ。

伊三次はぐづ〳〵と着替をはじめたが、ようやく帶がはりの繩きれを締めにかゝろうとすると

「まあ、立派に出來ましたこと」

「立派はなからう」

伊三次は振返つて

「ヤツ、すごい……」

繩ずみか何か塗りこくつたものと見えて、すゞしい眼だけを殘したお千の顏――が、伊三次の驚きは、あの不思議なあざが、かの女の左の頬に、あり〳〵と描かれてゐる事だつた。

すると、お千は眼を伏せた。その樣子が、今までとは打つて變つたものになる。

伊三次は口をつぐんだ。

（あのあざは描いたものか、それとも……）

やがて

蝙蝠のかすめる夕闇にまぎれて碇屋の裏戸を出た二人。磯くさい町から濱へ――。

伊三次は刀を仕込んだ杖をついた。

東へ、濱打ちぎはのいつぽん道を歩いて行くと、背闇をやぶつて二人の行手に、五七人ばらばらッと立ちふさがつた。

戰爭と與太者
松井蒲田作品
中央映畫館上映

「令孃と與太者」「初戀と與太者」につぐ野村浩將監督の與太物映畫だ、主演は相變らず例の磯野秋雄、三井秀男それに慌て者の安部正三郎、これを絹川京子、大山健二、坂本武等蒲田の中堅俳優が助演してゐる、撮影は高橋與吉、ギヤグマンは伏見晁である

郷太郎（磯野秋雄）源吉（三井秀男）庄兵衞（阿部正三郎）の三人の村のモボが青訓をさぼつてゐたため親父から勘當されて青雲の志を立て東京に出る、上野で西郷さんの銅像に感激したのはよかつたが支那そばの喰ひ逃げをして貨物船に逃げ込む、船は出て行き海賊に襲はれ三人は支那の大將黄（大山健二）の兵隊に買はれるが、日本軍との衝突に於てしば〳〵支那軍を惱まし、終に日本の女軍事探偵和子（絹川京子）を救ひ出し三勇士の名を舉げて故郷に錦をかざる

三つの與太者映畫の内でこの「與太者と戰爭」が一番傑作だ、物語りは簡單であるが、數多い此種戰爭映畫で之程面白く出來てゐるものはなかつたやうだ、傘を背負つた支那軍隊、大將が手ばなしか、總攻擊費の苦勞、賞金政策等々、野村監督支那軍閥の風習をなかなかよく現はしてゐる、一寸「彌次喜多大戰爭の卷」を彷彿させる最後の看護婦になつた女探偵と郷太郎の別れを惜む所は前のテンポの早さに比べて少しクド過ぎる

主演者三人の芝居だが、矢張り阿部正三郎が一番人氣をさらふであらう、大山健二の支那の大將はお愛嬌だ、絹川京子は云ふ程の仕事をしてゐない、伏見晁のギヤグは適度に加へられて面白い、高橋與吉のキヤメラも無難、總體にそつのない映畫で、たゞ見て面白く、惜みなく笑へる映畫である

協和會館映畫
『笑ふ父』封切

大連滿鐵協和會館では明三十一日午後七時から協和會館で映畫會を主催し宮川美子特別出演の發聲映畫「笑ふ父」及び阪妻映畫「片腕仁義」を上映、會費大人三十錢小人二十錢會員外五十錢である

清元喜三太夫
喜榮會演奏會

目下滯連中の清元喜三太夫は今回大連檢番を中心として清元喜榮會を設け毎年二回來連稽古することゝなり第一回演奏會を明三十一日午後六時三十分から大連ヤマトホテルにて開催、會費一圓で當夜の番組は左の如くである

一、「貸浴衣汗雷」唄妻吉、松右衞門、宇女子、三味線小ゑん、八千代

二、「深山櫻兼樹振」唄蔦葉、蔦龍、蔦駒、蔦奴、三味線喜久勇十郎、小奴、蔦子

三、「助六曲輪菊」唄千惠子、八千代、三味線喜三太夫、つま

四、「彌生の花淺草祭」唄一葉、一喜代、三味線照子、兼子

五、「夫婦酒替奴仲中」唄つま、小ゑん、三味線松司、喜久勇

六、「文屋の康秀」唄清元喜三太夫、三味線清香、さめ

噂話

明夜の清元喜榮會の第一回演奏會で喜三太夫が蒲田で手鹽にかけた蔦葉蔦龍蔦駒蔦奴が揃つてデビユウする▲九月の中央映畫館のプロは斷然物凄く他館をグロッキーにして見せると意氣込んでゐる▲即ち第一週が「太陽は東より」第二週「嵐の中の處女」第三週「緑の騎手」第四週「戀愛案内」と特作品がつゞく

對滿蒙貿易振興に輸出組合設立
きのふ東京で準備會
近く商工當局へ設立を申請

【東京二十九日發】對滿輸出貿易振興を圖るため共同施設をなす目的で東京對滿蒙輸出組合の設立計畫が東園子爵らの肝煎りで大體の準備出來廿九日午後五時から日本クラブで設立準備會を開催する運びとなつた、出席者は三井物產、三菱商事、大倉商事、淺野セメント、安田保善社、大日本ビール、森永製菓、日本電氣、古河電氣、富士瓦斯等を始め滿鐵、中央滿蒙協會其他代表、官廳側から商工省の寺尾黑田兩氏、東京府から香坂氏等出席商議した結果近く商工當局へ東京對滿蒙輸出組合の設立を申請することになつた事業の主なるものは

一、組合員の取扱ひ商品の委託輸出及び輸出斡旋

二、組合員の取扱ひ商品の保管選別荷造包裝の檢査

等で組合員の出資額は一口五百圓引受は一口以上五十口以下である

低資の融通 何んとかならう
東京での猛運動から歸つて 庵谷奉天商議會頭談

駐滿全權府の奉天設置に關し中央要路に猛運動のため七月二十一日奉天發上京中であつた庵谷奉天商議會頭は引續き滿洲商議聯合會代表として滿洲に低資二千萬圓融資に關し拓務、大藏、外務各首腦者を歷訪し目的貫徹に猛烈な諒解運動を續けつゝあつたが田村大連商議副會頭の上京と共に運動を引繼ぎ三十日入港のうすりい丸で歸連したが船中語る

◇

東京に去月の三十日に着いて今日迄例の駐滿全權府設置と低利資金の問題で關係各所に請願に力めてゐたものだ、低資問題では首相は勿論大藏、拓務その他軍部各方面と折衝してよく事情を話して了解を得べく奔走した、要するに請願の趣旨は全滿の郵貯の中約二千萬圓を還元これを低資として融通せんとするもので、既に預金部の金は低利として市營住宅、聖德街住宅、水產會等に約三百萬圓程出てゐるが殘餘の二千七百萬圓中二千萬圓を還元したいといふのでこれを去月五日の全滿商議聯合會で決議しこの請願の趣旨をのべて極力實現に努力したが大藏省としては二千七百萬圓の殘餘の部は鮮銀、東拓に對して出してゐるので結局民間に放出されてゐるも同然で今更還元といふ事は出來ぬといふ意見であつて、これには當方も失望したが實際において預金部としては全然知らないのである

◇

でこちらとしても出來るだけこちらの意見を述べておいたのでまだ打切られたわけでなく殊に拓務省側としては滿洲側の希望達成の意味で關東廳からの要望に對しては特に留意してゐてくれた、大藏省としては滿洲側のみの意見を採用するわけにいかない理由に全國的農村の疲弊、中小商工業者の資金難等でとくに臨時議會迄召集した際だから直ちにウンとは云へないのだ、自分の考へでは金額は減ると思ふが他の例にならつて何とかなるだらう、殊に大連の田村商議副會頭が引續き猛運動を起してゐるから何とか目算がつく、內地邊りの例では希望額の一割或ひは二割見當だ、しかし貰はぬより好いと思ふ

◇

それに惡い條件は滿洲は今軍隊が行つてゐるから金が澤山落ちてゐる筈だと云ふ觀念が根強く張られてゐる、從つてまだ內地よりましだと云ふ向が多い、その他自分は奉天市の將來について色々關係方面と打合せて來た奉天は御承知の如く政治機關が無くなるので工業都市として滿洲における日本の發展の根據地とさせねばならぬのでその點の了解を得たのだ、今後の四頭政治の統一後は勿論新京が首都であるが行政機關は奉天においた方が好い、同時に滿鐵の如きも現業機關たる鐵道部地方部は奉天に移すべきだと力說しておいた

◇

とにかく時局後の滿洲で日本人が眞實に發展しようと云ふならその中心地は何と云つても奉天だ、いづれにしても卅一日關東廳に行つて低利資金の問題で是非西山財務部長に上京して頂くやうにお願する、その際はとくに北滿の水災を考慮に入れて貰ふつもりだ、[illegible]長官とは東京で御會ひして色々意見をお述べした

商議を訪問
上陸と共に遼東ホテル投宿

庵谷奉天商議會頭は上陸と共に一先づ遼東ホテルに入り直に大連商議を訪ひ村井會頭と東京に於ける運動の經過並に政府筋の意向につき種々懇談を遂げ飽く迄所期の目的達成を期するため西山財務部長の奮起を促し上京政府側の諒解を深め側面運動を乞ふに決し三十一日午前村井庵谷兩會頭は關東廳に西山財務部長を訪ひ懇願する筈

阿部重兵衛氏
滋味ある聲と 話題・烟眼・氣魄

◇…昨秋滿洲事變の突發を機として、政治經濟的に一變革を來し、日本との關係更に緊密の度を加へた滿蒙商戰場裡に於ける三井の總帥として過日着任した大連支店長阿部重兵衛氏は、その名の示すが如く重厚の紳士である、初見の人をして先づ好印象を與へしめる。

◇…澁い聲でボツリ〳〵と話を切り出すさきこそ如何にも朴訥の感があるが、話の進行につれて加速度に愈々熱が加はり來り、話題の豐富と觀察眼の鋭さが更に拍車を加へて、天馬空を行くが如しだ

◇…香港には前後八年居たから南京政府首腦の滿洲に對する考へは充分看取出來るといふところから着任早々奉天を一巡してみて將來性に富めることや、在住支那人と印度人との比較、大連を出て二、三十分の後に赤土が見えたので、これはいかんと思つたが奉天近くになつて綠が多くなつたので愉快に思つたことなどに及んで縷々として盡きない。

◇…滿洲は初めてだし、大連さへまだよく見てゐないから何も判らぬが、感じを言へといへば先づそんなものだと、あつさりした態度は三井の社員ならずとも好感がもてるといふもの。

◇…東京本社へ轉任する津久井氏は人も知る如く特產界への貢獻大なるものがあつたが、滿洲國の經濟建設漸くその緒につかんとするときわが阿部氏の炯眼は何れの方面へ注がれるであらうか、一見重厚の阿部氏はまた細心なるものゝ如く、而して眉宇の間に窺ひ得る氣魄こそは充分の期待を持たしめるものである。

印度綿製品の關稅を引上
三割餘を從價五割に

【シムラ二十九日發】インド政府は關稅調査會の報告に基きイギリス以外の綿製品は大要左の如く卽日增稅するに決した

一、現行從價三割一步二厘五毛を從價五割に引上ぐ

一、平織生地綿布を從價五割か重量一ポンドに就き五アンナ四分の一か何れか高き方

現在は四アンナ八分の三である

山田商店改組 株式會社に

市內奧町の株式取引人及錢鈔取引人の山田商店では最近資本金五十萬圓（二分の一拂込）の株式會社に改組し取締役社長として山田三平氏專務取締役として山田柳治氏就任したが同社では近く一株につき七圓五十錢の拂込を徵收し拂込資本金を三十二萬五千圓と增額する筈

街路照明の增設運動に着手
滿電の具體案成る

國際都市を誇る大連市も夜間の街路照明が十分でなく再三擴張されたが未だ徹底しないので滿電電燈課では今春來街路照明につき座談會の開催その他各種の資料蒐集具體案研究に大童の活動を續けつゝあつたが、この程漸く具體案成り重役の決濟を待つて近日中に愈々增設運動にとりかゝることゝなつた、今回は滿洲國の建國を記念する意味で先づ第一期工事として連鎖街常盤通、信濃町市場通、大山通を目標とし各町內會に運動を續ける模樣でその具體案は前回の御大典記念同樣に建設費は半額滿電で持ち殘半額を各町內會の負擔とし電燈料金も三割五分乃至三割引の特點を與へる筈で結局滿電より約一萬五六千圓の補助を爲すが建設費は御大典記念當時より五割安にて足りる模樣である

窮境に在る撫順炭 新販路開拓も困難
明年度まで持越すか

內地への移入制限、地賣の不振、加ふるに南支の徹底的排日のため窮境にある撫順炭は秋以後の需要期を控へて如何にしてこれを打開すべきかについて滿鐵商事部關係者は連日對策を練つてゐるが目下のところ殆ど良策なく

困惑 の態である、この結果硫安の例に倣つて歐洲市場開拓に關して秘に調査するところがあつたが、撫順炭が海外に輸出されたのは

年度	仕向地	噸
明治四三	南米	[illegible]
大正一〇	桑港	[illegible]
一〇	孟買	[illegible]
一三	リバプール	[illegible]
昭和元	コロンボ	[illegible]

だけでその他はカムチヤツカ、浦鹽、南洋方面ではバダビヤ、ジヤバ、スラバヤ、マカツー、彼南等であり、現在ではシンガポール以遠には全然行つてゐない、卽ち大正十年には米國と印度に相當多量に出てゐるのでこの例によつてこの方面に

販路 を開拓し得る見込みがあるわけであるが、この年は英國に炭坑罷業あり印度炭は供給不足となり、濠洲は優良炭の海外輸出を禁止する等の環境の一變があつた上に、當時全盛の鈴木商店が英斷で底荷として持つて行つた結果行はれたものである、しかも現在では印度濠洲とも供給過剩で最も有望視されてゐる米國も燃料過剩で外炭に噸當り四圓の輸入稅を課さんとする議も起りつゝあり到底望みなしと見られてゐる、かくて撫順炭としては目下のところでは新販路開拓の見込み全くなく

期待 するところは南支市場の排日終熄であるがこれまた改善の見込なく明年度まで現在の窮狀を持ち越すより他なしと見られてゐる

製鐵合同問題は具體的に進まず
富永次長歸連語る

富永滿鐵製鐵所次長は上京中のところ三十日朝海路歸連した、氏の

今度の上京は製鐵所問題もあつたがしかし主な要用は從業理事が上京して既に二箇月になり色々仕事が溜つたのでその打合せである、製鐵合同問題も中島商工大臣が熱心にやつて居られるやうで豫定としては次の議會に出すつもりらしいが仲々むつかしい點があつて具體的には進行してゐないやうだ、滿鐵としても勿論考へてはゐるが內地がそんな狀況で今急にどうといふことはない、昭和製鋼所を滿鐵と八幡製鐵所と合同でやるといふやうなことは全然ない

實業關係施設に爲すべき事多し
實業廳勸業司長に就任する 原驤四郎氏來滿語る

元滿鐵公主嶺農事試驗場長原驤四郎氏は今回滿洲國の懇請を受け新國家實業廳勸業司長として就任三十日午前入港うすりい丸にて來滿したが氏は畜產事業の研究家として知られ氏の滿洲國入りは將來新國家の牧畜業の

進展 に大いに貢獻せられるものとして期待されてゐる、氏は語る

私は大正十年頃まで滿洲にゐましたが今度滿洲國に入り何を何うするかといふことは目下白紙で赴任します、新京へ到着後その後の滿洲を充分調べた上で徐ろに考へようと思ふ、然し未だ戰亂漸く治まつた處で實業方面は今直ぐにかゝることも出來まいが舊軍閥時代は實業に關することは何等施されてなかつたので爲すべきことは多い、滿洲の事業は精密工業ではなく原料工業で行くべきではないか、又それが最善の方法であらう、牧畜の緬羊は改良の根本方針は現在の行き方でよいが、その普及である

馬も 內地のやうに大きい馬でなくとも古來滿洲の馬を主に改良して行く方が一番よいと考へてゐるが何事も新京へ着いて打合せてからでなければ私は意見を持つてゐない

單名手形による融資說虛傳
滿鐵の事業資金

【東京特電三十日發】滿鐵に於ては去る四日未拂込株金徵收により二千五百萬圓入金の際單名手形二千萬圓を皆濟し更に去る二十日社債五千萬圓入金の際二千六百萬圓の殘額手形を皆濟したために現在に於ては全部皆濟となり現金二千九百萬圓が事業資金に廻されることになつてゐるので先に噂に上つた一千萬圓單名手形融資のことは全然虛說であることを立證するわけである、右に關し東京支社根本經理課長は語る

今滿鐵には金が充分あるので單名手形によつて融通を受ける必要はない譯です、水害によつて北滿地方の貨物の出が惡く多少打擊を受けましたが大體滿鐵の業態は好調で將來光明に向つて進みつゝあることは事實であります

代喜純孝氏

山下汽船會社上海支店長代喜純孝氏は昨冬上海事變の突發と共に一先づ本社に引揚てゐたが卅日入港うすりい丸で歸滬の途大連支店と商務打合せの爲め來連した、二日出帆大連丸にて上海に向ふと

銀と爲替の狂躁曲を繞つて（五）
圓相場と大連銀市場
南鄉龍音

すさまじく下つた爲替、上つた銀、その狂躁曲を繞つて各方面への波紋は大きい、どうして？？今後は？、以下連載するものは關係方面のエキスパートに乞ふて成れる執筆又は口述の要領である

（上）

●ペーパー圓の意義

昨年末本邦內閣は金の輸出を禁止し、次いで金貨と紙幣との兌換をも停止いたしました。これが爲め日本銀行券、鮮銀券等は或意味の不換紙幣と化し、法律上に於ては五圓は金一匁に當ることになつて居ても、最近は金一匁を紙幣で買ふには十一圓も出さればならぬことになつたのです。それで現在の日本通貨を金と呼ぶのは正しくない。宜しくペーパー圓（紙幣圓）と呼ぶべきでありまして、寧ろ支那人間に用ひられて居る金票と云ふ用語が正しいのであります。學術語としては圓貨又は圓價と云ふ呼び方もあります。

●大連の銀相場は何故騰貴したか

大連の銀相場は遂に百圓を突破しました、これは正金銀行の發行してゐる銀券卽ち鈔票百圓に對するペーパー圓の相場が百三圓百八圓にも當るといふことを意味します。去年の二月には金四十圓七十錢に迄慘落した大連の銀相場が何故斯く迄暴騰したかと謂ひますと夫れは全くペーパー圓の價値が下つたからであります。日本が今日依然金の解禁をいたして居りましたならば、大連の銀相場は四十六圓七十錢（支米爲替三十弗四分ノ三、滬申七十五兩、日米四十九弗八分ノ三として採算）見當でありまして銀は殆んど騰貴して居らぬのであります。眞正なる意味の銀相場とは銀塊對金塊の相場卽ち金銀比價を指すべきであります。今日金銀比價に準ずべき銀相場を求むるならば紐育銀塊相場と上海金相場位のものであります。從來上海の標金定期取引は圓の定期取引と全く同一でありましたが滿洲事變による日貨排斥の意味で昨年十月から定期取引の本質が米國の弗貨幣に變りました。最近大連の銀相場が狂騰を續けて居るに拘らず、標金相場が比較的落着いて居るのはこれが爲めであります。然るに大連市場はペーパー圓を以て鈔票を賣買する市場でありますからペーパー圓の低落につれて鈔票は上騰するのであります。以上の說明により最近銀は騰貴して居るのではなくて、圓が下落して居るのだと云ふことが判つたことゝ思ひます

●圓爲替崩落の理由

日本の昨今は極めて多事でありまして內憂外患交々至ると云ふ狀態であります。日米爲替崩落の原因は昨年九月から十二月上旬に至る期間內に於ける本邦資本家の弗買圓賣に端を發し、金輸出禁止の實施を見るに及んで低落の一途を辿るに至つたのであります。今年の八月に這入つて圓の落勢を助長したものは現齋藤內閣が十九億圓と云ふ尨大な豫算を掲げたことが最大の原因をなして居る樣に思はれます。これを個人に譬へますと百四十圓の收入しかないものが百九十圓の生活をしようと云ふのでありまして收入不足額五十圓は借金で賄つて行かうと云ふのであります。然し乍ら日本の現狀ではこれは已むを得ないのでありまして軍費は要るし、他方窮迫せる農村をも救濟せねばならぬのであります。だから實收は十四億圓しかないが十九億圓の生活をせねばならず、不足五億圓は公債によるとして、日本銀行をして引受けしめ結局同公債が保障準備となつて紙幣が增發さるゝことゝなるのではないかと思はれます。尤も公債も市場に於て募集するとか、又は預金部をして引受けしめる場合には紙幣增發の直接原因とはなりません。日本銀行の正貨保有現在高は四億二千九百萬圓、紙幣發行高は九億七千萬圓となつて居ます。保證準備による發行限度は十億圓でありますから、日本銀行は現在なほ四億六千萬圓の發行餘力を有する勘定となりますけれども紙幣價値が今日の樣な率で下落してゆくものとすれば、國內のあらゆる資金は引出され、公社債は賣られて外國貨幣や品物に換へられんとする運動が一層熾烈となり、紙幣の[illegible]時代が來るのではなからうかと思ひます。

廿三弗臺に 爲替反撥

【ニユーヨーク二十九日發】休日明けのニユーヨーク爲替市場に於ける日本圓爲替は一躍に五十仙方反撥二十三弗十二仙となつた引際の氣配は落付きである

紐育株式市況

【ニユーヨーク二十九日發】本日の紐育株式市場は人氣を商品市場に取られスチル株は四分の一安の四十八弗八分の一と小甘かつたアナコンダ株は十三弗四分の一に引け商內手控へで出來高は二百九[illegible]

黃塵

◇…後藤農相が頭を絞つた率勢米價法案も米價を牽することは出來ても議會の大勢を牽することが出來ず內閣の危機に關するやうな大暗礁に乘上げた。

◇…民政黨に云はしむれば政友會は米價を無軌道に置かうとするものださうである。

◇…いくら立派な軌道を設けても相場が軌道の上を動かないで脫線することもある。

◇…と同時に無軌道を走らせても大勢に順應した方向をとれば目的の彼岸に達することも敢て不能にあらずだ。

◇…世界財界を常道にかへさうとして各國があらゆる努力を試みて居るが時到らずば如何なる策動も其效がない。

◇…然し物窮まれば變じ變ずれば通ずるでそこに通ずる途が出て來る。

◇…杓子定規的に何もかも極めて仕舞はふとするところに却つて無理が生ずるのではないか。

◇…今や世界の大勢は變りつゝある、既往を以て來を律することの出來ないやうな一大[illegible]が近づきつゝあることを[illegible]ことは出來ないであらう。

米棉市場狀況

【ニユーヨーク二十九日發】[illegible]

紐育生糸奔騰

【ニユーヨーク二十九日發】前週來の本市場は日本市場の生糸暴騰の報に先物、現物共に二弗關門を突破し本年の新高値を示したが後利喰に引値現物は前日より十三乃至十七仙高であつた

福井人絹反落

【東京三十日發】福井人絹昨夕現物の伸び惱みを反映して軟化の氣先今朝外電の不活潑を入れ利喰賣物多く先限七圓三十錢方反落百四十圓五十錢と引けた

市況（卅九）

豆 今朝大豆は銀價の安寄りと邦商及奧地筋の乘替物に近期を中心として寄鼻昂騰を呈したが▲あと銀價の上伸と南支筋の利喰賣に軟化したが結局賣氣なく保合僅かに三千枚の手合をみたに過ぎず豆油も強含乍ら極めて薄商內▲高粱は納會控へに乘替手仕舞もの多く強調を示す▲準頭混保大豆の滯貨は昨今十萬噸內外で昨年に比し五萬噸少ない▲出廻りが捗々しからぬ上歐洲向が多いから更に減少するであらう

銀 海外銀塊は倫敦現物先物共八分の一高紐育同事▲米日は十八高日米は八分の一高と小戾りを示し鈔票は現物は二圓牽先物は一圓二十錢安と安寄りしたがアト投物一巡と日米爲替先安見越しから二圓方急騰した▲爲替の小戾しからマバラは投げ退いてみたもの、依然として爲替は本格的に回復し得る力なしとの觀測から再び買氣擡頭となつた▲惡ひ場味じをみせ乍ら急反撥をみせるところは何としても強い相場とみなければならない

株 けさ北濱定期は諸株共ボンヤリ東新も二三圓安と下押し▲地場株はいづれも五六十錢安引緩んだが押目買人氣で商內は頗る活況を呈した▲けさの內地安は綿糸等の反落が響いて利喰ひ急ぎとなつたものであらうが內閣も一寸米價問題から不安な狀勢にあるので幾分人氣を暗からしめた點もあらう▲しかし內閣の動搖は現下の情勢としても寧ろ強材料とみる向もあり油の乘りかゝつた相場だけにまだ〳〵挫折するやうな[illegible]

特產 銀價安寄りで大豆軟り

錢鈔 爲替安見越に鈔票昂騰

今朝銀塊は倫敦現物、先物共八分一高、紐育同事（金貨休會）乍ら日米第一回八分一高の二十二弗四分三を入れ、米日又十八仙高と強調を入れたので當市は一圓二十七錢安と下放れ寄つたがアト日米第二三回同事乍ら目先軟弱豫想から高値は五圓七十錢まで上伸堅りに引けた、英米クロス八分一安の三弗四六仙八分五、滬申七十五兩三〇〇、滬鋼七十二兩七〇〇、大洋九十二圓十錢

市場電報（三十日）

株式 內地株軟弱 當市も反落

上海爲替情報

滿洲日報

地上に嵐の歡呼湧き・天空に陽光滿つ

將軍を送る日の全市的興奮

忠靈塔前の送別式

我等の凱旋將軍本庄中將に別れを惜む大連市民の送別式は大連市主催の下に三十日午後四時三十分より中央公園忠靈塔前に於て盛大に擧行された

この日初秋の空はクッキリと晴れ渡つて、薄雲一つ止めず、飽くまで青く澄み切つており、後に負つた山々は濃い緑に包まれて絶好のお天氣であつたが、將軍に深い思慕の情を抱く市民は開會前より式場に詰めかけて、定刻頃には、さすがに廣い忠靈塔前の廣場も、押よせた市民に埋められ、何處を見ても人と旗の波であつた、開會が近づくに從つて在大連官民知名氏も續々參集して

我等の將軍

の到着を待ちかまへてゐたが、さすがに帝國軍人として嚴格なる生活に習慣つけられた將軍は開會前三分に忠靈塔前に自動車を乗りつけ、小川市長の案内で各幕僚並に竹内民政署長、八田滿鐵副總裁とともに湧き返る歡呼の聲を浴びつゝ所定の位置についた、定刻岡野市助役の開會の辭に次で消防署員の奏る劉喨たる喇叭の音に伴なひ、全員氣を附け、凱旋將軍以下起立擧手の禮の内におごそかなる國旗揭揚式を行ひ、いよく輝へる日章旗の下、十萬の同胞が眠る忠靈塔前に於ける我等の凱旋將軍送別式は開かれた、先づ小川市長は市民を代表して、事變以來の

偉勳を讃え

更に惟ふに、王族協和の滿洲新國家の前途は洋々たるものが有ります、が、之が完璧を期することは尚幾多の難關がありませう、この重大時機に際し、閣下には益々御自重御加養の上、軍事の要職に參與され滿洲新國家の將來のため、一層の御支援あらんことを御願ひ致す次第であります

と惜別の辭を述べ、次いで全員の合唱の下に「將軍に捧ぐる歌」を高唱したが、終始溫顏をたたへてゐた將軍も、……

力強い聲で

……

將軍の大連市民に答ふる辭

大功は「一人の」故にあらず

衆力の湊合のみ

今回轉任に際し在滿各位より過分の御好意を賜はり本日はまた大連市民各位よりこの盛大なる送別を忝くし誠に光榮の至り、感謝の極みであります。さりながら滿洲事變處理の功は決して私人の負ふべきものにあらずこれ一に陛下の御稜威と皇軍忠勇の致すところ國民正義の力と民族更生の勢ひの然らしむるところであります。顧みまするに日清、日露の兩戰役以來約四十年、この滿蒙の土には同胞十萬の人柱が立てられ同胞八千萬の努力が積りに積つて居るその基礎の上に光輝ある新滿蒙がうち樹てられたのであります。人間個人は微力いふに足りない、衆力のみよく同天の偉業を成すのであります、私は之を痛感致しました。而して滿洲事件は日清、日露兩戰役の總決算でありまして今や大體一段落を告げたが、しかもその前途は尚遼遠であり國民的一致の協力を要求することこ愈々切なるものがあります、市民諸君が堅忍自重東亞恢興の大業に更にく精進せられんことを切望致します。

終りに臨み重ねて盛大なる御送別に對し感謝の意を表します。

寫眞　送別式に臨んだ本庄中將の挨拶（上）中央公園忠靈塔前廣場に集まつた市民（中）ヤマトホテルに於ける大連市主催送別宴に列した本庄中將（下）

本庄將軍を歡送する

怒濤のごとき拍手

滿鐵社員會主催　感謝送別會

滿鐵社員會主催の本庄將軍感謝送別會は卅日午後三時四十七分から協和會館で開催されたが、將軍に心からの感謝を捧げる社員達でさしもの會場内は立錐の餘地もなく……

……

諸國も我態度を認識

滿洲問題は漸次好轉

蘆田氏の質問に内田外相答辯

衆議院豫算總會（三十日）

【東京三十日發】三十日の衆議院豫算總會は午前十時三十五分開會……

蘆田均氏（政友）

統一ある對滿政策

この際確立したい

齋藤首相質問に答ふ

大連市主催

官民合同歡送宴

昨夜ヤマトホテルにて

本庄中將日程

森中將着京

けふの兩院

豫算總會

質問打切り

窪井義道氏（政友）大資本家が脱税行爲を敢行する事は國民の納税觀念に及ぼす影響極めて重大であるのみならず巨額の脱税は國家財政上にも影響する事大なるものがあると思ふが如何

堀切次官　重大性ある事は認める、その責任は部下にのみ負はせやうとは考へぬが問題が終結してゐない今日何んとも言明出來ぬ

坂本幸太郎氏（民政）滿洲國承認の曉は治安維持を條約その他に依つてきめるか

陸相　治安維持は自衞權の發動に依るもので滿洲國承認云々は別個の問題である

津崎尚武（政友）は滿洲移民に關し拓相と問答ありかくて午後五時三十五分質問を打切り同三十七分散會

衆議院本會議

【東京三十日發】衆議院本會議は午後一時十五分再開日程

一、調停中立事件の手續實用救助に關する法律案

外一件（安達謙藏提案）委員附託

國際離婚法

◆…軍縮、賠償、戰債、關稅、錫、ゴム、油、石炭、金銀等雜多な國際會議で忙殺されてゐる世界は、又一つ國際的離婚問題を背負はされた、それは離婚問題である。旣に最近英京ロンドンに「國際離婚法制定」に關する委員會が設立され、この委員會よりの建議案が今度國際法曹協會々議に提出されることになつてゐる。

◆…この國際離婚法制定委員會の趣旨は……今日各國における離婚法は全然區々別々であつて、從つて或る夫婦が離婚を行はんとす場合、たとひ自分の國ではそれが不可能な事情にあつても、外國へ出かければ簡單に離婚が出來るといふ場合が非常に多い、現にアメリカの一都會の如きは、その町に國際的な離婚裁判所が存在するため年々發展しつゝあるが、この裁判所に登記するなれば、人生の重大事件たる離婚が僅か五分か、十分で解決するのである。

◆…離婚はかくの如く輕々しく扱ふべきものではない、各國ともにもつと愼重に考慮すると同時に、自國で離婚出來なくとも外國に出かければ出來るといふ、この拔け穴はどうしても塞がればならぬそれには國際的な離婚法を制定して世界萬國の加盟を求め、その締盟國の一にて許される離婚は、他の締盟國でも許されるし、また然らざるものは萬國共に不許可であるとふことにせよ……といふのがその趣意である。

★　★　★　★

滿洲國の子達へ

滿洲國の子供達と仲よく助けあひりつぱな國にそだてあげて下さい

軍事參議官 陸軍中將　本庄繁

本庄繁中將は皆さんご存知の樣に今度關東軍司令官から軍事參議官となつて來る九月二日大滿出帆のうすりい丸で日本に凱旋されることになりました。本庄將軍が滿洲に住んでゐる日本人のために、滿洲國人のために盡された功勞はいまさらいふまでもありませんが、殊に今を去る約一年まへ卽ち昭和六年九月十八日の夜、張學良の部下が世界の交通機關である滿鐵の鐵道を亂暴にも爆裂彈で破壞した例の滿洲事件が起つてからこのかた本庄將軍は晝といはず夜といはず南滿の各地にはびこる兵匪どもの討伐に大いなる努力をなされたのでありましたそして滿洲國が出來、世界の人々が安樂に暮すことが出來るやうにならうとしてゐるこの時、將軍は滿洲を去るのです、何と名殘おしいではありませんか、皆さんと共に本庄將軍のご健康をいのりませう【寫眞は本庄將軍】

私は今回思出の深いこの滿洲を去ることになりましたので懷しい皆さんとのお別れに臨み一言御挨拶を申上げたいと思ひます

◇

皆さんも旣に御承知の通り、滿洲は事變以來我が忠勇なる日本軍隊の非常な活動と滿洲國軍の奮鬪で惡い舊東北軍閥は滿洲から追ひ拂はれ又同時に滿洲國人全體の希望と努力で新に滿洲國といふ立派な獨立國が建てられました、この新に出來た滿洲國は我が日本とは切つてもきれぬ親密な關係がつながつてゐるばかりでなく、この國の中に住つてゐる人々は日本人も滿洲國人もその他の外國人も一樣に皆兄弟のやうに仲よくし、互に助けあつて世界に比類のない所謂民族融和を基調とした王道理想國を實現せねばなりません。

◇

それには日滿兩國の子供達が先づしつかりと手を握りあつて行くことが何より肝腎で、殊に皆さんの中には多分滿洲で生れた方が多いと思ひますが、たとひ日本內地で生れた人でも、滿洲に住つてゐる以上、內地の子供達に率先して、この重大事を充分に考へ、覺悟して、滿洲にあつては滿洲國の子供と仲よく勵み助け合ひ、日本母國の子供達に向つては常に在滿の皆さんがお手本になつて新國家の發展と日滿兩國の親善に向つて進まねばなりません。滿洲國は建國を告げてからまだ半年にもならぬので、前に申した樣な立派な理想國に育て上げるにはこれからが大事なのです。

◇

そしてそれを完成するのは一つに皆さんの今後の責任であると共に義務なのですから、その覺悟で只今から身體を大事に強くなると同時にしつかり勉强して頂きたいと切に希望致します。

寢冷え流行

耳の惡いひさぐは早期に手當なさい

今年は土地の新聞が特に衛生方面に意を注いだ爲か、それとも雨やコレラのために海水浴の期間が例年よりずつと短かつたからか、例年のこの季節に較べると耳鼻科方面の疾患が著るしく減つたやうです、しかし減つたといつても六七月頃に較べると大變な增加で中でも目だつて多いのは小學兒童で、その最大原因は勿論海水浴です、海水浴をしても耳の入り口に油を塗つたり木綿わた（脫脂綿はかへつてわるい）をつめたりする程注意深い人はこんなことはありませんが

不注意のため耳に水が入りこれが原因でいろいろな病氣を引起すことが多いのです、耳に水が入つてもそのまゝ放つて置いたのは大した事もありませんが誰も氣持が惡いので搔きたがりますし、搔けば傷がついて外聽道の炎症を起したりおでき（フルンケル）が出來たりします。又一方には海水浴によつて鼻や咽喉を惡くしそれが基で急性の中耳炎を起すのもあれば、舊い中耳炎を持つて一時よくなつてゐた人が海水浴によつて再發したり惡化したりしたのもあります。中には耳くそが海水ではいつたゝめにほさびて

外聽道をふさぐやうになり著るしく聽力をそがれたやうな人も相當あります。これ等の病氣はいづれも氣持がわるいから耳かきやコヨリを突込んだり引かいたりする人がありますがこれは症狀を惡化させるばかりですからなるべく早期に完全な手當をされるやう希望します、海水浴に因るものでなくて昨今氣候の變化から呼吸器の故障を起しそのために耳鼻科方面の故障を起すことがあります。宵のうちは蒸々と暑かつたのが朝方になつて急に氣溫がさがつて

風邪を引込んだりおなかをこわしたりする所謂寢冷が昨今流行物のやうです。近年大氣生活がさけばれ夜も窓を開放して寢る方がこちらでも大變殖えたやうでこれは誠に結構なことですが、體の弱い人や子供などはよほど注意しないとこのために寢冷をして色々な病氣を引起すことがあります。當地は例年土用までは南風が吹きますが土用が過ぎると北風に變り、それが宵のうちには凪いで夜半から吹きはじめる事が多いのですから窓を開けて寢る時には北の窓はなるべく閉ざして東か南の窓を開けて下さい。それも東窓と南窓を兩方とも開放して置くとどうしても風が吹通し

冷え方もちがひますから東なら東だけ、南なら南側だけ開けて寢る樣にされた方が安全でせう（森本辨之助氏談）

家庭顧問

子宮後屈症は入院して手術せねば治らぬか

【問】當年三十三歲で子供數名ある經產婦、三年前體質的事態により內地の某病院にてレントゲンを三回ばかり子宮に照射して貰ひました。ところがその爲か昨年秋頃から身體が追々と衰へて來、本年に入つても洗濯や日常のふき掃除、針仕事にも漸を追ふて根氣がなくなりしかも特に腰痛に惱むことが多く何かにつけ疲勞を覺ゆる度が增して來ますのでやむを得ず先日某醫院で診察して貰ひました處、子宮後屈症であるから入院して中手術を要すると云はれました。そこで同症はどうしても入院手術せねば治癒せぬものでせうか、日數は餘計にかゝつても其れ以外の方法でそれを癒す手段はないものでせうか（一患者）

働き盛りです速に治療をうけ主婦の務をなせ

岩男其二郎

【答】御記載で見ますとレントゲン線照射の結果と子宮後屈症の症狀とが同時に來てゐるやうに考へられます「レ」線照射によつて卵巢機能を急激に癈絶しますと內分泌異狀を起しまして月經閉止とか心悸亢進とか其他の神經症狀を起します、これを私共は缺落症狀と申してゐます、恰度貴女の持つてゐられる症狀がそれで子宮後屈のために苦痛殊に腰痛を訴へられるのです。此等の症狀はいづれも醫治によつて根治されます、未だお若い働き盛りの貴女が病氣の爲に活動力の大部分を減殺されるといふ事は人生の悲哀です、一日も早く恢復されて思ふ存分に御家庭のため邦家のため社會のためにお働きになるやうにお薦め致します勿論中手術はなさいますことを私もおすゝめします、手術による苦痛は殆ど御座いません、こんな事ならば早く手術を受ければよかつたと思はれる事を豫じめ申上げてよいと信じます。

もぐらもちのトンネル (23)

政本さいむ作　太田あた坊画

泥坊は酒をのんでるのでせう。大きな話聲がかすかに聞えて來ます「ねむいなあ」三太郞さんは物置の中でこつくりこつくり眠りました。

そうくぐつすり寢込んでしまひました。やがて物置の戶が音もなくすうと開きました。三太郞さんはちつとも知らずに寢てゐます。

恐ろしい泥坊に追つかけられた夢を見てゐました。誰かゞしきりに三太郞さんの肩をゆすぶるのでハツと眼を覺ましましたらそこに黑い影法師がたつてゐました。

「泥坊だな」びつくりしてふりむきますと「三ちゃん！」と小さい聲でいひました。「おや」

滿日各地版

學良五十名を選び大規模の反滿運動
既に北平發滿洲潛入 馮庸の驚くべき計畫

【奉天】確なる方面よりの情報によれば馮庸大學長馮庸は東北を脱出し北平に赴いて以來極端なる排日により元同大學の生徒を集め抗日鐵血義勇軍を組織し只に排日排貨の宣傳のみならず示威運動をなし各地に團員を發し匪賊の煽動をなすと共に各種情報募集に努め東邊道各地に約三百名の學生を潛入せしめ今春以來大成功を納めた爲め今回更に奉天に本籍を有する學生を五十名選拔し左記の如き命を授け本月十六日各々北平を出發せしめた

一、奉天に於ける各種情報視察報告すること
二、中等學校の生徒募集を目標に反日反滿思想を鼓吹すること
三、機を見て奉天を擾亂すること

團員は一班三名とし陸路又は海路により奉天に潛入する筈で何れも相當の旅費を給せられてゐると

寡兵とみて猛射撃
奉天大南門外で奮戰負傷した 鈴木軍曹元氣で語る

【奉天】廿八日午後十一時大南邊門附近に匪賊二百名來襲と聞き逸早く近藤伍長、川島上等兵外三名と共に機關銃三挺を携帶し現地に急行中大南門外で賊彈を受け重傷を負へる城內憲兵隊附鈴木軍曹は目下奉天衞戍病院に入院加療中であるが重態にも拘らず頗る元氣で語る

あんな賊にやられて殘念でならぬ、自分等は匪賊來襲と聞き、近藤伍長、川島上等兵と共に直に機關銃を以て出動し大東門外に差掛るや賊より突然一齊射擊を受けたので直に之に應戰したが賊は自分等の方が寡兵であることを知り益々肉薄して猛烈な射擊をなすのでこゝに於て猛烈な戰鬪となつた、この戰鬪で胸部に重傷を受けたのでやむなく指揮を近藤伍長に讓り急を憲兵隊本部に報じたのである、早く癒して彼等賊共を滅茶苦茶にやつつけてやりたい

不安恐怖の石橋子に又匪賊
二十八日の事件詳報

【本溪湖】打ち續く匪賊の脅威に今やその面上に生色なく不安と恐怖のドン底にまで突き落されんとしてゐる北部安奉線の各中間驛に在る邦人達、就中「鬼の大嶺」を間近に控へて近傍の部落に無數の半農半匪の徒輩が蠢動しつゝある狀況の中に今日まで辛くも平和を保つて來た石橋子驛、此處に住む人達が最も怖れてゐた所の戰慄すべき事件が遂にその頭上に襲ひ掛つて來たのは八月二十八日の午前一時頃のことであつた

折柄の豪雨を衝いて石橋子驛に迫つた賊團は警備の我が警察官が派出所に引き揚げた後、連日の激務の爲に心身共に過勞の極に達せる驛員のスキをうかゞつて鐵條網を越え炊事場の錠を打ち破つて驛舍に闖入し居合せた滿洲國人二名に銃彈を浴せかけて逃走した、一方この銃聲を聞くと同時にすはこそばかりに飛び出した警官及び本溪湖守備隊分遣隊の兵士達が驛舍に向つて馳せつけんとした時、散開して待ち受けてゐた約三十名の匪賊は我が軍警に一齊射擊を浴せ來りこゝに漆黑の闇を挾んで物凄い激戰が展開されたが交戰約四十分にして遂に賊團を擊退した

この襲擊を受けて石橋子驛員王國金は心臟部に貫通銃創を負ひ即死し鄭德光は左足腿部に同じく貫通銃創を受け本溪湖滿鐵病院に收容手當中である、賊團は先日大嶺附近にて先驅車を襲つたものと同一らしく、大嶺を中心として附近部落に蟠居してゐる彼等匪賊一味をこの際徹底的に掃蕩するは大衆の齊しく熱望する處であるが現在の警備力はこの要望を滿たすには餘りに薄きに過ぎるかの觀がある、されば、とてこのまゝに放置せんか益々增長せる彼等は如何なる事態を惹起せしめるやも計り知れず、かくては國際交通路安奉線の運行も危殆に瀕する結果を招來するので今や死線の間を彷徨せんとしてゐる安奉沿線居住者は警備力の增大を唯一の賴みとして不安に滿ちた月日を心許なくも送つてゐる

遼陽驛の本庄將軍（廿九日撮す）

萬家嶺で匪賊を擊退

【瓦房店】萬家嶺は匪賊の出沒とコレラの猖獗に惱まされ人心極度に戰慄してゐたがコレラは終熄尙自警團によつて匪賊の一味を逮捕し二つの喜びが有つた、即ち八月十八日午後七時萬家嶺自警團鄉軍松本誠一郞外三名は柞蠶試場附近を徹宵警戒中野菜行商風を裝ひ附屬地の軍警の行動を探らんと侵入したが後備騎兵曹長松本誠一郞の鋭い眼光に看破され鄉軍四名は捨身となつて大格鬪の末逮捕した、此奴は蓋平縣生れ王成年で頭目王殿廣の部下で既に六回馬賊を働いた兇賊である事が原司法主任の峻嚴なる取調べによつて漸く判明し廿八日復縣公安局へ一件書類と共に護送されたが近日官馬山麓で銃殺死刑執行されると

萬家嶺鄉軍は七月廿七日突如五十餘名の匪賊團の襲擊に遭つたが而も豪雨暗夜最前哨線に立つて死守し軍警と支援擊退した勇壯な奮戰は大和民族天賦の使命を果したものとしてその意氣に感激した大內警察署長は左記四名の表彰方を關東廳に上申した

松本誠一郞、小椋宮松、佐賀甫、西村源三

撫順も不安
奉天城內襲擊事件で 關係當局嚴重に警戒

【撫順】撫順では奧地匪賊再三の瀋海線襲擊がいよく下章黨に及び益々附屬地に接近進擊することが確實となつたので二十九日守備隊憲兵隊警察及び炭礦防備隊の武裝兵一千餘を以て徹宵非常警戒をなせる折柄匪賊は突如奉天襲擊を敢行するに至りこゝもと無謀なる匪賊等は何時如何なる方面より當地に襲來せんとも限らぬとし、又奉天襲擊の匪賊團二千名の移動地域も分らず頭々當地東端塔連より東方二、三里の地點には曩に警盤刀匪を控へて居ることは昨今に於ける炭都撫順の非常な脅威であり元帥林を襲擊したる約一千の兵匪警備弛むと見たが最後彼等は必ず日頃の撫順襲擊を決行するものとし目下當地全警備機關は協力一致全力をあげて敵匪の防備警戒に當つてゐる次第であるが、鐵肩山附近に蟠居せる匪首李春閏以下八百の敵匪は漸次近接しつゝありその偵察隊の一部は既に渾河を渡つて管內に入つた模樣とさへあるが、二十九日夜は東社東北方一里得利我哈に三百名同北方魏家嶺に二百名移動し來つた

小川氏の遭難詳報

【奉天】二十九日午前十時頃安奉線姚千戶屯、陳相屯間に於て小川判作氏監督の下に滿洲人六名をつれ中間作業中約八十米隔つた家屋から突然廿四名の匪賊が現はれ作業中の滿洲人に對しこゝに日本人がゐるかと尋ねたので日本人はゐないと答へると賊はその滿洲人を毆打した賊と知つた小川氏は逸早く陳相屯方面に逃げ又滿洲人現業員の一部は高粱畑に他は姚千戶屯に逃れんとした時又も賊が[illegible]洲人をヒッつかまへて日本人はどこへ行つたかと尋ねたので姚千戶屯へ行つたと嘘の方向を敎へてやると賊は早速同方面に日本人を追ふて行つた之が爲小川氏は午前十時半虎口から脫することが出來その他の滿洲人も放免され何れも無事なるを得た

連絡者を銃殺

【鞍山】鞍山劉二堡間及び同騰鰲堡間の電話線は匪賊のため切斷され不通となつてゐるので鞍山農會聯合會では各村と連絡のためモヒ中毒の乞食に變裝せしめ使ひにやつて居たが先日も李永福外一名を變裝させ手紙を高粱稈の中に挿入し騰鰲堡にやつた處同村入口に於て見張り賊に發見され身體檢查の結果遂に高粱稈內の手紙を押收され匪首三勝のもとに護送された、三勝は大いに憤慨し劉二堡の川原に引出し多數村民の前で銃殺し手紙は燒却したと

開原の警戒

【開原】開原の東西兩方面には一は通江口一は淸原縣より有力なる賊團開原に向つて前進しつゝありとの情報に依り軍警は嚴重警戒中であるが八月廿九日より更に義勇團は三小隊より成れる警備隊の一小隊を召集し每日午後七時より翌午前五時迄各小隊交替にて當分附屬地內の警備を補助することゝなつた

本庄將軍を送る沿線の歡喜
各驛は送迎人の山

【遼陽】柳條溝の滿鐵線を破壞されて約一年其の間に於ける本庄將軍の勳績は實に多大なるものがあつた廿九日午後急行で遼陽通過母國に凱旋せらるるに當り遼陽の日滿官民は擧げて將軍に對し心からなる見送りがあつた列車がホームに入るや關屋地方事務所長、山崎領事、貴島衞戍病院長、多門師團長夫人楊縣長其の他官民有志多數の挨拶を受け萬歲聲裡に離遼された

【鞍山】滿洲事變勃發以來幾多の大功績を擧げられ滿洲國の成立を觀た前關東軍司令官本庄繁將軍は滿洲に思出を殘し二十九日午後二時五十三分鞍山驛通過の急行列車にて南行したが驛頭には羽山少佐を始め將校團、泉警視、小野寺所長、右近、梅根、久留島各課長、林議長、加藤實業協會長、在鄉軍人、青年訓練所、實業青年團、時局婦人會、小中學校生其他官民多數の迎送者があつた、將軍は感慨無量の體にて一同に言葉少なく別辭を述べ、小野寺時局委員長送辭を贈り市民一同感激の淚を浮べて別離を惜しみ迎送した

【大石橋】前關東軍司令官現本庄軍參議官は本（二十九日）午後四時五分發上り第一二列車にて通過したが空には獨立飛行第十一中隊の戰鬪機警備地上は同隊地上勤務員至嚴の警戒を爲し又列車到着前二十分より驛頭には官市民は勿論在鄉軍人婦人團を以て埋められ靑年聯盟支部處甲長は聯盟旗を掲げゐる支部員五〇を引率して參集歡送し滿洲國人は滿洲國旗を打ち振りて見送る樣人目を引く無慮二千の見送り人にて近來稀に見る盛況を呈した

【瓦房店】光輝ある滿洲國誕生に貢獻し歷史上の大偉業と皇軍の武威を全世界に宣揚し赫々たる偉勳を顯し三千萬民衆の信望を一身に集め軍事參議官に補せられたる本庄將軍は二十九日第十二急行列車にて午後七時瓦房店驛着驛頭には日滿官民總出無慮三千ホームに堵列日本側代表阿川庶務主任各所局長の名刺二十名滿洲國側代表荒川指導員各所處長の名刺拾名を提出して惜別謝辭の敬意を表せば態々有難う丁寧に挨拶あり天地も崩るゝ萬歲の嵐に展望車に巨軀を起立し一々擧手の答禮をなしつゝ華々しく母國へ凱旋の壯途に昇つた

日本少女使節の來滿延期を要望
營口青年聯盟で決定

【營口】營口青年聯盟支部に於ては當地が常に匪賊の爲めに襲はれ居住民は常に戰々兢々として戰場生活をつゞけ人心不安の極に達し商取引は、これが爲め杜絕し冬期結氷の際には更に一層の不安を感ずるにより居住民の生命財產安固を計るなら少くとも一箇中隊程度の常駐守備隊設置の必要ある事及び曩に滿洲國派遣の少女使節に對する日本少女使節が近く答禮の爲渡滿するよしなるも右は前記の如く沿線各地が現在の如き不安狀態では何時如何なる事變の勃發せずとも限らず使節の旅路絕對安全を期し難く且つ匪賊來襲に對する警備の爲日夜不眠不休の苦鬪をつゞけ常に不安危惧の念にかられ居る爲め使節を迎へるの氣分になり難きにより當分出發延期方の二項を具して本部に要望した

移民の獎勵時代に續々歸國する鮮農
撫順では既に七百人

【撫順】五月以來東邊道各地から當地に流れ込んだ避難鮮人は既に累計三千餘人を數へその大部分は當地鮮人民會や有志知友の世話を受け或は警察、炭礦等の斡旋好意により除草人夫や工事人夫として働き辛うじて生活を續けてゐるわけであるが、或は戶主や賴りにした兄弟を失つた老幼婦女子のみの家庭や罹病家庭は當地に止まつても何等生活安全の方法がないといふので、總督府、領事館、警察等の斡旋で鐵道割引乃至無賃乘車の便宜を得てぞく／＼鮮內に引揚げつゝあり、今日までかくして引揚げたる家族は合計二百六十九戶七百三十八人の多數に上つてゐる、即ち移民出動の時代とは逆に切角の既移住者がかく歸還するは一面わが移民政策上甚だ芳しからぬことゝして識者眉をひそめてゐるところではあるが、引揚鮮農等の語るところによれば、私等は滿洲に來て古い者は早二十年にもなるがまだ一度も歸國したこともないので今度一應歸るが、時局が安定すれば今度は老人は殘して知友青年を連れて再來する心算だ、併し從來の經驗に徵しどうしても交通便利で安全な地方で働きたいと思ふので、當局に於ては左樣な地域を調査物色して置いて貰ひたいものだといつてゐる

匪亂と豪雨中を綠林から綠林へ
馬占山討伐戰手記（下） =（皆藤少佐）=

飛行機で第一線に糧食を送る事になつた、密雲を突いで決死の空輸である、投下した米袋が泥中に炸裂する、兵隊が土塊の中から米粒を洗ひ出す、砂金でも採る樣に一粒でも粗末には出來なかつた

泥濘地が發るとき深みに足をすべらして馬もろとも水をくゞるものが少くなかつた、鐵胄の方は間もなく浮上るが水泳を知らぬ江省軍の兵隊は沈んだが最後それきりになるのが多い、麥畑の中で溺死するものが每日續いた日があつた

其都度素ッ裸になつて日本の兵隊が次から次へと味噌汁の樣な水の中へ躍り込んで友軍の兵を救び上げる、水を吐かせる、注射をする人工呼吸をやる、十分二十分三十分なかく息をふいて來ない「不行呵」？先方の將校はあつさりあきらめて居るのに日本兵はなんとかして生き返さうと思つて一生懸命である、日滿兵士の融合、がわで見て居つてホロリとさせられるこれも共に苦勞をすればこそである

日滿親善の方法にはいくらもあるだらう、然し軍隊と軍隊との親善は最も有力なる一つの捷徑であることを信ずる、兎に角早く接近してお互に知ることだ、でないと相手の習慣や風俗を重んずることが出來ない

日滿兩軍の到る處偏陬の地まで新國旗が誰が命ずるともなしにかゝげられた、怖はくて出したのかも知れんが死に角今迄は旗の持ち合せもなかつたのだ、民間に對する認識の扶殖、作戰に伴ふ大きな收穫である、唯一の統治者である筈の「馬主席」がなぜ追はれて居るのかも百姓にはよく解つて來た、馬に從つた將兵もも少し新國家を識つて居つたらあれ程苦勞させずに濟んだらうに、それかあらぬか續々各地に歸順を申し込んで來るのが增えて來た、こゝに特筆すべきは昔から繰返して來た支那式の陰謀が滿洲國の庭の中では最早許されないといふ事だ、三千年來この方「萬乘之國弑其君者千乘之家…上下交征利」の思想は今でも同じ事、一波未平一波又起その波瀾の上に支那特權階級の生活があつた

その波瀾の下に喘いで來たのが百姓である、日滿兩軍今次の掃蕩は未だ滿洲國人になりきれないで懷疑に迷ふ分子にも十分好い刺激を與へたことゝ思ふ、まさか馬占山の死が民生の爲に殉じた佐倉宗五郞だとは思つては居らないだらう、秋の收穫に入る頃兵匪が消滅して行くといふ事は何んといふても百姓に對する福音である、江省の野に從軍して先づ氣のつくことは耕地面積の大きい點で、地表を覆ふ青々綠々の「莊稼」が地平線から地平線へ擴がつて何日行軍しても同じ所に居る樣だ、この耕作地に一寸でも改良の手を入れたら一體どこの滯に持ち出すのだ、その吐け口が心配になる

所で百姓の生活はどうだ、生れて二日風呂につかつて牛と一緒に働いて死んで行くだけである、恐らく生れ落ちた第一第二日の湯洗が生涯を通じて一番のごかだつた生活に違ひない「見出而作、日入而息」宜なる哉、山麓の寒村には夜間燈火の準備がない、そして「一天到晚」働き通して剩餘は兵匪があつさり頂戴して行く、變つた生產と消費ではある

大きな部落にはたまく土地に不似合な煙突を見る「××燒鍋」（燒酎製造所）といふのがそれである、いづれも萬福麟とか馬占山とかを金主とする製造工場だ、人民の膏血がその煙突から煙になつて消えて行くかと思ふと寒くなる搾取といふ言葉がこの土地にぴつたりと合ふ

「養生喪死無憾王道之始也」いくら孟子が叫んだつて口舌の文明を持つ階級と鐵砲を持たぬ階級は「有槍階級と無槍階級」（鐵砲の對立を今日迄續けて來たのではないか、古い樣だが滿洲國のうぶ聲は人類眞正の叫びである、これをしも政治的に解決せんとあせる列强の淺慕さ、そこに打算にのみ偏する近代外交の醜さがある（をはり）

安東のコレラは絕滅容易でない
山口關東廳衞生課長談

【安東】關東廳衞生課長山口俊太郞氏は二十七日夜來安、安東に於けるコレラ病の現地調査並に視察を爲し二十八日關係者と警察署に於て會合今後の處置につき協議を爲し二十九日午前六時四十五分發歸任したが次の如く語つた

全滿的のコレラも安東以外の地は殆んど終熄した、何しろ安東は鴨綠江と云ふ大河を擁してゐる爲め絕滅は却々困難だ、殊に吐瀉物を殆んど江中に遺棄してゐるので困る、出入船も相當あるため日滿協力して大々的に根絕すべく、關東廳としても何等か方法を講じなければなるまいと思つてゐる、幸ひ附屬地內は當局の努力に依つて無難の樣であり感謝してゐる

安東のコレラ

【安東】舊市街後潮溝の筏夫于同蘭（二八）姜永立（三五）及びキリスト敎徒王士端（五三）の三名は二十八日眞性コレラと決定、家族は八道溝に收容する一方附近は交通遮斷し大消毒を行つた

沿線往來

▲八田滿鐵副總裁 廿九日安東へ
▲木村九大教授 卅一日新京へ向ふ筈
▲闞奉天市長 廿九日歸奉
▲駒井長官 廿九日歸任
▲滿洲國政府大橋外交部次長並に阪谷財政部總務司長は北滿水害狀況視察のため二十五日午前飛行機にてチ、ハル上空を飛來し同地には足を入れずに飛去つたが途中泰安鎭訥河方面を視察して長春に向つたと

電車軌條敷換と撫順市民の惱み
中央大街の西側移轉撤回で こんどは停留所問題

【撫順】中央大街電車軌條の西側移轉に就ては既報の如く突如西側居住民一同から猛烈な反對運動を受くるに至つたので、撫順炭礦當局でも當初から別に絶對的に西側に移さねばならぬといふ理由もないとて改めて一米突東側に卽ち道路の中央部に敷換えることゝして西側代表者並に二十九日當局を

訪問 した寺西地方委員議長以下田中實業會長、角町内會代表等にこれを提示し了解を求むるところがあつたが、こうなると當局では道路の交通安全上從來の西五條停留所は撤廢するといふ意向であるので、かくては西五條乃至東西四條といふ代表的撫順の商店街が蒙る不利は非常なものがあるといふわけで、今度は停留所の存廢問題が新たに醞釀さるゝに至りこゝもと商店街居住者一同は角をためて牛を殺する結果に至るを恐れ痛し痒しのジレンマに陷り、結局は炭礦當初案たる西側を支持して停留所を存置するか、停留所を犧牲にして中央に移すかといふ

問題 にぶつ突つてゐるが當の撫順炭礦宮澤庶務課長は語る

今回の軌條敷換えは現在の軌條は敷設後既に十年を經てジョイントが摩滅し又電柱も朽しかゝつて何れも使用に堪えぬこことなつたゝめだ、そこで炭礦としては敷換えるには他に新軌條の持合がないため現在の軌條のジョイント部を切斷した上で又これを使はねばならぬのだが、現在の儘でこの改善工事を施すとき二ヶ月の日子を要するのである、ところが此方としては毎日の所要諸材料及永安橋煖房用石炭の運搬上又童鳳其他奥地沿線居住者の電車利用上二ヶ月もこの工事に費すわけにゆかぬ、ために最短期間で敷換えればならぬといふわけでそれでは謙め軌條を移すだけに

工事 をしてしまつて大至急で敷換えるより方法がないがそこで停留所を存置し道路の利用價値をより增大し又非常時に對する驛前カーブの改善が出來るのが現在の西側移轉である、以上の次第で當方としては別に何等他意あるわけでもなく寧ろ諸種の事情を考察して市民や電車の利用者のために最良の策を考へて實行にかゝつたわけでよく考究して貰へば了解も出來るかと思ふが、色々反對の陳情を受けたので中央を通すことにしてもよいと考へてゐる、尤もそうなれば電車の構造上又事務所前驛前間の

距離 が短いため平面乘降の停留場がつくられぬし、と云つて道路の眞中にスタンドを置くことは體裁もだが第一交通上危險至極だから今の西五條停留所は自然廢止されねばならぬ

拉致された邦人釋放されて歸る
九死に一生を得た清瀧氏

【開原】昌圖附屬地居住清瀧梅三郎氏が釣魚中馬賊に拉去された事は既報の通りであるが八月廿七日午後六時悠然として無事歸宅した八月廿六日同氏の拉去さるゝや昌圖警察官派出所長松島警部補並に居住者は百方救出方法を講究し匪首九州の叔父に當る者を呼出し救出方を命じた處同人は快諾し直に九州に使を派した、然るに清瀧氏を拉致した系統不明の馬賊は昌圖を距る東南五邦里煙臺溝に至り當所に蟠居せる匪首九州に清瀧氏を引渡したので九州はこれを受け七日午後二時無條件にて放還したのだといふ、萬死に一生を得た清瀧氏は松島警部補並に居住者の厚意に對し深甚なる感謝を致し居住者を驚がせた事を深く謝して居ると因に匪首九州は前記昌圖には同人の叔父が居住して居る關係上絶對に昌圖を侵さず却て好意を有して居るとの事であるが清瀧氏の歸來談によれば中にも九州は同氏が昌圖の人なりと聞き直に放還の意を洩らし寢食共に相當優待したさいふ不幸中の幸ひさいふべし

榮轉の噂ある
安永民政署長

【金州】關東廳課長中一二の事務官が内地轉出に伴ひ其の後任として地方課長の椅子に据はるべく專らの下馬評に上つてゐる安永民政署長の榮轉說は四圍の事情から推して確實性がある、卽ち氏は手腕力量の點から見て本舞臺に乘出すべき人物であつて、金州赴任の當時から關東廳としては金州の事態が落付く迄と言ふ意思であつたものと思はるゝから、やつと半歳を出たばかりの處に矢繼早に榮轉も不思議はあるまいけれ共、金州在住者としては傑出した氏の人格さ手腕を慕つてゐる際であるから單に噂のみであることを望んでゐる樣な有樣である、一方氏の榮轉が若し實現するものとせば後任としては順序として旦普蘭店署長の榮進が當然であらうが事務的立場から短期間に兩民政署長を動かすことは餘り面白くなかろう結局現大連民政署地方課長の大和田理事官が昇任するものと見られてゐる

チチハル
孔子祭を擧行

孔子逝いて茲に二千四百八十三年黑龍江省公署敎育廳にては來る九月三日を卜し午前十時より龍沙公園關帝廟前の劇場に於て孔子祭を盛大に擧行する事となつたが、當日は孔子に關する講演會、孔子敎義のビラを撒布及標語貼付等孔敎精神の發揚につとむると共に參列者は隊伍をとゝのへて市內を遊行し一般民衆の信仰心を喚起する事となつた、在來邦人も多數參加する事になつて居るので今より用意にかゝつてゐる

防疫狀況視察

陸軍省にては北滿におけるコレラ防疫狀況視察並に指導のため三等軍醫正石井四郎氏を派遣し隊離所その他を視察指導したが廿六日午後八時より南大營東大營野砲隊等に於てコレラその他の防疫宣傳映畫を公開し午後九時より憲兵隊に於て一般在留民に公開した

洮昂線開通

【チチハル】長期に亘り不通であつた洮昂鐵路にては二十七日より一般旅客輸送を開始したが、大興江橋間及び江橋、五廟子間はモーターボートにより連絡し當分の間手小荷物は取扱はぬさ、尙列車發着時刻は龍江驛午前七時發、午後八時洮南着の一日一往復にして何れも洮南に於て四洮線と連絡するはず並に東支西部洮昂兩鐵道の不通により當地宛の郵便物は約五週間に亘り不着であつたが、日滿兩郵局員の盡力により本日多數到着し今後引續き漸次到着の見込ついたので交通不通に名をかり、暴威を揮ひ虐賣を行うて居た商人等は交通開通により一掃される日の早かりしを市民は喜んでゐる

一萬圓よ何處へ
賣出された旅順の馬券 早や八分の賣行き

【旅順】街頭へ躍り出した一萬圓！旅順競馬俱樂部賣出しの入場券は市內十軒の取次販賣店から一齊に賣捌かれたが流石一圓で當分樂しめるといふ意味と買ふも馬鹿、買はぬも馬鹿テナデマも宣傳されるので至極景氣がよい、廿九日正午頃迄の情況を見ると凡そ八分の賣行きを見せてゐるから茲兩三日中には賣りつくされる景氣だ、大連方面はどうかと云ふと矢張人口多く競馬熱が旺盛だけに既に不足を告げて來てゐるから現在の一部位は大連へ買はれて行くやも計り難い、そうすると旅順の持ち數が減ぜられる恐れもあるので大いに興味ある狀況、扨てこの結果は一萬圓よ何處の誰れへ行くか旅順か大連か……

事變記念競馬

【安東】來る十月八日より開かれる臨時競馬大會は滿洲事變一周年記念競馬大會として大々的に開催されるが二萬圓福券レースを六日目に、尙六日間は各レース每に福券を一圓で發賣する事となつたが俱樂部に收得される二割を控除した賣上高は全部拂戾される譯である

安東秋季競馬

【安東】安東秋季競馬初日（二十七日）は時頭からの番狂はせに早くもファンを狂躁のルツボに追ひ込んで曇天ながら押し寄せる群衆は人垣を造る盛況振り、引きつゞく番狂はせに興味はいよ／＼高潮に達したが第九レース頃から遂に降り出した、濡れ鼠になつて馬券を購へるファンは本眞劍だ、ドシヤ降りの雨中に競ふ駿馬と駿馬、馬場は湧つて蹄は深く喰ひ込み土を跳上げる、初日の賣上は雨の爲めか案外少くて馬券が一萬一千五百八十圓、入場福券が千四百三十一枚、一等の千圓は五番通り九丁目の韓當一に當つた、尙競馬俱樂部では降雨の爲め第二日目から一週間延期し九月三、四、五、十、十一日に續開する旨發表した

安東
事變記念催し

滿洲事變一周年記念日當日の行事に關し二十六日奉天に於て開催された全滿時局市民會出席の上協議をとげた瀨ノ口安東時局市民會理事は二十七日午後歸安したが安東に於て催される諸事項は改めて二十九日の時局市民會理事會に於て決定、發表されることゝなつた

鞍山
秋季淸潔檢查

鞍山管內に於ける本年度秋季淸潔法は九月五六の兩日に亘り檢査施行せられるに付き一般市民は目下匪賊跳梁警官激務に鑑み再檢査を命ぜられない樣に檢查前日までに隨意完全に行はれたしさ

五日　鐵道東全部
六日　鐵道西全部、櫻桃園、大孤山、立山、湯崗子

臨時傭員採用

鞍山驛に於て採用する鐵道部臨時傭員採用試驗は二日午後一時より小學校において執行の豫定であつたが志願希望者四百餘名に達した爲め二十八日正午を以て締切り二日午前九時より同校に於て開始するから願書提出者は右心得られたしさ

遼陽
將校婦人會慰問

遼陽將校婦人會では廿八日多門師[illegible]團長、天野旅團長、上野參謀長、宮城高級副官の各夫人幹部が代表して警察署、在鄉軍人會本部を訪問の上金一封宛を贈呈慰問した

金州
我妻氏榮轉

警察署保安、衛生係主任の我妻源平氏は今回の異動に依り安東署に榮轉することゝなつたが近日家族同伴赴任の筈

滴餘

憧がれの武勳赫々たる本庄凱旋將軍を乘せた急行車は金州驛に到着した、日滿人手に手に國旗を振り爆竹を鳴らし全金州を擧げての歡送である、將軍は食事中に降車して答禮した、期せずして起る萬歲、全く感激の坩堝だ、初めて見る將軍の颯爽たる勇姿に感激の餘り大牛が淚を揮つてゐる、これぞ將軍を送るに際しての日本國民の欺らざる感謝である▲安永民政署長の榮轉說濃厚となる曾てない傑出せる一代の名署長であると折紙を付る、顧みるに金州平和の天使であつた、永久に氏の上に最大の幸あれ▲恒例の林檎デー數日に迫る、遠來の客を迎ふる爲め出來得る限りの親切を以て歡迎されんことを望む▲闞奉天市長州內の有志を自宅に招いて一夕の盛宴を張る、珍しく挨拶は拔きにしたが、そこに闞氏の闞氏たる處があつた、打解けた談笑こそ亦となない御馳走であつたらう

營口
時局委員會

營口時局委員會長門間氏は三十日午後一時より地方事務所內に時局委員會を開催主さして九月十八日の記念日に關する件並に警備に關する協議を行ひ尙他の二三件をも附議した

三警部補命課

營口警察署勤務三警部補の命課は左の如く決定した
高等係相良警部補、司法係前田警部補、領事館倉迫警部補

奉天
圖書館休館

奉天圖書館では曝書の爲め來る九月一日より八日まで閉館する

新義州軍勝つ

【安東】全鮮野球大會に出場したオール新義州軍は二十八日午前十時から京城球界の雄慶熙俱樂部と對戰したが四A對一で快捷した
バツテリ（新）小口、瀨戶山（慶）鈴木、關、小山

寬甸への遞送夫出たなり歸らず
鳳凰城との聯絡絶ゆ

【鳳凰城】鳳城郵政局から寬甸往復の遞送夫は五名で每日一名出發して五日目に歸つて來るのであるが本月二十一日出發した仲延齡を初め二十二日、二十三日、二十四日と順々に出た遞送夫が未だ一人も歸つて來ず行方不明となつたが右四名は多分唐聚五の爲め捕へられたものらしく更に二十五日出發した一名は途中大堡から引返すの已むなきに至つた、右の狀態で當地寬甸間の郵便遞送は今のところ不可能となつた

自治委員監禁

【鳳凰城】縣自治委員尤震氏は投書の嫌疑で、またさきに自治執行委員長たりし曲明允氏は或重大嫌疑のため二十七日第一旅司令部に監禁され目下取調中である、尙右投書の內容は本庄中將が當驛通過の際警察隊長何盛有は驛頭に出てゐた其好機になぜ本庄中將を射たなかつたかと云ふ意味のもので投書者の名は縣教育局長何洋林さしてあるが尤震氏は筆蹟についての嫌疑である

殉職巡捕長に祭祀料御下賜

【普蘭店】營口警察署勤務中匪賊と戰つて遂に名譽の殉職をなした普蘭店管內鳳鳴[illegible]會出身巡捕長于連城に對し今回畏くも兩陛下より祭祀料を下賜相成つたので二十七日營口署より當署を經て其遺族に對し有難き御思召と共に之を傳達した

奉天附屬地に三名組强盗

【奉天】市內浪速通り卅六番地滿洲國人雜貨商恒昌德方に廿八日午後七時頃拳銃所持の三名組强盜が侵入し脅迫して金票三十五圓、大洋十八元を强奪逃走した目下奉天署に於て犯人嚴探中である

山崎部長遺骨

【安東】安奉沿線大堡に於て殉職した故山崎巡查部長の實兄慶一氏及び親族總代藤澤納氏は二十八日各方面を挨拶に廻つたが同夜九時遺骨を護つて歸鄕した

避難民を救濟

【大石橋】營口縣大石橋辦公所に於ては過般來匪賊の跳梁に伴ふ避難民の[illegible]に鑑みこれが救濟の目的を以てその食糧品たる高粱を分配すべく避難民の生活狀況調査中の處左記避難民に對し按分比準に依り高粱百石を分與する事とし目下縣公署に請願中

大石橋　戶數　一一一戶　男女計　八二〇人
滿洲街

教育者の講習會
滿洲國の教育精神を普及 卅日より新京で開く

【大石橋】海城縣に達したる省公署の訓令に依れば本月三十日より九月二日迄新京文敎部に於て敎育講習會を開催の趣きにて海城縣敎育會に於ては左記二名を派遣する事に決した、本講習會の目的は建國の大精神並に滿洲國敎育の精神を收得せしめ廣く國民敎育に資せんさするものである

▲出席者 △海城縣立第一小學校首席敎員金季淸 △海城縣立第八小學校長太守魁 ▲會場新京吉林省第二師範學校 ▲▲講習人員初等敎員一五〇名、中等敎員五〇名

講習科目左の如くである

講習科目	講師
▲題未定	國務總理
▲我國の國際的關係	外交部員
▲我國の敎育方針	文敎部員
▲敎育者の使命	文敎部員
▲題未定	關東軍參謀
▲經學の本旨	吉林敎育廳長
▲題未定	駒井總務長官

金州孔子廟祭

【金州】城內聖廟街に在る州內唯一の孔子廟は來る九月三日が仲秋上丁に相當するので同日午前十時半から盛大な釋典を嚴修する筈である

四平街
警備團を組織

四平街在鄉軍人分會にては秋風冷凉の期に入ると共に愈々高粱も繁茂して匪賊跳梁し朝に東街を襲はるれば夕べに西邑危機に瀕す等目まぐるしい不祥事の續出に當市としても徒らに安眠を貪る譯にゆかず警備力手薄の折柄偶々當局の勸告もあつたので從來の在鄉軍人分會並に自警團を合體し、更に滿鐵その他勤務關係を考慮して强力なる警備團を組織し、市民の安全を期する事となり目下幹部間に於て寄り／＼協議中であるが之が實現の曉は各方面より可成り期待が掛けられてゐる

射擊大會開催

當地在鄉軍人分會主催四平街射擊大會は既報の如く二十七、二十八日兩日間守備隊射擊場に於て華々しく開催せられたが來會者は三百名を突破し頗る盛會を極め就中二十八日の如きは雨模樣にも拘らず多數の來會者があり元氣な老頭兒連や健氣な婦人達の顏も見えて鄉軍幹部は今更ながら市民の熱心さに感激してゐたが昨年に比して技倆も頓に進境を加へしもの多く一人平均得點數は既敎育者、一七、九八二點、未敎育者一二、二二點にて頗る優秀な成績だつた

瓦房店
弔慰金を贈る

八月廿三日陶家屯警察派出所に突[illegible]二十一日の[illegible]際當時[illegible]巡查妻女シマ子婦人は單身拳銃を片手に派出所を死守し不幸身に數彈を浴び遂に壯烈無慘なる最後を遂げた、常に生命晴線に立つ警察官の妻として燃ゆるが如き犧牲的責任觀念の發露、大和女性の典型として悲壯鬼神も泣く健氣な行動に感激し大內警察署長夫人を始め田村、猪田、原、北各警部補婦人發起となり八月廿九日午後一時より警察署員俱樂部に署員婦人全員集まつて協議の結果十日間粗食をなし生み出したる金を以て弔慰金を贈る事に纏まつた

警備費獻金

關東廳警備機關充實費として左の通り獻金申出があつたが大內警察署長は此の奇篤の行爲に衷心より感激關東廳に手續きをなしたが尙陸續として申出がある模樣である

瓦房店商務會四百圓、早川勘太郎五十圓、廣瀨駒男十圓、廣瀨ヨシ五圓

大津氏結婚

チール果樹園の令孃石丸家の靜江（二七）さんは今回深草榮造氏夫妻の媒酌により緣談整ひ八月廿二日大連西廣場日本基督敎會に於て華燭の典を擧げ新郎大津興作氏と鴛鴦の契り仲睦まじく廿六日親い家庭を歷訪披露の挨拶をなした

旅順放送

▲軍艦平戶陸戰隊は二十九日、三十日、九月二日の三日間午前八時から午後四時迄黃金臺より舊防備隊一帶より發火演習を行ふ
▲少年夜角力の經費殘金中更らに前年度の利子が金四圓九十五錢その後締切後森淸次郎氏から金二圓の寄贈があつたので合計金五十一圓三十二錢となり郵貯より利廻りの好い金融組合へ預金する事となつた
▲離旅した安岡靜四郎氏は過日出發に際し金十圓を第一小學校同窓會へ寄附した
▲北浦辛三郎、丹羽辛三郎兩氏は各五圓宛、三洞保祥龍軒外一名より二十五圓右いづれも警察機へ献金した
▲金比羅町九殖栗三保三郎氏二女シカ（二三）は二十八日死亡

市中の噂

▲去る日曜の午後、料亭壽の大廣間で長唄の演奏會が開かれ無名の年少三絃家庄野安雄君の藝術が紹介された▲滿石は望月太津藏師を父とし稀音家六四郎師に就いて精進した丈けあつて却々しつかりしたもので、聽者いづれも陶然、大連にも恐らくこれ程彈ける者はゐないとの來評を實證した。會の當日は既に數名の入門希望の申し込あつたこの事だがさもあらう▲當日來場の吉住某は名前がどうの斯うのと言つてゐたがそんな事は枝葉末節だ、長唄藝術の眞髓は藝の內容だ精神だ、安雄君たるもの大に意を強ふして可なり、但し滿心すべからず、これを機會に一大勇猛心を發揮して、六四郎師の名を繼ぐの意氣を持つて奮勵努力せよ▲聽衆は吉住小之藏師の美聲に接すべく期待してゐたが事故あり出演しなかつたは殘念だつたが、堀越氏が六代音師の紋で老松を代演、その洗練されたノドを聞かせたのは意外の儲けものであつた。顏を知らぬ連中、スツクリ小三藏師匠と間違へた程の美聲妙技を發揮した。やはり機會のナンバー、ワンたる演本藏あり玄人跣足だ▲料亭の壽では目下義太夫の師匠を聘して歐吉妓始め一同猛練習最中さあるが十月一日長唄、淸元、常磐津と合せ演藝會開催、實收を警察機に献金するさいふ

ひなトンプク散
KOKYU NETSUSAMASHI
SEIZAIHONPO
HINA KOEIDO

永久不變色の
地下室採光用
プリズムガラス各種
南滿洲硝子株式会社

三星印
國産 フエルト
工事請負
矢野元商店
大連市彌生町
販賣元
鳥羽洋行
大連・奉天・長春・吉林
商標
國産 便利瓦
製造所
田島應用化學工業所
關東軍・滿鐵會社 御指定品
アスファルト・ルーフィング
A PLY 甲スター
ベストフエルト マルサフエルト ダーフエルト

事變記念の前日 特殊爆擊演習

爆彈百五箇で白銀山砲壘爆破 濱松聯隊が周水子で

【東京特電三十日發】濱松飛行聯隊では大連周水子飛行場で特殊爆擊演習を九月十七日から六日間行ひ爆彈百五箇で旅順白銀山砲壘を爆擊する筈、參加機は重爆擊機三機、輕爆擊機一機、九日に空輸し十七日大連到着地上勤務員約百名は五日出發する、統監は増野聯隊長、審査班には陸軍航空本部、技術本部、築城本部、旅順要塞司令部など參加する

騎兵監に轉補されたが、三十日午後三時二十五分發安奉線列車にて凱旋赴任した、驛頭には關東軍司令部幕僚始め官民多數我が輝ける凱旋將軍を見送つた【奉天電話】

省城攪亂で軍費稼ぎが目的

城內の密偵とも聯絡 來奉者を嚴重取締る

二十八日夜匪賊團の奉天省城襲擊は既報の通りであるが同賊團襲來の目的は省城攪亂でそれによつて學良より多額の軍費を領收せんとするもので匪團の先發隊は二十八日書間雜沓にまぎれこんで既に城內に數名のものが紛れこんでゐたのさみられてゐるので滿洲國警務署においては密偵の潛入を防止するため來奉者を嚴重に取締る筈である、なほ匪賊團の奉天襲擊は兩三日前から二十八日夜半を期して決行するとの謠言が流布されてゐたとも言はれてゐる【奉天電話】

これ等賊團は襲來前省城潛入の密偵と充分なる聯絡を取つて決行したもの

奉天來襲の賊

楡樹臺襲擊計畫 蘇家屯より應援急行

奉天を襲擊した匪賊約五百名は楡樹臺南二邦里の麥子山にあり三十日夜楡樹臺を襲ふ計畫のため蘇家屯より應援隊を急派した【奉天電話】

横濱でこれが夜半を期して八方に急を聞き馳つける警備隊員を要所要所にかくれて狙擊せんとする計畫であつたものの如くである、又

守備隊出動

營盤方面へ

高粱繁茂以來滿海線は間斷なく匪賊に襲はれ沿線は殆ど匪賊世界とも稱すべき暴狀を呈してゐるが我軍は滿洲國軍と共力してこれは大々的に討伐すべく靖安遊擊隊〇〇〇名は三十日午前七時三十分第〇〇、第〇、第〇各守備隊は同八時より八時半までの間にそれ〲營盤に出動した【奉天電話】

木蘭駐在員殉職す

匪賊に襲はれ

【ハルビン特電三十日發】木蘭派遣の民政部駐在員青木勇次郎(二八)氏は二十八日午後四時江防艦隊との聯絡をなし歸途匪賊に襲擊され艦隊に引返し應急手當を加へハルビン歸還途中昨二十九日午後三時十分死去、氏は神奈川縣三浦郡出身拓大卒業生にて民政部最初の犠牲者である

安奉線慰問班

十河理事着奉

中間驛現業員慰問の十河理事、群幹事長一行は安奉線慰問を終へて三十日午後一時奉天着、直に撫順線に乘替へ各驛共懇切なる慰問を爲した後引き返して午後五時二十分奉天に歸着した【奉天電話】

騎兵監に榮轉凱旋

吉岡豊輔少將

酷熱の北滿戰線を馳驅し叛將馬占山を殲滅せる譽の騎兵〇團長吉岡豊輔少將は陸軍異動で中將に昇進

聯合艦隊演習

横須賀を出港

【横須賀三十日發】小林躋造中將の率ゆる聯合艦隊金剛以下六十四隻の艦艇は三十日午後一時横須賀出港九時南方海洋上で行はれ演習に參加のため有明灣に向つた、なほ途中大阪に寄港の筈

二科入選

大連の濱野氏

【東京三十日發】二科入選は三十日夕發表したが大連市沙河口元町九十六番地濱野長生氏は繪畫部に新入選した

「沙河口の景色」

父君喜び語る

二科入選の報を齎し沙河口元町六九濱野長生氏を訪へば二三日前奉天に出張不在にて嚴父が代つて倅が入選しましたが、全く夢のやうです、今年二十五歳で沙河口工場能率課に勤務してゐますが二三日前から社用で奉天に出張中でこのことを聞けば倅も非常に喜ぶでせう、小さいうちから繪が好きで油繪を書き出したのはここ四五年です、出品したのは常盤橋方面の風景と沙河口の景色の二點で初めての出品ではあり入選しやうなどとは夢にも思つてゐませんでしたと我がことのやうに大喜びである

二科審査終了

【東京三十日發】第二十九回二科の鑑別は二十六日より續けられてゐたが三十日正午審査を了し午後六時入選者を發表した、洋畫四百三十三點、彫刻五十五點の入選で搬入の一割と云ふ嚴選振り、新入選八十八名、女流も四十數名に上つた

警務局の奉天移管は

當分行はぬ

關東廳奉天出張所長の廢止に伴ひ出張所は關東廳出張員事務所に改められ、內務局の一部地方課は鹽原秘書課長兼任、本廳の人事整理を待ち文書課と地方課長は奉天に常駐するらしく林警務局長は先任事務官として本廳に在り奉天には臨時出張し來り、その間長官との事務連絡は一切立川署長が當り警務局の奉天移管は官制の根本改正まで現狀維持であると【奉天電話】

また白系露人が浦鹽を脫出來滿

北海道から入港した 明石丸でけふ上陸

大三商會扱ひ明石丸は三十日北海道より仁川經由入港したが同船で浦鹽において虐待され遂に機舟に乘つて遙々北海道に渡り身の振り方を依賴した白系露人ペヨトルアサリンスル(五三)外四名が送還されて來た一行は本月十日僅か許りの勞銀を懷中に運を天に任せて北海道に渡り小樽水上署員の厚意で五十圓の金子と衣類をもつて來た、一行は浦鹽附近の鰊漁場におつたがその待遇が餘りに酷なので逃亡する氣になつたもので今後は奉天に行き知人を尋ねて何か職につく考へであると

建國祝賀の花火大會

來月十五日新京を振り出しに 大連は二十日に開催

滿洲建國に對し日本全國民を代表して祝意を表さうとの趣意から新京外沿線主要地で花火大會を催すべく計畫を進めて居る滿洲國建國祝賀會では本部を東京神田三河町に置き、曩に會員伊藤榮作氏を派遣して軍當局その他と折衝せしめたが、愈々九月中旬を期して實行することに決定、右先發として宮前鼓堂、井上榮の兩氏は來月十一日着連の豫定である、同會は前記花火大會の外全國民の署名を集めた賀帳を滿洲國執政府に捧呈する由である、なほ花火大會は來月十五日先づ新京に於て第一回を催し續いて十八日奉天、吉林、ハルビンの各地に於て一齊に開催、越えて二十日大連に於て開催の豫定で滿洲各地に於ては我社が後援に當ることゝなつた

六外國船長へ褒章を贈與

關東震災に難民救助

【東京三十日發】本年は大震災の十周年である、畏き邊りではこの震災記念日に際し横濱の避難民五千人を救助した在港の外國船六隻の船長の人道的人命救助の功勞を思召され三十日褒賞制度創設以來二度目といふ無二の金鵄勳章たる紅綬褒章を當時の六船長に贈與の御沙汰があつた

英國船ライカオン號船長 エー・ゴードン
同ペンリフオフク號船長 アレキサンダー・ウエブスター
同ドンゴラ號船長 アトル・グリフイン
同エムプレス・オブ・オーストラリヤ號船長 エス・ロビンソン
オランダ國船アイイリス號船長 コーニングス
フランス國船アンドレル・ボン號船長 シエークサン

贈與紅綬褒章(各通)

東北地方に花嫁探し

海外青年の爲

【東京三十日發】最近內地の不況から働けば食へる南米その他海外への青年移住多く渡航に臨時船を出す盛況だが青年の海外雄飛に必要なのは花嫁なので日本婦人海外協會は會長松平とし子、西尾、杉田兩幹事等本部總出で來月上旬東北凶作地米澤、仙臺方面に嫁探しに出掛けて各支部で講演、映畫、座談會を開き町村處女を集め宣傳する

バレて逃げる

傳票詐欺未遂

二十九日午前十時三十分ごろ市內浪速町八八番地時計商天正堂方へ五十歲前後の背廣服を着た紳士が訪れ大正小學校訓導右遠一郎名義の關東廳購買組合の傳票を以て金鎖とメタル一個(時價七十八圓五十錢)を購入せんとしたので、天正堂で怪しみ購買組合に電話をかけ眞僞問合中、件の紳士は狼狽して逃げ出した、下目大連署で犯人搜査中

契丹文化を語る碑文を研究した

鳥居博士の調査談

考古學の權威鳥居龍藏博士は令息令孃を伴ひ滯奉中であつたが二十九日午後一時の急行で遼陽に向つた、氏は本庄將軍に挨拶を述べた後語る

去月東京を出發し朝鮮に約十二日間滯在奉天では蒙古林西方面から蒐集された貴重な碑文を研究したが、その碑文は廿餘種あり、いづれも今から九年前、燕原時代の遼聖祖、興祖、道祖の時における契丹との交渉が判明するものであることが判明した、遼の盛大な時代は北宋との往來より寧ろ契丹から高麗との交通があり東蒙古から現在の朝鮮に使者などが派遣された關係から遼の文化は高麗に非常に多くその遺物をみる、從つて契丹の文獻は遼に負ふところ多く、それが殘つてゐるのは朝鮮である、蒙古から集められたこれらの碑文は契舟の文化を知る上に良參考となり蒙古と高麗の接觸もこれによつて判る、遼陽では白塔と東京城を研究する豫定であるが、遼陽の塔も亦遼陽時代に築かれたもので、東京城は今も尙ほ土壤の殘つてゐることによつてその遺跡を知ることができる

氏は遼陽に兩三日滯在の後北行、チチハル、ハルビンの阿什河地方

金州市民會の案內で名所古跡を見物

本社で萬全のサービスを期す 金州のりんごデー

來る九月四日の本社主催の金州りんごデー當日は金州市民會で一行を歡迎し、南山、響水寺に湯茶の接待所を設くることは既報の通りであるが、今年は特に一行が一先づ南山に集合するので、本社サービス係では、この機會に金州の名所、古跡を紹介したい意味からその勞を金州市民會に依賴したところ、快諾を得たので、當日は南山に案內所を設けて、希望個所每に一班となし、參加者のために各班に一名のリーダーをつくることにしたが、金州に到着後、清遊に許される時間は約七時間半もあるので充分に見學も出來る、いま主なる金州の名所、古跡を金州要覽より摘記して參加者の參考に供することにする。

南山　金州驛より七町にして南山に到る、南山祠は昭和三年十月金州在住邦人が御大典記念に日露の役に南山の露と消へた將士の英靈を弔はんために建立せるものであるこのほか匪賊に仆れた吹山警部補の記念碑金州の支那人士が皇軍の忠烈に感激して建てた昭忠碑等もあり頂上の戰跡塔より金州一帶を眼下に收めて風光頗る佳である

金州城　金州驛より二十町餘、何時の代に築城せられたるかは不明であるが、明の洪武四年(西暦一三七一年)遼陽行署左丞張良佐此地に駐在し城壁の修築に着手、洪武八年指揮同知韋富が更に工事して十年に完成せるものである、城の周圍に四門あり、東門を春和門、西門を寧海門、南門を承恩門、北門を永安門と云ふ

三崎山　金州城外第一の絕景である、金州驛より馬車で三十分、日清の役に陸軍通譯として第二軍に從軍遂に殉じた、福岡縣出身の鐘崎三郎、山崎羔三郎鹿兒島縣出身の藤崎秀の三氏の姓に因みてつけたる名稱である、山上に三烈士の碑あり、山上は金州城及び南山を前にし、山水の美を一眸に聚め、春より秋にかけて雅人の杖を曳くものが多い

天齊廟　通稱地獄極樂で驛より馬車で二十五分、邦人の間には地獄極樂と稱して金州見物の目的の一つになつてゐる何時の代に創建されたかは詳かではないが、境內に明の武宗正德二年の碑あるを以て、四、五百年前のものと稱されてゐる門には冥府十王及八大地獄の塑像を列べてゐるが、これを見ると子供のときに誰からとなく聞いた地獄の鬼を想ひ出す

響水寺　金州驛から八里床を通つて一里半、馬車をかれば一時間にして到る、ここは安禍后を祀つた道觀である、響水觀と記された山門をくぐれば洞窟あり、滾々として盡きぬ清水が湧いてゐる、水は更に流れて天水壺となり峯洞の滿さなる、山深くして錦秋の好適地又紅葉の頃も佳い、當日解放される林間學舍もあるが、日露の役には第一師團長伏見宮貞愛親王殿下羽帥を駐められしと聞く

店の品を盜んで酒場を飲み廻る

同僚を取卷きに大盡氣取り

大連署司法室盜犯係は三十日午前九時ごろ市內大山通某デパート大連支店食料部店員山中祿吉(二一)―假名―外三名を拘引し佐々木、河野兩刑事の手で秘密裡に取調中であるが

右は最近山中等が盛んにカフエーを飲み廻つたり遊里の巷に足繁く通ひ詰めて店を欠勤勝ちであるのに店で不審を抱き內偵して見るとかなり商品にも不足を來してをり疑はしい點が多く內々取調中を大連署の探知するところとなり遂に店員數名の拘引を見るに至つたものである

取調べの結果山中は店の商品を盜み出したのみでなく市內各商店で萬引をしたり空巢覗ひ等の惡事を働いてゐた事實が判明し遂に身柄を留置したが、共犯の嫌疑で取調を受けた他の店員三名は山中と飲み廻つた事實あるも犯罪には關係なきこと判明釋放された

大連別院輪番

新田氏は專任

東本願寺は從來滿洲開教監督部を大連に置いて新田神量氏別院輪番小監督を兼務して居たが今回滿洲國成立と共に積極的に教線を進展することゝなり新京に監督部を出し宮谷法含氏監督に就任新京に駐在し新田氏は大連別院輪番專任となり兼て監督部顧問に任命せられた

……發し九月中旬……のである【奉天電話】

秋季競馬

第三日の午後

卅日の星ケ浦秋競馬第三日目午後よりの成績左の通り尙當日の馬券賣揚げは四萬八千百五十圓

▲第五競馬(聯合速歩四頭)三千二百米 第一着大福(李騎手)八分十二秒四、第二着浪花第三着鉾慶、配當(單)十圓四十錢

【附加券】一等百八十七圓六十錢、二等六十二圓五十錢、三等三十一圓二十錢以下卅一圓廿錢

▲第六競馬(新抽七頭)千六百米 第一着石光(奥田騎手)二分十二秒四、第二着隆洞(四馬身)第三着呼倫(大差)配當(單)九圓七十錢(複)一着六圓二着五圓八十錢

【附加券】一等二百九十圓四十錢、二等九十六圓八十錢、三等四十八圓四十錢以下十二圓七錢

▲第七競馬(各抽八頭甲)千八百米 第一着南部(內村騎手)二分三十秒二、第二着譽(九馬身)第三着霧島(五馬身)配當(單)九圓六十錢(複)一着五圓十錢、二着五圓六十錢、三着九圓二十錢

【附加券】一等三百二十一圓六十錢、二等百七圓二十錢、三等五十三圓六十錢以下十圓七十錢

▲第七競馬(各抽八頭乙)千八百米 第一着吉林(小川騎手)二分三十三秒三、第二着千草(一馬身)第三着電駿(一馬身半)

……第一着張飛(青柳騎手)二分廿九秒一、第二着美州(頭)第三着氷天(二馬身半)配當(單)五圓二十錢(複)一着六圓十錢、二着卅六圓七十錢

【附加券】一等三百六十四圓八十錢、二等百二十一圓六十錢、三等六十圓五十錢以下十二圓十錢

▲第八競馬(新抽十二頭)千六百米 第一着天正(福島騎手)二分廿秒三、第二着建國(半馬身)第三着呼倫(三馬身)配當(單)十五圓二十錢(複)一着三圓十錢、二着四圓九十錢、三着五圓八十錢

【附加券】一等四百九十九圓六十錢、二等百六十六圓五十錢、三等八十三圓二十錢以下十圓四十錢

▲第九競馬(各抽六頭)千八百米 第一着張飛(青柳騎手)二分廿九秒一、第二着美州(頭)第三着氷天(二馬身半)配當(單)……

五十圓(複)一着十五圓三十錢二着十圓七十圓

【附加券】一等四百二十三圓八十錢、二着百四十一圓二十錢、三等七十圓六十錢以下廿三圓五十錢

▲第十競馬(各抽三頭)二千米 第一着三白(山下騎手)二分四十四秒一、第二着光例(二馬身半)第三着憲以(三馬身)配當(單)六圓七十錢

【附加券】一等三百九十五圓三十錢、二等百十二圓九十錢、三等五十六圓四十錢

▲第十一競馬(各抽七頭)千八百米 第一着淡月(堤騎手)二分卅秒二、第二着妙見(三馬身)第三着千昌(一馬身)配當(單)六圓五十錢(複)一着六圓五十錢、二着四十一圓七十錢

【附加券】一等四百五十六圓九十錢、二等百五十二圓三十錢、三等七十六圓十錢以下十九圓

▲第十二競馬(新抽十五頭)千四百米 第一着右近(保利騎手)二分五秒三、第二着桂(一馬身)第三着右近(三馬身)配當(單)三十五圓十錢(複)一着九圓八十錢、二着六圓七十錢、三着五圓九十錢

【附加券】一等五百八十八圓四十錢、二等百九十六圓十錢、三等九十八圓七十錢以下八圓九十錢

▲第十三競馬(各抽十一頭)千六百米 第一着旭(川合騎手)二分九秒一、第二着一白(頭)第三着錦福(六馬身)配當(單)十七圓六十錢(複)一着六圓八十錢、二着五圓四十錢、三着七圓十錢

【附加券】一等四百六十八圓、二等百五十六圓、三等七十八圓以下九圓七十錢

▲第十四競馬(新抽十頭)千六百米 第一着金樂(橋本騎手)二分十九秒一、第二着妙勝(一馬身半)第三着興亞(大差)配當(單)七圓四十錢(複)一着五圓二十錢、二着六圓六十錢、三着六圓六十錢

【附加券】一等四百四十一圓六十錢、二等百四十七圓二十錢、三等七十三圓六十錢以下十圓五十錢

潤氏夫妻東京着

【東京三十日發】滿洲國執政溥儀令弟溥傑氏及び執政夫人令弟潤麒氏夫妻は今朝東京驛着中野の新邸に入つた

山形縣人會

山形縣人會では九月二日午後五時より市內山縣通滿洲土建協會で總會を開催し引續き教育視察團十四名及び神職視察團六名の歡迎會を開く出席者は熊谷(電話七二二二)高橋(電話二一四二八)へ會費金一圓五十錢

ホルモン灸

今度東京ホルモン學會長の篠塚正秋氏は歐米見學の途次來滿、この程迄奉天にあつてこの特殊的な灸術治療によつて多數の患者に施術して居たが兩三日前來連、三十日から大連商工會議所樓上で治療を開始してゐる氏の先代千太郎氏は前年來連して難病難治の患者に施術して門前市をなしたことがあつたが氏は先代の灸術を更に科學的、生理的に研究して一段の蘊奧を極めて居ると稱されてゐるホルモン灸は諸病に效果があるが取分け肺、肋膜、腦神經、婦人病、胃腸病、脊髓、痔、關節炎、神經痛、血壓亢進、眼病等に奇蹟的な効力があるといふ、向ふ二週間滯在治療に從ふさうである

安樂椅子

統一機關を奉天設置、低資融通と相次ぐ陳情に前後四十日間、席の暖まる暇もなく運動、奔走した庵谷奉天商議會頭、道は多年、陳情に建議に千軍萬馬の古强者だけにそのコツも心得たものだ。

……◇……

庵谷さん曰く「低資問題で高橋藏相と面會したとき頭ごなしにはねつけられた、所が大體高橋さんといふ人は、フン〱然うか、何とか考へて置かうと言はれる時は表面如何にも有望のやうに見えて實は全然脈がない、それと反對に頭ごなしにはねつけられる時は却て大に有望で、實はモツと詳しく事情を聽き度い肚が十分に見える、だからこの氣風を知らないものは何時も這々の態で引き退る」

……◇……

「だが私はそれをよく知つて居るので却々ひるまない、藏相の反對理由を聞いて一々堂々と駁したものだ、あとで永井拓相にこのことを話したら拓相もそれは大に有望だと勇氣づけられた、然るに私の經過報告が誤つて新聞に傳へられ、前途に曉望なきごと書かれたが決してそんなものぢやない」と、えらい見幕

小賣値段改定

今般原價騰貴に付九月一日より小賣値段を左の通り改定候に付此段謹告候也

		百匁に付
特等品	牛肉	金六十四錢
一等	同	金五十六錢
二等	同	金四十六錢
三等	同	金三十四錢
四等	同	金二十二錢
二等品	牛肉	金四十錢
一等	同	金三十二錢
二等	同	金二十四錢
三等	同	金十八錢
四等	豚肉	金七十八錢
上等	同	金六十六錢
並等	鷄肉	金三十八錢
上等	同	金三十六錢
並等	同	

右之通り

大連獸鳥肉商組合

曙の鐘 (392)

倉田潮　河野想多畫

旅鳥（一）

春木は銀次と別れてから「飲み正」と共に、洗濯石鹸の行商を初めることにした。

「旅には金を持つて出てはならない」と云はれてゐたので、春木は五圓の金を持つて來たことも今迄隱してゐたのであつたが、銀次と別れて後はまた野宿をせねばならないと思ふと、それが辛さにつひ僅な金を持つてゐることを飲み正に打ちあけたのだつた。すると、飲み正は漫然と其の金をつかつてしまつたのでは意趣が立たないと云ひ張つて、つひに行商を初めることにしたのだつた。前の旅にも此の商賣をしたことがあるとかで仕入れや賣方の詳しいことまで知つてゐた。

蒸籠の中に這入つたやうむし暑い桑畑を傳つて、春木は飲み正と商品の包を負ひながら、村から村へさまよつて行つた。びろうどのルバシカは汗と塀に染まつて惡臭をはなち、帽子は破れ顔は陽にやけて二た目と見られない姿に變つた。とは云へ、自然の下に生ひ育つた人と接し、已もまた自然と共に生きるよろこびを覺えてからは文明に腐つた都會に歸らうと云ふ考へにはなれなかつた。名もなき一個の自然兒として、肉體を土に歸さうと思ひながら、目あてもなく關東の平野をさまよつて行くのだつた。

村家では町に出て物をかふ不便をさける爲に、行商人を歡迎した中にも村の娘は多く一と處に集まつて機を織つてゐるので、午後の飽きが來た時分に行くと、よつたかつて行商人をからかつた。飲み正は娘達にからかはれるのが大好きで、後には日課の晩酌を倹約して、ペルツ水と普通の石鹸まで買ひ入れて、女の好意と儲けさを求めることにした。

その結果二人は野宿をまぬがれて、木賃宿に泊ることの出來る「身分」になつた。同時に飲み正はまた晩酌の燒酎二合を初めたが、今度はそれも格別二人の生活を脅さなかつた。

或る夜二人が遲くなつて仕事からもどつて見ると、その村に泊る可き宿のないことが知れた。次の村まで歩くことにして野路をたどつたが、いくら行つても隣り村まで行きつけない。日は暮れて、空腹は激しく、咽喉が非常に渇いたが、桑畑ばかりで水は全く見あたらなかつた。

「路に迷つたのかもしれないな」

と春木は先の村で教はつて來た道筋を思ひ出しながら歩を止めた。酒の氣がないので、飲み正は默つて上唇を癖的になめてゐた。

すると、そこへ背後から浴衣に伊達卷をした三十がらみの女が通りかゝつたが、飲み正を見ると行きすぎたのに立ち止まつて、

「あんた、來る道で、四十五六の浪花節語りに逢はなかつたかね」

と訊いた。飲み正が首を振つて

「逢はねえ」

と答へてゐる暇に、春木が横から其の女の姿を見ると、別に美しいと云ふほどでもないが、と云つて醜いとも云ひ兼ねる、宿屋の女中みたいな女で、手に小さい包をさげてゐた。飲み正の返事に彼女は暫く考へこんでゐたが、

「ぢや、私」と急にしらけた顔付になりながら「矢つ張り、置いて行かれたのかもしれない」

「誰にだい」

「その浪花節語りに、亭主にだよ」

と何時か二人と歩みを合せて歩き出すのを、飲み正はからかひ半分に、ク、、……と持ち前の笑ひを漏らして、

「あんた見たいなよい女が、何うしてまた男においてけ放りにされたものかね」

「別に女が出來た樣にもないが……時々町の白首のとこい通つてゐたから、二人がしめし合はせて逃げてしまつたのかしれない」

とがつかりして急に疲れが出た樣子だつた。春木は同情しない譯には行かなかつた。

第六回 滿日特選碁戰

先番 鈴木秀子三段
互先 飯田春治三段

【10】

●一八一ツ五　○一八二ツ四
●一八三ツ六　○一八四ツ二
●一八五ツ十七　○一八六ツ八
●一八七ワ十四　○一八八チ十四
●一八九ル六　○一九〇ソ七
●一九一レ六　○一九二ヌ六
●一九三タ一　○一九四レ一
●一九五ヨ一　○一九六ツ十五
●一九七タ十四　○一九八ソ十四
●一九九ツ七　○二〇〇ソ八

對局者の感想

黒曰く　一九三（タの一）及び一九五（ヨの一）のハネつぎは大きいやうでした

柳壇

髪　高橋月南選

断髪が大股で出るビルディング　大連　北光
塗りあきて着あきて髪を縮らかし　大連　古垣　玉江
ロール卷帽子に少し大き過ぎ　大連　遠江　瀘江
辨髪を時代遲れのやうに垂れ　大連　遠江　瀘江
丸めたる尼僧昔を忍び泣き　旅順　生野　扇風
髪をつむバリカンの音眠くなり　旅順　生野　扇風
床屋から出る香水の匂ふ風　大連　廣島　孤松
はにかみへ断髪少し物足らず　鞍山　沼田　大耕
美容院土用波ほど鏝をかけ　奉天　笠原　青蛙
髪結へ一日分を棒に振り
タイピスト正月だけを日本髪　大連　鈴木　斗南
番臺へ少しはずんで髪洗ひ
刈つた夜は兎角下宿に居つかれず　小倉　中村士太郎
染めたれど皺をもかくす術もがな
尖端は變形髪を武器となし　旅順　田中　泥波
ちよい惚れの髪の女は夜叉であり
髪切つて尖端をモガの肩の風　大連　三井三子男
寢くたれの髪恥しく明ける朝
髪の毛がせめて勇姿の形見なり
断髪が下駄で來る海水場　旅順　久保田三坊
斬髪屋お客はみんな娘なり　山海關　吉田　甲子
藪入りの息子髪だけ一人前
高島田結ふてちつと肩がこり　大連　小田　壽
断髪へ今日も相手が又變り
お岩かと思へば洗髪樹下に立ち　普蘭店　上地　せつ
丸髷もお下げも集まる同窓會
床上げに三月振りの髪を結ひ　大連　淺田　輝坊
戰場で遺族に送る髪を摘み
断髪の口癖にでる經濟論　周水子　玉木　包山
親許へ歸るに髪の短か過ぎ
惜しそうに髪の切られる入營日
白髪を染めて五十路を若く生き　普蘭店　河本登志緒
理髪師は玩具のやうにびん廻し　大連　田中　黒衣
愛嬌になつて長髪かきむしり　旅順　亞鳳
断髪の亭主をつれてピクニック
髪のくせうまくウエーブに應用し
断髪が伸びて日取が決定し　大連　高橋　竹雪
一本の白髪へ已れの秋を知る
支那老婆狂氣のやうな髪飾り　普蘭店　矢野　公彦
桃割を結はせて母は滿足し
ひよつこりと丸刈にして笑はせる　大連　中薗　最治
調髪へ夫婦で來る新時代
顔髪にかくせぬ年の色があり　奉天　家本北星子
共稼ぎ合せ鏡にある亭主
日記帳今日だけ書けぬ初島田
國からの慰問三筋の髪があり　周水子　内田まなぶ
断髪がもとで縁談こさわられ
出勤に遲れて断髪戀しがり　普蘭店　坂井いさを
初島田褒めらるゝ度赤くなり
出征の夫に捧げる黒い髪　奉天　高見不二夫

滿日柳壇課題

▽題 「一周年」「晴號」「銀高」
▽締 九月十日限（各題別紙の事）
▽句 各題五句住所氏名明記のこと
▽賞 佳吟に薄賞を呈す
▽宛 大連市能登町十高橋月南

けふの放送

大連 JQAK

八月三十一日

▲午前六時　ラヂオ體操
▲午後七時三十分　ニュース
▲講話「開通したる旅大裏道路に就て」關東廳技師中村貞輔
▲マンドリン獨奏「二長調司伴樂」（ザイツ）伊藤十五郎
▲謠曲（梅若流）「江口」渡邊三策
▲長唄「蓬萊」唄杵屋正春、三味線常盤津一龍
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK

八月三十一日午後六時三十分（大衆演藝の夕）
▲萬歳（大阪より）「藤兵衛嚙し」蝶家蝶丸、同富士、囃子連中▲浪花節（大阪より）「義士銘々傳中山安兵衛婿入り」雲井式部▲放送劇「隣り合せ」楠本朴念人作（場景）裏長屋の黄昏、翌日の或る街の午後、チンドン屋田部栗助（曾我酒家五郎）其弟子（時右衛門）同（蝶々）同（清蝶）栗助女房おさと（大磯）吉松（蝶太郎）重吉（時松）役所の小使河村武助（蝶六）其の伜新助（林蝶）栗助姉藝清香（秀蝶）紳商石川清造（一郎）救世軍大尉濱田（五六）酒屋山サ番頭平助（五樂）其の他、鳴物曾我酒家音調部、放送指揮曾我酒五郎

駐滿軍隊慰問金（二）

七十三圓五十錢正隆銀行本店有志二十圓大谷清二、十一圓六十七錢大連地方法院有志、十圓鈴木兼重、五圓梅野幾太郎、同副島善五郎、二圓五十錢中村ナツ子、二圓建石仍平
計百二十九圓六十錢
累計九百七十七圓六十錢（八月二十四日迄）

北滿地方水災救恤金（二）

二百四十圓三井物産大連支店員一同、五十六圓大連彌生高女職員生徒一同、五十三圓二十錢金光教健見團、三十圓大連取引所信託會社員會一同、二十圓大谷清一、十圓溝上洪盛棠藥舗、二圓五十錢中村ナツ、二圓中堂トメ、同大賀フユ
計金四百十五圓七十錢
累計二千五百六十四圓五十錢（八月二十五日迄）

滿洲日報
八月三十日發行

政府、政友正面衝突

閣内の意見纏まらず 政友との妥協不可能

成行如何で政局重大化

【東京二十九日發】政府は政友會の率勢米價削除に對し、後藤農相頑強に反對し、負債整理組合中央金庫法案には高橋藏相頑強に反對し居るため閣内の意見を纏めるに至らず遂に政友との妥協不可能となり政友の主張通り衆議院を通過した場合、後藤農相に反對を言明せしめ、貴族院の決定に委す事となつた結果、貴族院も通過すれば後藤農相の責任問題を惹起する事となるが、貴族院が政府案を支持すれば茲に兩院協議會となり右協議會で政府側に有利に決定されたとしても、右決定案を更に兩院本會議に上程採決するものでこの場合政友會が如何にするか、若し政友會が否決すれば政局は重大化する事となるがこの點未だ政友の態度は決してないが、問題はこの場合高橋、三土、鳩山三相が黨議に服すべきか、閣議に服すべきかの問題を惹起するのでこの點も注目される

政友、強硬方針に邁進

政府側は背水の陣を布く

【東京二十九日發】政府が政友會との妥協餘地なしと觀て會期三日間延長を決したので、政友會も亦獨自の方針により政府が反對すると否とに拘らず政府案の修正の要あるものは修正し、政友會提出二案を可決し貴族院通過に努力する事に決定した

【東京三十日發】政友會の豫算案並に重要法案に對する態度は既に廿九日朝の幹部會において決定せる通り豫算案は之を承認支持し、黨提出の負債整理組合中央金庫法案及び率勢米價廢止を根幹とする米穀法中改正法案は飽く迄之を固執する事として政府案との立法技術上の取扱ひを山崎政務調査會長並に東、大口兩特別委員長に一任したが、右三氏と黨首腦部との間に協議の結果

一、政友會提出の**負債整理組合中央金庫法案はその儘通過せしむる**

一、**政府提案の負債整理組合法案は多少の修正**を加へて通過せしむる

一、**政府提案の米穀應急施設法案は否決する**

一、政府提案の米穀需給調節特別會計法中改正法案は米の買上金額七千萬圓を増額して二億圓に修正して通過せしむる

一、政友會提出の**米穀法中改正法案**（卽ち率勢米價廢止を根本とする案）**は飽く迄之が通過を圖る**

といふに決定し、既定の強硬方針を以て一路邁進し、政府の如何なる妥協をも之を排撃することに態度を決定した、而して**政府も最早や政友會に妥協の餘地なしと見て背水の陣を布き貴族院において之を否決し去らんとの方途を立て**關係筋を遊説して種々之が畫策を講じてゐる模樣であるが、政友會はこの裏を掻き先づ自黨案のみを先に衆議院を通過せしめて貴族院の之に對する態度を見る迄衆議院において之を押へて政府案も共に葬らんとするの

本庄凱旋將軍

けふ各方面に挨拶

昨秋事變以來の後援に對して

大廣場ヤマトホテルに大連の一夜を明かした凱旋將軍本庄軍事參議官は三十日午前十時二十分幕僚を伴つて

滿鐵本社を訪問、八田副總裁の案内で總裁應接室に入り、副總裁はじめ山西、竹中兩理事、山崎、武部、市川、富永、狩田各次長より交々凱旋の祝辭を受け、「有難う」と一々鄭重に答禮、三分後辭去、それより

大連神社に動り石本、織田、松田諸氏ら總代參列し更に忠靈塔に參拜、同時四十分神前に玉串を捧げ健康を祝し合ひ、將軍は滿鐵社員の方々には事變以來一方ならぬ御世話になりましたと感謝の辭を述べ、約十分にして社員多數の見送りを受け、次いで市役所に小川市長を訪問し在任中は公私とも多大の御同情と御後援を得、感謝に堪へぬ、また事變に際しては軍隊慰問その他に種々御盡力下された大連市民に厚く御禮を申上ぐと誠意を表し惜別の辭を述べ約十分……

滿鐵首腦部招待

滿鐵首腦部では三十日正午司令官を星の家に招待午餐會に臨んだ……

滿鐵社員に對し感謝狀を贈る

本庄前軍司令官から

あす旅順へ

けふの本庄將軍

凱旋狀況放送

調査報告書の結論取止主張

佛委員クローデル氏

技術局會議

貴院の諒解に努力

會期の再延長は不可能

飽迄所信を枉げず

後藤農相決意

衆院本會議直に休憩

議員數少なく

政府は前途を樂觀す

内閣の運命に關せずとて

林總裁歸任期

吉林總務廳長三浦氏來連

伍堂滿鐵理事

品川氏赴任

ばいかる丸船客

人事

各方面の協力を心から感謝

けふ離滿に際して

山岡前關東長官談

滿家の戰慄

直木三十五作　淺枝次朗畫

夢うつゝに飛び起き匪賊に戰く童心
聽け！安奉線中間驛の辛苦
二十九日安東にて　能勢特派員發

國際鐵道たる安奉線を死守する滿鐵從業員を慰問する十河理事、郡社員會幹事長、堀同相談部長の一行は二十九日午後益々感激の度を高めつゝ安東に向ふ、本溪湖安東間の二十驛中九驛は總て驛そのものゝ襲撃されると云ふ最後的洗禮を受け今なほ所々に殘つてゐる彈痕は當時を物語つてゐる、枕木や土砂で築造した防塞や鐵條網を背にして驚外した從業員とその家族は勿論皇軍や警官の代表も一行より懇ろなる慰問と慰問品を受け何れも涙ぐましい面持に或は頸垂れて或は決意の瞳を輝かす、命が的に鐵道を守ると云ふことは理窟や金では出來ない、止むに止まれぬ高調しきつた崇高な犠牲的獻身的なものによつてのみ遂行されることを一行は眼のあたり感ぜしめられて思はず頭を下げる、そしてどの驛長も申し合せた樣に一渡り驛情の經過を報告した後

我々は死すとも自分の鐵道と任務を守ります、非常に緊張してゐる故か案外病人も出ません、また保線狀態も二倍の勞力を要しこそすれ事變前より惡くなつてゐません、御心配下さるな、御安心下さい

と云ふ意味のことを述べる、それは理性と意氣の交錯した觸もしくも悲壯な言葉ではないか、居並ぶ社員夫人達は犒はれて

會社ばかりでなく御國のために盡さなければならぬ當然の勤務だと云ふことを主人から聞かされてゐますのでさう苦にもなりません

或は

書稽古してゐる關係からこの兒が夜中にすわ馬賊だと突然飛び起きて床の下に潜り込まうとすることがあります

と云ふ樣な純情滿ちた話も出る、併し何分短い時間內で而も夫人達に對する慰問は最後に行はれるので慰問使等もこれ等の言葉に對して挨拶する違なく只お辭儀を以て千言萬句に代へて進行を始めた列車を追ひかけて飛び乘ると云ふ有樣だ、かくて言葉に盡せぬ慰問の涙を殘し何とも形容し切れぬ交々の感慨を胸に秘めて一行は安東に着いたが、驛舍に參入した從業員一同に對し十河理事並に郡幹事長より一場の懇切なる慰問の挨拶をなした後一行は安奉線慰問を終へて同夜安東に泊つた【安東電話】

昨夜姚千戸屯驛と歪頭山驛襲撃
救援に臨時列車運轉

二十九日午後十一時頃殆ど時を同じうして安奉線姚千戸屯驛には三百名歪頭山驛には十數名の匪賊が包圍襲撃して來たので同地駐在我警官は蘇家屯署より來たれる應援隊と協力して猛烈な交戰の後これを撃退した、在住民は多大の恐怖にかられ安全地帶に避難するものあり引續き大警戒中である【奉天電話】

廿九日午後十時ごろ歪頭山驛を十五、六名の匪賊が襲撃し、なほ後方に大部隊が控へる形勢があつたゝめ守備兵○名警官十六名、驛員六名應戰これを撃退した、然るに賊は直に逆襲し、更に午後十一時四十分ごろ約二百名の匪賊が三方から姚千戸屯驛舍を攻撃、わが守備兵、警官、驛員と交戰、この報に奉天及び本溪湖から三臨時列車で應援隊が出動したが賊團は何れも臨時列車の到着前午前一時十分に逃走した

滿鐵に入つた情報によれば廿九日安奉線姚千戸屯附近に大部隊の匪賊が現はれ驛舍襲撃、橋梁破壞を敢行するとの報が傳はつてゐたが出發午前十時十五分頃吳家屯、陳相屯間にさしかゝるや三十名の匪賊が線路の西側より襲撃したので公安隊員一名頭部に重傷を負ふた外窓硝子三枚破壞された【奉天電話】

大阪各學校を代表して慰問

大阪梅花女子專門學校長伊庭菊次郎氏は大阪の中等學校以上の私立學校聯盟代表として北滿に活躍する軍隊の慰問を兼ね在滿諸學校と內地學校との教育の連絡を圖るため三十日午前入港うすりい丸にて來滿したが大連には約一週間滯在女學校等で講演も行ふ筈であるが約一ケ月に亙り滿蒙各地を訪問する豫定であると

今曉、千山驛も砲撃を受く
鞍山署から救援撃退

千山西方にあつた約二百の賊は更に賊二百五十を増し附近部落賊と合流匪賊約一千名は一擧に千山を占領し鐵路を破壞する計畫を樹てつゝあるとの情報が頻々として千山派出所に入るので千山附屬地は異常に緊張し自衞團を招集して嚴戒中三十日午前零時十五分支那町守備隊兵舍の二方面より突如砲撃を受けたので大部隊の襲撃と鞍山警察署に急報救援を求めた、本署では非常招集を行ひ山本、土田兩警部補約二十名の警官を率ゐ臨時列車にて出動二百米の地點より猛射を浴びせ難なく撃退した、賊數は判明せぬも賊の尖兵が鐵道東に移動せんとして襲撃を行つたものではないかと觀測されてゐる守備隊からも數名出動警戒した【鞍山電話】

線路作業中襲撃さる
警戒員が應戰

廿九日午後零時二十分大石橋分水間二四五キロ附近において滿鐵保線員が作業中約三十名の匪賊が襲撃して來たが警戒員應戰これを撃退した

混合列車射撃

奉天公安隊員八十名その他我警官隊の乘車せる二百三號混合列車が二十九日午前九時安奉線本溪湖を

東支各線と呼海線復舊進む
長春哈市間の直通列車は四、五日中に運轉

滿鐵々道部に入つた東支鐵道、呼海線の水害狀況は左の如くで漸次復舊完成を見つゝある

東部線　哈市、一面坡間は去る二十七日から列車の運轉を開始、一面坡以東橫道河子間は目下修理中にて復舊には約十日を要する見込

西部線　廟臺子の破壞點は二十八日東支鐵道副局長の言によれば三十一日までに復舊の見込

南部線　蔡家溝、双城堡間不通箇所を木材積無側車一輛を以て不通後第一回の試運轉を行つたところサンドルを組んだ箇所の路盤途に崩壞した、更にサンドルを組むためには二、三日を要するに就き長春ハルピン間直通列車の運轉はなほ四、五日を要するものと見られてゐる

呼海線　張維屯、克音河間の一六九粁の木橋は廿八日夜來の降雨のため破壞せられ列車不通となり復舊は廿九日夕刻迄に完成の見込

愛犬のお手柄で持兇器犯人逮捕
逃走したのを追跡し

卅日午前一時過ぎ市內聖德街三丁目聖德太子堂附近を大連方面より歸途の二人連れ擧動不審者を同所警戒中の沙河口署中屋刑事が誰何したところ件の怪漢は西方に向け逃走したのを中屋刑事は携行中の愛犬シエパートを放つて追跡せしめ兩名が市內福星街某所に潜伏してゐるのを難なく逮捕し本署に連行したが

この兩名は市內元町八四棟內太郎こと有平樂（二七）及び瓦房店生れ宮萬山（二二）で去る十五日ごろ深夜星ヶ浦公園內某別莊に侵入し寫眞器一臺及び現金五十圓を竊取した外同地方面の文化住宅を荒し廻つた棒泥坊で現に餘罪四十數件を自白して居るがこの兩名は何れも前科二犯三犯を有し常に懷中には拳銃短刀を所持し同夜逮捕の際も危く犠牲者を出すところを中屋刑事愛犬シエパードの活躍で未然に捕縛することが出來たものである

恒吉大佐が凱旋
藤原少佐も同船歸國

關東軍高級副官として滿洲事變に活躍した恒吉秀雄步兵大佐は今回陸軍士官學校學生部長に榮轉し三十日午前十時出帆香港丸にて家族同伴凱旋の途についた

在滿期間三年前秦軍司令官と共に來滿したが最後の一年は生れて始めての忙はしい日を送つたが、今回の事變に際して同胞の示された一致團結の愛國心には直接戰鬪に參加せる我々は何れだけ勇氣づけられたか知れない、在滿邦人は勿論內地の國民はおろか在外邦人より寄せられた慰問、激勵の熱援には感激おく能はざるものがあつた、幸ひ大過なく任務をはたし得たのもこれ亦全國民の熱烈なる御後援に依るもので深く感謝してゐる、事變中の多忙も何等苦しみもなく月日を忘れて奮鬪し得た事は同胞の示されたこの熱誠なる愛國心の結果である、滿洲を去るに臨み貴紙を通じ在滿諸氏によろしく御傳へ願ひたい

また在滿二年半滿鐵囑託將校として事變に際しては殊に盡力した藤原幹治工兵少佐は今回千葉鐵道第二聯隊に榮轉し香港丸にて家族同伴赴任の途についたが同少佐は軍事鐵道の事務多忙に日を送るうち昨年六月誕生の双生嗣子忠、孝兩君が腸炎にて四ケ月餘も入院生死の境界をさまよつてゐたるも家庭を顧る暇もなく邦家のため活躍された氏の責任感の强さは當識すると共に武人の典型として敬仰されてゐる【寫眞は右恒吉大佐と藤原少佐】

大大連實現の諒解を得た
具體的な研究はこれから
小川市長の土產話

大々連の實現と財源問題を攜へて上京拓務省を始め軍部その他內閣要路に陳情諒解に努めてゐた大連市長小川順之助氏は大內市會議長より一足おくれて三十日午前入港うすりい丸にて歸連したが船中サロンにて語る

今度は別に案を作つてもつて行つたのではないが、所轄要路を歷訪し親しく大連の現狀を述べ市民の聲をそのまゝ卒直に傳へて大大連市の實現並びに財源問題の解決に對して陳情諒解を求めて來たが大體に於いて要路の人々も充分その事情を諒解されたし考慮を願ふ事になつた、然し市政の擴充並びに財源問題を今後何うするかと云ふ事はこれから研究し具體案を作る事となるが兎も角市政を市役所と民政署と二つが別々に行つてゐる現在の繁雜と不便さを一日も早く一掃し市としての全機能を發揮し市の發展並に施設の擴充を期する必要は充分認められてゐる筈である、關東廳官制の變更を期に法制、財政、實際の各方面から大連市政の變革をなし大連市の發展を容易ならしめんとするのが今度の上京の用件でその後の具體的問題はこれから拓務省その他要路と打合せ充分研究しよう、明年開催する博覽會についても各方面に於いて熱烈な後援を約されたので充實した立派なものが出來ると確信してゐる

石川大尉凱旋

昂々溪戰鬪の功勞第一人者の稱ある石川勝藏砲兵大尉はその後チチハルにあつたが今回原隊に凱旋することゝなり三十日出帆香港丸で離滿した

童子團講習會

文教部主催の滿洲國童子團指導者講習會は九月五日より九日間新京において開催の筈であつたが講師の都合により九月十日より十四日まで五日間開催し豫定を變更、講師は少年團日本聯盟理事長二荒芳德伯、同理事三島通陽子、同主事芦谷泰造氏、同指導員戸田和夫氏等でこの機會に新京及奉天における童子團の結團式を行ふことになつてゐる【新京電話】

本庄將軍に慰められて石本老が感激の淚
けさ大連神社々頭で

卅日午前十一時滿鐵の正式訪問を終へて直に大連神社に參拜した本庄前司令官は氏子を代表して迎へた石本鏆太郎氏の姿をみるや「どうも御令弟はお氣の毒なことです」と熱河義勇軍に拉致された石本權四郎氏について同情にみちた眼差で懇ろに慰めの言葉を送り「有難うございます、色々閣下には一方ならぬ御配慮に預りました、實は私もそれで奉天から歸つたばかりです」とお禮を云へば「いや、救出が遲延してさぞ御心配でせう、軍としても出來るだけの手を盡してゐます、どうかあせらずにゐて下さい」と力强く自信づけて種々と救出に關する經緯を物語るのであつた、全滿の舊軍閥を蹴散らした武勇かくかくたる本庄將軍の慈父に似たるやさしい言葉に、石本氏は老の眼に泪を露と光らせて感激と感謝の無言のまゝたゞ佇立するのみであつた【寫眞は慰める本庄前司令官】

拓務省から調査班
けふ三名來る

拓務省では滿洲の產業調査のため一見鹿造、田村一郎、加藤久男の三氏を滿洲に派遣する事となつたが三十日入港うすりい丸にて來滿した一行の行動は上陸の上滿鐵、關東廳、新國家等の間に協議の上決定されるものであるが、拓務省の調査班としては最初の滿洲入りで一行の行動は頗る重要性を帶びてゐると

秋季競馬　第三日午前

秋季星ヶ浦競馬第三日目は三十日午前十時より開始されたが午前中は山岡前關東長官見送りのため來連した林警務局長、森本警務課長の一行が歸旅の途中來場して一レースを見物歸旅した、午前中の成績は左の通り

▲第一競馬（新古呼四頭）千八百米　第一着石河（奧田騎手）二分廿二秒四、第二着別嬪、第三着三共　配當（單）十圓三十錢（附加券）一等五十二圓三十錢、二等十七圓四十錢、三等八圓七十錢、以下八圓七十錢

▲第二競馬（新抽七頭）千八百米　第一着豐龍（內村騎手）二分四十五秒四、第二着明司（頭）第三着白龍（二馬身半）配當（單）十圓二十錢（複）一着七圓十錢、二着十圓五十錢（附加券）一等百二圓七十錢、二等三十四圓二十錢、三等十七圓十錢、以下四圓二十錢

▲第三競馬（各抽六頭）千六百米　第一着豐（內田騎手）二分九秒四、第二着日之丸（四馬身）第三着天龍（一馬身半）配當（單）十八圓五十錢（複）一着七圓、二着五圓十錢（附加券）一等百三十二圓九十錢、二等四十四圓三十錢、三等二十二圓十錢、以下七圓三十錢

▲第四競馬（新古呼六頭）千八百米　第一着三鳳（小川騎手）二分二十二秒四、第二着旭昇（一馬身）第三着乃公（大差）配當（單）五圓七十錢（複）一着五圓三十錢、二着六圓七十錢（附加券）一等百五十九圓八十錢、二等五十三圓二十錢、三等廿六圓六十錢、以下八圓八十錢

滿洲國を占つた
小玉呑象氏けふ來滿

今次北滿事變に先だち事變の勃發と滿洲國の成立を豫言した易學者小玉呑象氏は三十日午前七時入港うすりい丸にて八ケ月振りに來連したが氏は語る

私は故小村壽太郎侯と同郷の日向であるが故小村侯存命中より滿洲の將來に注目せよと訓へられ爾來滿洲には深く關心をもち支那要人には多くの知己があるが今度も私の豫言せる通り新國家の成立を見たので御祝ひ旁々敬意を表しに來た、滿洲の將來は輝かしいが產れた許りの子供である、卌はこれを育てる義務がある、滿洲の將來は農を先づ主とし、交通の發達につれて商業も盛になるのは當然だがその間には紆餘曲折は覺悟せねばならぬ然しそれ等の困難は卽ち喜びに變る、聯盟總會も心配する事はない、好きな女と酒を呑んでゐても仲々好きな女には直接話が出來ぬものだ、然し結局はそれと同じで各國も日本と支那とは何れが大事か好きかは知つてゐる、だが今は日米間の問題を云々されるがこれも心配した事はない、滿洲國承認を懸念する必要は更らにない【寫眞は呑象氏】

帝大教授來る

東京帝大法學部教授矢內原忠雄氏及び同大學農學部野宮定茂、同講師園部一郎兩氏等は滿蒙各地を約一ケ月の豫定で視察すべく三十日午前七時入港うすりい丸にて來連したが九州帝大農學部教授丹下正治氏も新國家の畜產方面に關する研究調査のため同船にて來滿した

西教授講演に

東京帝大工學部教授西健氏は旅順工科大學の招聘に應じ來る五日より九日迄同大學に於いて電氣に關する講演を行ふため三十日朝入港うすりい丸にて來連したが講演後奧地の視察をなす筈である

本庄少將來滿

豫備役陸軍少將本庄庸三氏は三十日午前入港うすりい丸にて來連したが氏は新滿蒙の各地を視察し新舊の史蹟を巡る筈である

安東大將逝去

【東京廿九日發】元臺灣總督陸軍大將安東貞美男は二十九日午後零時四十五分逝去した享年八十、長逝に際し左の御沙汰あつた

陸軍大將從二位勳一等　男爵　安東貞美

授旭日桐花大綬章

高橋源市判決

元關東州辯護士會所屬辯護士高橋源市にかゝる公正證書不實記載行使橫領の所謂金州土地不正事件は廿九日長島裁判長より懲役一年六月の判決があつた、なほ淸水勤外三名は執行猶豫の恩典があつた

少年行方不明

ハルピン埠頭區買賣街十九號山崎辰之助の二男良次（一七）は家族と共に來連中二十九日午後六時ごろ買物に出たまゝ歸宅せず誘拐されたのではないかと卅日大連署へ搜査を願出た

大連郵便局改稱

大連郵便局の電信課は九月一日から郵便局より分離獨立して大連中央電信局となり、郵便局は大連中央郵便局と改稱される事になつた

大連道場稽古時間

滿鐵大連道場では九月一日より退社時間午後四時となるので二日より稽古開始時間を午後四時三十分に變更する

家出人搜査

市內山城町四番地山城寮保線區員高澤準一（二四）は二十九日午前九時ごろ突如行方を晦まし自殺のおそれあるので親族大連保線區長は三十日大連署へ搜査を願出た

酌婦搜査願

市內逢坂町遊廓第四豐榮樓抱酌婦福男こと丸山さよ（一九）は廿九日午前五時行方不明となり樓主は卌日大連署へ

天氣予報

三十一日　北西の風　曇一時晴

滿潮（午前十時十分　午後十時十五分）

干潮（午前三時十五分　午後四時三十分）

各地氣温

	三十日午前十一時	昨日の最高
大連	二一・八	二四・三
旅順	二二・七	二四・九
營口	二一・九	二五・八
奉天	二一・七	二五・七
長春	二〇・三	二六・七

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一二〇圓八五錢

食客中に盜む

市內浪速町待合新富の元帳場會我正巳（二〇）は同町秋山末藏方に食客中十六日午後七時ごろ秋山氏の現金百圓を竊取し長春に高飛びしたのを手配により二十五日逮捕され卌日大連署へ身柄を押送されて來た

金州りんごデー
戰蹟見學の好機會

秋の訪れを迎へる最初の催しとして來る九月四日（日曜）を期し金州苹果デーを擧行することは既報の通りであるが金州側でもこの催しに双手を擧げ全市民こぞつて盛んに歡迎する。秋の一日を利用し思ひ出深い金州附近の戰跡を探り殉國の將士の英靈を慰むるのも有意義であり或は州內唯一の舊都に滿洲氣分を味はひ響水寺の勝景に接し秘秋の一日を行樂せんとする人に絶好の機會で奮つて參加せられたい

ゆき　九月四日大連驛發午前六時五十分、沙河口驛發午前六時五十九分

かへり　金州驛發同日午後四時一分、大連着四時五十分

會費　一般金七十錢（小兒半額）鐵道無賃乘車證所持者金二十錢（小兒半額）

金州コース　午前七時四十七分着それより一行は南山に集合、南山激戰講話あり午前九時半より午後三時半金州驛集合まで自由行動

特典　參加者に洩れ無く幸運券を發行（一等より五十等まで）響水寺、福昌農園、南山園、金州園、原田農園の各所に無料休憩所を設け苹果及び湯茶の接待を行ひ土產用としては特別値段で提供

會券取扱所　滿電バス待合所、常盤橋電車待合所、滿日本社（沙河口方面）同榮新聞店、前田新聞店、滿鐵社員は（鐵道部營業課宣傳係）

附記　南山—響水寺—金州驛までの滿電バス乘車券も特に會券と共に取扱ひます

主催　滿洲日報社

骨董屋 CURIOUS SHOP

國難日本刀（79）

高桑義生作　京極佳夕畫

犠牲者（三）

「なるほど、こりやあ……」

思ひきつて念入りさいふ注文通り、源次は子分にいひつけたのだが、斯うして持つて來たのを見ると、場所がら、顔をしかめずにはゐられない物だつた。

「剝がして來たのか？」

「へえ、格好な物がございませんので……」

「結構ですさも。せいぐ〈似合ふに違ひありません。どうもお世話さまでした」

とお千はその勞をねぎらつた。

「冗談ぢやないぞ」

伊三次はブツく呟いた。芝居の着附ぐらゐに思つたのが、本物の、剝がして來たと聞いて、着ない先から、襟元がぞくぞくする。

「着替へは、物置を拜借させて頂きます」

「どうぞ……」

「あなたは男ですから、御免を蒙つて、お庭先で――では早速」

「おいく、ひどい目に合はせるぢやないか。何ぼ何でももう少しどうにかしたのを……」

「お瓶に、ぜいたくはございませんよ」

「だつて、あんな物、くさくッて……」

「でなけりや、本物にはなれませんよ」

「ひどいなあ」

伊三次はうらめしさうな顔。

源次は笑ひたいやうな、氣の毒さうな表情で、だまつて二人の問答を聞いてゐる。

「では親方、男物はこゝへ、女物は物置の方へ持つて参りますか」

と子分がきく。

「さうしてくんねえ」

「さあ、あなた……」

とお千が促す。

「あゝ、飛んでもねえ事になつたなあ」

「どうも……」

と源次も、いふべき言葉を知らない、かれは二人が縁側を下りるのを見送つて、遠慮した。

落日のあさの、薄明りの漂ふ庭である。

伊三次は、地上に崩れてゐる、なまくしい乞食のぬけがらを、見詰めて、腕をくんだ。

「思ひ切つて、さつさとお召し遊ばせ」

「こりやあ清水の舞臺から飛び下りるより、大仕事だ。仕方がない觀念して、お召し遊ばさうか。やれく、人間もかうなつちやあおしまひだな」

汚らしさうに、今着ようとする物をつまんで、ふるつたものだ。

お千は笑ひを押し殺して、物置へ。

伊三次はぐづくと着替をはじめたが、ようやく帶がはりの繩きれを締めにかゝるさ

「まあ、立派に出來ましたこと」

「立派はなからう」

伊三次は振返つて

「ヤッ、すごい……」

絹ずみか何か塗りこくつたものと見えて、すゞしい眼だけを殘したお千の顔――が、伊三次の驚きは、あの不思議なあざが、かの女の左の頬に、ありくと描かれてゐる事だつた。

するさ、お千は眼を伏せた。それの様子が、今までとは打つて變つたものになる。

伊三次は口をつぐんだ。

（あのあざは描いたものか、それとも……）

やがて

蝙蝠のかすめる夕闇にまぎれて、磯くさい碇屋の裏戸を出た二人。

町から濱へ――。

伊三次は刀を仕込んだ杖をついた。

東へ、浪打ちぎはのいつぽん道を歩いて行くと、背闇をやぶつて二人の行手に、五七人ばらばらッと立ちふさがつた。

キネマ演藝

戰争と與太者

松井蒲田作品　中央映畫館上映

「令嬢と與太者」「禍戀と與太者」につぐ野村浩將監督の與太物映畫だ、主演は相變らず例の磯野秋雄、三井秀男それに慌て者の安部正三郎、これを繞川京子、大山健二、坂本武等蒲田の中堅俳優が助演してゐる、撮影は高橋與吉、ギヤグマンは伏見晁である

磯太郎（磯野秋雄）源吉（三井秀男）庄兵衛（阿部正三郎）の三人の村のモボが青訓をさぼつてゐたため親父から勘當されて東京に出る、上野で西郷さんの銅像に感激したのはよかつたが支那そばの喰ひ逃げをして貨物船に逃げ込む、船は出て行き海賊に襲はれ三人は支那の大將黄（大山健二）の兵隊に買はれるが、日本軍さの衝突に於てしばく支那軍を惱まし、終に日本の女軍事探偵和子（絹川京子）を救ひ出し三勇士の名を擧げて故郷に錦をかざる

三つの與太者映畫の内でこの「與太者と戰争」が一番傑作だ、物語りは簡單であるが、數多い此種戰争映畫で之程面白く出來てゐるものはなかつたやうだ、傘を背負つた支那軍隊、大將が手ばなをかみ、總攻撃費の苦勞、賞金政策等々、野村監督支那軍閥の風習をながくよく現はしてゐる、一寸「彌次喜太戰爭の卷」を彷彿させる

最後の看護婦になつた女探偵と磯太郎の別れを惜む所は前のテンポの早さに比べて少しクド過ぎる

主演者三人の芝居だが、矢張り阿部正三郎が一番人氣をさらうであろう、大山健二の支那の大將はお愛嬌だ、絹川京子は云ふ程の仕事をしてゐない、伏見晁のギヤグは適度に加へられて面白い、高橋與吉のキヤメラも無難、總體にそつのない映畫で、たゞ見て面白く、惜みなく笑へる映畫である

協和會館映畫『笑ふ父』封切

大連滿鐵協和會館では明三十一日午後七時から協和會館で映畫會を主催し宮川美子特別出演の發聲映畫「笑ふ父」及び阪妻映畫「片腕仁義」を上映、會費大人三十錢小人二十錢會員外五十錢である

清元喜三太夫喜榮會演奏會

目下滯連中の清元喜三太夫は今回大連檢番を中心として清元喜榮會を設け毎年二回來連稽古することゝなり第一回演奏會を明三十一日午後六時三十分から大連ヤマトホテルにて開催、會費一圓で當夜の番組は左の如くである

一、「貸浴衣汗雷」唄妻吉、松右衛門、字女子、三味線小ゑん、八千代
二、「深山櫻兼樹振」唄蔦葉、蔦龍、蔦駒、蔦奴、三味線喜久勇十郎、小奴、蔦子
三、「助六曲輪菊」唄千惠子、八千代、三味線喜三太夫、つま
四、「彌生の花淺草祭」唄一葉、一喜代、三味線照子、兼子
五、「夫婦酒替奴仲中」唄つま、小ゑん、三味線松司、喜久勇
六、「文屋の康秀」唄清元喜三太夫、三味線清香、さめ

噂話

明夜の清元喜榮會の第一回演奏會で喜三太夫が蒲田で手藝にかけた蔦葉蔦龍蔦駒蔦奴が揃つてデビユウする▲九月の中央映畫館のプロは斷然物凄く他館をグロッキーにして見せると意氣込んでゐる▲即ち第一週が「太陽は東より」第二週「嵐の中の處女」第三週「纏の騎手」第四週「戀愛案内」と特作品がつゞく

對滿蒙貿易振興に輸出組合設立

きのふ東京で準備會

近く商工當局へ設立を申請

【東京二十九日發】對滿輸出貿易振興を圖るため共同施設をなす目的で東京對滿蒙輸出組合の設立計畫が東園子爵らの肝煎りで大體の準備出來廿九日午後五時から日本クラブで設立準備會を開催する運びとなつた、出席者は三井物産、三菱商事、大倉商事、淺野セメント、安田保善社、大日本ビール、森永製菓、日本電氣、古河電氣、富士瓦斯等を始め滿鐵、中央滿蒙協會其他代表、官廳側から商工省の寺尾黑田兩氏、東京府から香坂氏等出席商議した結果近く商工當局へ東京對滿蒙輸出組合の設立を申請することになつた事業の主なるものは

一、組合員の取扱ひ商品の委託輸出及び輸出斡旋

二、組合員の取扱ひ商品の保管選別荷造包裝の檢査

等で組合員の出資額は一口五百圓引受は一口以上五十口以下である

低資の融通何んとかならう

東京での猛運動から歸つて

庵谷奉天商議會頭談

駐滿全權府の奉天設置に關し中央要路に猛運動のため七月二十一日奉天發上京中であつた庵谷奉天商議會頭は引續き滿洲商議聯合會代表として滿洲に低資二千萬圓融資に關し拓務、大藏、外務各首腦者を歴訪し目的貫徹に猛烈な諒解運動を續けつゝあつたが田村大連商議副會頭の上京と共に運動を引繼ぎ三十日入港のうすりい丸で歸連したが船中語る

◇

東京に去月の三十日に着いて今日迄例の駐滿全權府設置と低利資金の問題で關係各所に請願に力めてゐたものだ、低資問題では首相は勿論大藏、拓務その他軍部各方面と折衝してよく事情を話して了解を得べく奔走した、要するに請願の趣旨は全滿の郵貯の中約二千萬圓を還元これを低資として融通せんとするもので、既に預金部の金は低利として市營住宅、聖德街住宅、水産會等に約三百萬圓程出てゐるが殘餘の二千七百萬圓中二千萬圓を還元したいといふのでこれを去月五日の全滿商議聯合會で決議しこの請願の趣旨をのべて極力實現に努力したが大藏省としては二千七百萬圓の殘餘の部は鮮銀、東拓に對して出してゐるので結局民間に放出されてゐるも同然で今更還元といふ事は出來ぬといふ意見であつて、これには當方も失望したが實際において預金部としては全然知らないのである

◇

でこちらとしても出來るだけこちらの意見を述べておいたのでまだ打切られたわけでなく殊に拓務省側としては滿洲側の希望達成の意味で關東廳からの要望に對しては特に留意してゐてくれた、大藏省としては滿洲側のみの意見を採用するわけにいかない理由に全國的農村の疲弊、中小商工業者の資金難等でさくに臨時議會迄召集した際だから直ちにウンとは云へないのだ、自分の考へでは金額は減ると思ふが他の例にならつて何とかなるだらう、殊に大連の田村商議副會頭が引續き猛運動を起してゐるから何とか目算がつく、内地邊りの例では希望額の一割或ひは二割見當だ、しかし貰はぬより好いと思ふ

◇

それに惡い條件は滿洲は今軍隊が行つてゐるから金が澤山落ちてゐる筈だと云ふ觀念が根強く張られてゐる、從つてまだ内地よりましだと云ふ向が多い、その他自分は奉天市の將來について色々關係方面と打合せて來た奉天は御承知の如く政治機關が無くなるので工業都市として滿洲における日本の發展の根據地とせねばならぬのでその點の了解を得たのだ、今後の四頭政治の統一後は勿論新京が首都であるが行政機關は奉天においた方が好い、同時に滿鐵の如きも現業機關たる鐵道部地方部は奉天に移すべきだと力説しておいた

◇

さにかく時局後の滿洲で日本人が眞實に發展しようと云ふならその中心地は何と云つても奉天だ、いづれにしても卅一日關東廳に行つて低利資金の問題で是非西山財務部長に上京して頂くやうにお願する、その際はさく

商議を訪問

庵谷奉天商議會頭は上陸と共に先づ遼東ホテルに入り直に大連商議を訪ひ村井會頭と東京に於ける運動の經過並に政府筋の意向につき種々懇談を遂げ飽く迄所期の目的達成を期するため西山財務部長の奮起を促し上京政府側の諒解を深め側面運動を乞ふに決し三十一日午前村井庵谷兩會頭は關東廳に西山財務部長を訪ひ懇願する筈

に北滿の水災を考慮に入れて貰ふつもりだ、廳長官とは東京で御會ひして色々意見をお述べした

上陸と共に遼東ホテル投宿

街路照明の增設運動に着手

滿電の具體案成る

國際都市を誇る大連市も夜間の街路照明が十分でなく再三擴張されたが未だ徹底しないので滿電電燈課では今春來街路照明につき座談會の開催その他各種の資料蒐集具體案研究に大童の活動を續けつゝあつたが、この程漸く具體案成り重役の決濟を待つて近日中に愈々增設運動にとりかゝることゝなつた、今回は滿洲國の建國を記念する意味で先づ第一期工事として連鎖街常盤通、信濃町市場通、大山通を目標とし各町内會に運動を續ける模樣でその具體案は前回の御大典記念同樣に建設費は半額滿電で持ち殘半額を各町内會の負擔とし電燈料金も三割五分乃至三割引の特點を與へる筈で結局滿電より約一萬五六千圓の補助を爲すが建設費は御大典記念當時より五割安にて足りる模樣である

銀と爲替の狂躁曲を續つて(五)

すさまじく下つた爲替、上つた銀、その狂躁曲を續つて各方面への波紋は大きい、どうして?、今後は?、以下連載するものは關係方面のエキスパートに乞ふて成れる執筆又は口述の要領である

圓相場と大連銀市場

南郷龍音

●●●ペーパー圓の意義●●●(上)

昨年末本邦内閣は金の輸出を禁止し、次いで金貨と紙幣との兌換をも停止いたしました。これが爲め日本銀行券、朝鮮銀行券等は或意味の不換紙幣と化し、法律上に於ては五圓は金一匁に當ることになつて居ても、最近は金一匁を紙幣で買ふには十一圓も出さればならぬことになつたのです。それで現在の日本通貨を金と呼ぶのは正しくない。宜しくペーパー圓(紙幣圓)と呼ぶべきでありまして、寧ろ支那人間に用ひられて居る金票と云ふ用語が正しいのであります。學術語としては圓貨又は圓價と云ふ呼び方もあります。

●●●大連の銀相場は何故騰貴したか●●●

大連の銀相場は遂に百圓を突破しました、これは正金銀行の發行してゐる銀券卽ち鈔票百圓に對するペーパー圓の相場が百三圓百八圓にも當るといふことを意味します。去年の二月には金四十圓七十錢に迄慘落した大連の銀相場が何故斯く迄暴騰したかと謂ひますと夫れは全くペーパー圓の價値が下つたからであります。日本が今日依然金の解禁をいたして居りましたならば、大連の銀相場は四十六圓十錢(支米爲替三十弗四分ノ三滬申七十五兩、日米四十九弗八分ノ三として採算)見當でありまして銀は殆んど騰貴して居らぬのであります。眞正なる意味の銀相場とは銀塊對金塊の相場卽ち金銀比價を指すべきでありますす。今日金銀比價に準ずべき銀相場を求むるならば紐育銀塊相場と上海金相場位のものであります。從來上海の標金定期取引は圓の定期取引と全く同一でありましたが滿洲事變による日貨排斥の意味で昨年十月から定期取引の本質が米國の弗貨幣に變りました。最近大連の銀相場が狂騰を續けて居るに拘らず標金相場が比較的落着いて居るのはこれが爲めであります。然るに大連市場はペーパー圓を以て鈔票を賣買する市場でありますからペーパー圓の低落につれて鈔票は上騰するのであります以上の説明により最近銀は騰貴して居るのではなくて、圓が下落して居るのだと云ふことが判つたことゝ思ひます

●●●圓爲替慘落の理由●●●

日本の昨今は極めて多事でありまして内憂外患交々至ると云ふ狀態であります。日米爲替崩落の原因は昨年九月から十二月上旬に至る期間内に於ける本邦資本家の弗買圓賣に端を發し、金輸出禁止の實施を見るに及んで低落の一途を辿るに至つたのであります。今年の八月に這入つて圓の落勢を助長したものは現齋藤内閣が十九億圓と云ふ尨大な豫算を掲げたことが最大の原因をなして居る樣に思はれます。これを個人に譬へますと百四十圓の收入しかないものが百九十圓の生活をしようと云ふのでありまして收入不足額五十圓は借金で賄つて行こうと云ふのであります。然し乍ら日本の現狀ではこれは已むを得ないのでありまして軍費は要るし、他方窮迫せる農村をも救濟せねばならぬのであります。だから實收は十四億圓しかないが十九億圓の生活をせねばならず、不足五億圓は公債によるとして、日本銀行をして引受けしめ結局同公債が保障準備となつて紙幣が增發さるゝことゝなるのではないかと思はれます。尤も公債も市場に於て募集するとか、又は預金部をして引受けしめる場合には紙幣增發の直接原因とはなりません。日本銀行の正貨保有現在高は四億二千九百萬圓、紙幣發行高は九億七千萬圓となつて居ます。保證準備による發行限度は十億圓でありますから、日本銀行は現在なほ四億六千萬圓の發行餘力を有する勘定となりますけれども紙幣價値が今日の樣な率で下落してゆくものとすれば、國内のあらゆる預金は引出され、公社債は賣られて外國貨幣や品物に換へられんとする運動が一層熾烈となり、紙幣の供給過剩時代が來るのではなからうかと思ひます。

窮境に在る撫順炭

新販路開拓も困難

明年度まで持越すか

内地への移入制限、地賣の不振、加ふるに南支の徹底的排日のため窮境にある撫順炭は秋以後の需要期を控へて如何にしてこれを打開すべきかについて滿鐵商事部關係者は連日對策を練つてゐるが目下のところ殆ど良策なく

困惑

の態である、この結果硫安の例に倣つて歐洲市場開拓に關して秘に調査するところがあつたが、撫順炭が海外に輸出されたのは

年度	仕向地	噸
明治四三	南米	一三八
大正一〇	桑港	一三、三〇五
一〇	孟買	六、九二九
昭和元	一三 リバプール	一一〇
	コロンボ	四、四〇一

だけでその他はカムチヤツカ、濠洲、南洋方面ではバダビヤ、ジヤバ、スラバヤ、マカソー、彼南等であり、現在ではシンガポール以遠には全然行つてゐない、卽ち大正十年には米國と印度に相當多量に出てゐるのでこの例によつてこの方面に

販路

を開拓し得る見込みがあるわけであるが、この年は英國に炭坑罷業あり印度炭は供給不足となり、濠洲は優良炭の海外輸出を禁止する等の環境の一變があつた上に、當時全盛の鈴木商店が英國で庇荷として持つて行つた結果行はれたものである、しかも現在では印度濠洲とも供給過剩で最も有望視されてゐる米國も燃料過剩で外炭に噸當り四圓の輸入稅を課さんとする議も起りつゝあり到底望みなしと見られてゐる、かくて撫順炭としては目下のところでは新販路開拓の見込み全くなく

期待

するところは南支市場の排日終熄であるがこれまた改善の見込なく明年度まで現在の窮狀を持ち越すより他なしと見られてゐる

印度綿製品の關稅を引上

三割餘を從價五割に

【シムラ二十九日發】インド政府は關稅調査會の報告に基きイギリス以外の綿製品は大要左の如く卽日增稅するに決した

一、現行從價三割一歩二厘五毛を從價五割に引上ぐ

一、竿織生地綿布を從價五割か重量一ポンドに就き五アンナ四分の一か何れか高き方

現在は四アンナ八分の三である

實業關係施設に爲すべき事多し

實業廳勸業司長に就任する

原驤四郎氏來滿語る

元滿鐵公主嶺農事試驗場長原驤四郎氏は今回滿洲國の懇請を受け新國家實業廳勸業司長として就任三十日午前入港うすりい丸にて來滿したが氏は畜産事業の研究家として知られ氏の滿洲國入りは將來新國家の牧畜業の

進展

に大いに貢獻せられるものとして期待されてゐる、氏は語る

私は大正十年頃まで滿洲にゐましたが今度滿洲國に入り何を何うするかといふことは目下白紙で赴任します、新京へ到着後その後の滿洲を充分調べた上で徐ろに考へようと思ふ、然し未だ戰亂漸く治まつた處で實業方面は今直ぐにかゝることも出來まいが舊軍閥時代は實業に關することは何等施されてなかつたので爲すべきことは多い、滿洲の事業は精密工業ではなく原料工業で行くべきではないか、又それが最善の方法であらう、牧畜の緬羊は改良の根本方針は現在の行き方でよいが、その普及である

馬も

内地のやうに大きい馬でなくとも古來滿洲の馬を主に改良して行く方が一番よいと考へてゐるが何事も新京へ着いて打合せてからでなければ私は意見を持つてゐない

阿部重兵衛氏

澁味ある聲と

話題・烟眼・氣魄

◇…昨秋滿洲事變の突發と共に政治經濟的に一變革を來し、日本との關係更に緊密の度を加へた滿蒙商戰場裡に於ける三井の總帥として過日着任した大連支店長阿部重兵衞氏は、その名の示すが如く重厚の紳士である、初見の人をして先づ好印象を與へしめる。

◇…澁い聲でボツリ〱と話を切り出すところ如何にも朴訥の感があるが、話の進行につれて加速度に愈々熱が加はり來り、話題の豐富と觀察眼の銳さが更に拍車を加へて、天馬空を行くが如しだ

◇…香港には前後八年居たから南京政府首腦の滿洲に對する考へは充分看取出來るといふことから着任早々奉天を一巡してみて將來性に富めることや、在住支那人との比較、大連を出て二、三十分の後に赤土が見えたので、これはいかんと思つたが奉天近くになつて緑が多くなつたので愉快に思つたことなどに及んで續々として盡きない。

◇…滿洲は初めてだし、大連さへまだよく見てゐないから何も判らぬが、感じを言へといへば先づそんなものだと、あつさりした態度は三井の社員ならずとも好感をもてるといふもの。

◇…東京本社へ轉任する津久井氏は人も知る如く特産界への貢獻大なるものがあつたが、滿洲國の經濟建設漸くその緖につかんとするときわが阿部氏の烱眼は何れの方面へ注がれるであらうか、一見重厚の阿部氏はまた細心なるものゝ如く、而して眉宇の間に窺ひ得る氣魄こそは充分の期待を持たしめるものである。

製鐵合同問題は具體的に進まず

富永次長歸連語る

富永滿鐵製鐵所次長は上京中のところ三十日朝海路歸連した、氏の今度の上京は製鐵所問題もあつたがしかし主な要用は仙堂理事が上京して既に二箇月になり色々仕事が溜つたのでその打合せである、製鐵合同問題も中島商工大臣が熱心にやつて居られるやうで豫定としては次の議會に出すつもりらしいが仲々むづかしい點があつて具體的には進行してゐないやうだ、滿鐵としても勿論考へてはゐるが内地がそんな狀況で今急にどうといふことはない、昭和製鋼所を滿鐵と八幡製鐵所と合同でやるといふやうなことは全然ない

山田商店改組

株式會社に

市内奥町の株式取引人及錢鈔取引人の山田商店では最近資本金五十萬圓(二分の一拂込)の株式會社に改組し取締役社長として山田三平氏專務取締役として山田柳治氏就任したが同社では近く一株につき七圓五十錢の拂込を徵收し拂込資本金を三十二萬五千圓と增額する筈

單名手形による融資說虛傳

◇=滿鐵の事業資金

【東京特電三十日發】滿鐵に於ては去る四日未拂込株金徵收により二千五百萬圓入金の際單名手形二千萬圓を皆濟し更に去る二十日社債五千萬圓入金の際二千六百萬圓の殘額手形を皆濟したために現在に於ては全部皆濟となり現金二千九百萬圓が事業資金に廻されることになつてゐるので先に噂に上つた一千萬圓單名手形融資のことは全然虛說であることを立證するわけである、右に關し東京支社橋本經理課長は語る

今滿鐵には金が充分あるので單名手形によつて融通を受ける必要はない譯です、水害によつて北滿地方の貨物の出が惡く多少打擊を受けましたが大體滿鐵の業態は好調で將來光明に向つて進みつゝあることは事實であります

代喜純孝氏

山下汽船會社上海支店長代喜純孝氏は昨冬上海事變の突發と共に一先づ本社に引揚てゐたが卅日入港うすりい丸で歸滬の途大連支店と業務打合せの爲め來連した、二日出帆大連丸にて上海に向ふと

廿三弗臺に爲替反撥

【ニューヨーク二十九日發】休日明けのニューヨーク爲替市場に於ける日本圓爲替は一躍に五十仙方反撥二十三弗十二仙となつた引際の氣配は落付きとである

紐育株式市況

【ニューヨーク二十九日發】本日の紐育株式市場は人氣を鐵品市に取られスチル株は四分の一安の四十八弗八分の一と小甘かつたアナコンダ株は十三弗四分の一に引け商内は盛んで出來高は三百九十萬株であつた

黄塵

◇…後藤農相が頭を絞つた牽勢米價法案も米價を牽することは出來ても議會の大勢を牽することが出來ず内閣の危機に關するやうな大暗礁に乘上げた。

◇…民政黨に云はしむれば政友會は米價を無軌道に狂はさするものだとある。

◇…いくら立派な軌道を設けても相場が軌道の上を動かないで脫線することもある。

◇…と同時に無軌道…大勢に順應した…的の彼岸に達する…にあらずだ。

◇…世界財界を常道…して各國があらゆ…て居るが時雖らず…動も其效がない。

◇…然し物窮はまれば變てそこに通…て來る。

◇…杓子定規的に何…めて仕舞はふとす…つて無理が生ずる…いか。

◇…今や世界の大勢…つゝある、既往…との出來ないやう…が近づきつゝある…ことは出來ないで…

米棉市場狀況

【ニューヨーク二十九日發】本日の米棉市場は綿布市柄不良の報に買注文…大關門を突破し昨年…値であつたが利喰…し引値現物は變らずであつた

紐育生糸奔騰

【ニューヨーク廿九日發】前週來奔騰目覺ましき生糸市場は日本市場の生糸暴騰の報に先物、現物共に二弗關門を突破し本年の新高値を示したが後利喰に引値現物は前日より十三乃至十七仙高であつた

福井人絹反落

【東京三十日發】福井人絹昨夕現物の伸び惱みを反映して軟化の氣先今朝外電の不活潑を入れ利喰賣物多く先限七圓三十錢方反落百四十圓五十錢と引けた

市場電報(三十日)

銀塊及爲替 / 神戸日米 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 印度棉花 / 横濱生糸 / 大阪綿糸 / 大阪綿花 / 滿鐵株(聯り)

市況(廿九日)

特産 銀價安寄りで大豆賑り

今朝の定期は大豆に…眺め高寄りしたが…筋の賣に軟化した…

豆

今朝大豆は銀價の安寄りと邦商及奥地筋の乘替物に近期を中心として寄鼻昂騰を呈したが▲あと銀價の上伸と南支筋の利喰賣に軟化したが結局襍り商狀を辿つた▲豆粕は買氣なく保合僅かに三千枚の手合をみたに過ぎず豆油も强含乍ら極めて薄商内▲高粱は納會控えに乘替手仕舞もの多く强調を示す▲埠頭混保大豆の滯貨は昨今十萬噸内外で昨年に比し五萬噸少ない▲出廻りが捗々しからぬ上歐洲向が多いから更に減少するであらう

銀

海外銀塊は倫敦現物先物共八分の一高紐育同事▲米日は十八高日米は八分の一高と小襍りを示し鈔票は現物は二圓臺先物は一圓二十錢安と安寄りしたがアト投物一巡と日米爲替先安見越しから二圓方急騰した▲爲替の小戻しからマバラは投げ退いてみたもの、依然として爲替は本格的に回復し得る力なしとの觀測から再び買氣擡頭となつた▲惡ひ塲ぶじをみせ乍ら急反撥をみせるところは何としても强い相場とみなければならない

株

けさ北濱定期は諸株共ボンヤリ東新も二三回安と下押し▲地場株はいづれも五六十錢安引緩んだが…

錢鈔 爲替安見越に鈔票昂騰

定期喰合高

現物前場

内地株軟弱 當市も反落

上海爲替情報

商品 麻袋續騰し綿糸反落

上海標金

寄値	六九六兩三
高値	七〇〇兩八
安値	六九三兩六
止値	六九四兩五

手形交換(三十日)

金	一、一六四枚	四、〇三〇、四五七圓
銀	二〇八枚	五一六、七〇一、〇〇九弗

爲替相場

鮮銀(公定)

倫敦向電信賣(一圓)	一志三片二五〇
紐育向電信賣(金貨)	二三弗六分一
上海向電信賣(同)	七一兩〇〇
同 賣(鈔票)	一五〇兩〇〇
日本向電信賣(同)	一〇三圓〇〇
同 十五日拂買(同)	一〇三圓〇〇

奥地市況

錢鈔

奉天(現物)		
(奉票)(先物)		
奉天(現物)		
大洋票(定期)		
開原(現物)		
(大洋)(當限)		
(先限)		
安東(當限)		
鎭平銀(先限)		

大連埠頭到着高

大豆	五五車
高粱	一四車
豆粕	—
雜穀	二二車

（日刊）
滿洲日報
（明治四十年八月二十五日 第三種郵便物認可）
發行人 鈴木 編輯人 橋本 印刷人 本村武
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢

諸國も我態度を認識 滿洲問題は漸次好轉
蘆田氏の質問に内田外相答辯
衆議院豫算總會（三十日）

【東京三十日發】三十日の衆議院豫算總會は午前十時三十五分開會岡田委員長から質疑はなるべく本日中に終りたいから簡單に願ひたいと希望し蘆田均氏の外交問題質疑に入る

蘆田均氏（政友） 一、外相は來るべき聯盟總會で慘敗を逃れるため努力する考へはないか

一、政府は我對滿政策に就き列國の輿論を矯正することに成功したか如何

芦田均氏

内田外相 世界諸國は次第に我態度を認識しつゝあると考へる、假に世界の非難があつても我國としては何處までも主張を貫徹する決心がある

蘆田氏 一、滿洲事件が我國に好轉しつゝあると云ふ理由如何

一、米國艦隊の主力が太平洋に集中されてゐることに就いて政府は何か對策を講じたか

内田外相 滿洲事件が好轉しつゝある具體的説明は出來ぬ、又米國艦隊集中には何等抗議しない

蘆田氏 滿洲國承認、又對滿政策に就き聯盟で不幸わが主張が破れた場合外相は如何にして我立場を有利に導くか

内田外相 わが主張は公正で國民の決心は強硬であるから有利に進み得ると思ふが若し已むを得ない場合は最後の決心がある

蘆田氏 對支政策の指導精神如何

内田外相 支那本土は滿蒙よりも寧ろ重大であるが現在では日支關係は面白くない、どうしても彼の反省を求めなければならぬ、斯くして日支の親善、日滿支共同を以て東洋の治安平和に努める趣旨に至らんことを希望しこれがため現在も鋭意努力してゐる

加藤鯛一氏（國同） 議會提案を以て非常時救濟の確信ありや

齋藤首相 非常時切拔けの確信を以て成案した

加藤氏 將來の産業政策は統制經濟でゆくのか

齋藤首相 右は單に商業組合法のみである

加藤氏 中小商工業者の負債は何程か

中島商相 約十六億圓である

加藤氏 不景氣と購買力との關係農家負債輕減の意ありや農村更生のため政府は更生資金融通の意志なきか

高橋藏相 農家負債整理は調査中、今回の提出議案でよかろうと考へる（以下次號）

統一ある對滿政策 この際確立したい
齋藤首相質問に答ふ

蘆田氏 將來は統一ある對滿政策を執る必要あると思ふが如何

齋藤首相 今回軍司令官の更迭た機會に對滿政策を確立したい

仙波久良氏（政友） 今回の關東長官は軍司令官兼任になつてゐるが地方行政上文官の最高補佐機關を設ける必要ありと思ふが如何

齋藤首相 今後の行政の實際に應じて改める

仙波氏 滿洲國承認後日本は關東州を滿洲國へ返還すると云ふ噂あるが如何

内田外相 そのことは毛頭考へてゐない

仙波氏 南滿沿線の匪賊は學良配下の兵賊であるからこの際熱河省に自衛權の發動する意志なきや

荒木陸相 國際關係、對支政策その他で即時といふ譯には行くまいが滿洲國の事態に自衛上近く何等かの處置に出るかも知れぬ

仙波氏 滿洲の海岸警備のため○○に○○を設ける必要ありと思ふが如何

岡田海相 海軍でもその必要を認め目下準備を進めてゐる

龜井貫一郎氏（大衆） 外交問題にて二、三質問した後

高木正年氏（民政） 匪賊は容易に影を潛めるとは思はれぬからこの際滿洲警備の方策を確立するため現役を終つた軍人を滿洲へやる考へはないか

荒木陸相 屯田兵の組織に依つて滿洲守備と開墾を行ふことは至極道理のあることゝ考へるので研究する積りである

斯くて午後零時五分休憩に入る午後一時十五分再開、加藤鯛一氏現下の非常時局救濟に對する政府

> 詔書
> 朕九月二日マテ三日間帝國議會會期ノ延長ヲ命ス
> 御名御璽
> 昭和七年八月二十九日
> 各大臣副署

會期三日間延長に決定

【東京二十九日發】政府は二十九日午後四時十分院内大臣室で臨時閣議を開きその結果會期三日間延長に決定、岡田海相は首相代理として同四時五十分參内右の旨奏請し二十九日官報號外で右の如く詔書公布手續きを執ることゝなつた

衆議院本會議 夕刊のつゞき

【東京三十日發】衆議院本會議は午後一時十五分再開日程

一、調停中立事件の手續費用救助に關する法律案外一件（安達謙藏提案）上程委員附託

一、小作人保護法案（杉山元治郎

本庄將軍凱旋
奉天驛發の本庄中將（上）大連驛に於ける小學生團の歡迎（中）大連驛着の本庄中將（下）

提案）

一、衆議院議員選擧法中改正案（安部磯雄提出）委員附託

一、通信事業特別會計法案（志賀和多利提出）委員附託

一、上海事件直接被害者救濟に關する建議案外二十四件を一括上程、建議委員長牧野賤男氏の委員會報告あり、報告通り可決確定、この時上田孝吉氏（政友）の動議により午後二時三十五分散會

颱風委員會に外れ伸びくした
廿九日の衆議院本會議

【東京二十九日發】米價と負債整理問題を廻つて政府と政友の正面衝突は果然現内閣の一大危機を孕み議會の會期延長は既定の事實となつて院内の緊張は豫算總會初め問題の兩委員會に集中され二十九日の衆議院本會議は議員提出案のみで伸び〜として居る、併し傍聽人は相變らず滿員である、一時十五分開會、直に日程に入る

一、傷痍軍人及び戰功傷病者遺族等の鐵道、船舶搭乘車船優遇に關する法律案（江藤源九郎氏外二名提出）

一、地租の免除に關する法案を委員附託次で

一、間接國税犯則者處分法中改正法案外四件（安達謙藏氏提出）を一括上程、志賀和多利氏から間接國税犯則者處分法改正案に對する政府の所見を質し八並次官の答辯あつて大々委員附託

一、銀行法中改正法案他四件を一括上程加藤鯛一氏（國同）青木亮貫氏（民政）天辰正守氏（政友）宮澤裕氏（政友）から夫々説明あり委員附託

一、民事訴訟法中改正法案（龜井貫一郎氏他二名提出）

一、國税徴收法中改正法案（龜井達也氏他三名提出）を一括上程委員に附託

一、中央卸賣法中改正法案

一、大正十五年法律第二號中改正法案

一、關税定率法中改正法案右大々關係議案委員に附託

一、失業防止法案

一、失業手當法案を一括上程提案者たる

安部磯雄氏（大衆） 失業は個人の罪でなく現代社會機構の罪即ち國家の責任であるから失業者に臨時手當を與へたいと説明委員附託

一、家屋税免除に關する法案を委員附託、この間議場は全くだれ氣味で辛うじて定員數を保つてゐる

このさき議事進行に關して

鈴木正吾氏（國同） 今期議會に請願のため上京せんとした各地農民を政府は地方官憲に命じて彈壓、干渉した事實は枚擧に遑ない、かくの如きは國民の議會に對する信望を失墜せしむる結果となるが政府は宜しく反省せよ

秋田議長 鈴木君の發言は議場外に於ける政府の措置に對する質問のやうであるから議事進行として取扱はぬと宣し午後二時五十四分散會

衆議院豫算總會 廿九日つゞき

【東京二十九日發】二十九日衆議院豫算總會（三十日附朝刊つゞき）斯くて正午一旦休憩、午後一時二十五分再開津雲氏午前に引續き明糖問題を追窮し

税務當局は脱税につき事實を調査したが、會社に表面的帳簿と秘密帳簿のあつたのを知らなかつたか

石渡課長 實際調べた、秘密帳簿は今回初めて知つた

と遺憾の意を表し津雲氏尚も會社と官吏間に情實なきやを質せば

藏相 脱税なりや否や調査中である

法相 右事件は恐喝事件から疑問を生じ税務當局に照會したもので檢事正から大藏省へ通告したことなく藏司兩省間の事件ともなつてゐない

津雲氏は先づ法相と通告文の漏洩出所につき應答の後

津雲氏 標準歩合九十一セント以上で四パーセント乃至八パーセントの精糖が出來ると思ふが如何、又は會社が拔取つた百分の一のみが標準歩合より多いと考へるか

石渡課長 標準歩合以上にて出來る精糖を法律上脱税とすべきやは考究中である

津雲氏 明糖以外の四大會社も標準歩合決定に不正をなしたやうだが右は歩合決定後莫大な脱税を行はんとする計畫と思ふが如何

堀切次官 その通りと思ふ

津雲氏 大藏省は拔取のみを脱税とし昭和三年二月二十五日以降を脱税と認めぬのは何故か

次官 その後の分も脱税なりや考究中である、津雲氏更に消費税の判例を引用し課税の技術に就き質し脱税に對する大藏省の聲明に及び「右は省議で正式決定したものであるか」と質す

次官 一部局が勝手に發表したのである

津雲氏 それは不都合である、藏相は下僚の行爲を罰するやと鉾を轉ず

藏相 下僚に過失あれば自分が責任を負ふ

津雲氏なほ脱税通告問題で法相と應答後質問を打切る次いで議事進行に關し

島田俊雄氏（政友） 今議會の會期は三十日で終了するが議事進行から見て政府提案の不通過は明かである、政府に會期延長の意志ありや延長せば幾日位か聲明されたい

首相 政府は會期延長は已むを得ないと考へ二十九日閣議を開き決定する積りで數日間の延長を奏請する積りである

かくて島田氏質問通告者を整理し議事進行を圖るため暫時休憩の動議を出し多數で右の通り決し午後三時四十五分休憩となる、午後五時三十四分再開

門田新松氏（政友） 岸本樺太長官が赴任の途突如休職になつた理由を質し

永井拓相 岸本氏が山林濫伐をやつたと自分がいつたやうに傳へられてゐるが右は事實無根である、岸本氏が赴任の際後任が決定してゐなかつたので岸本氏に大變迷惑を掛けたことは誠に遺憾であつたが將來特に注意する

とあつさり謝まつたので門田氏もこれを諒承、拓相の糺彈問題も一應納まる

門田氏尚縣大阪府知事濫伐、官文書僞造詐欺問題で内相と問答を重ね喜多孝治氏（政友）岸本氏休職に就き拓相の處置を攻撃し次いで

田中貢氏（民政）最近の爲替相場暴落の原因を質し

藏相 財政外交上の不安、爲替先安見越輸入その他の豫約急ぎと輸出等の出廻薄のためである

田中氏更に爲替對策につき希望後議事進行に關し

岡田委員長 質疑は三十日で打切り三十一日午前各派討議決定後討論採決をなし同日本會議に緊急上程したい

と諮り異議なく決定午後七時五十五分散會

政府は頬冠主義で期待を貴院に繋ぐ
對農村諸法案の運命

【東京三十日發】政友會は衆議院に於て政府との折衝を打切つて了つた結果政友案の通過は明かとなり政府の米穀應急施設法案は否決の運命に置かるゝこととなつたがこれは時局匡救の根幹に支障なしとて攻撃は強硬態度より頬冠主義に轉換を露骨に示して來た、その理由は專ら期待を貴族院にかけ政友案の否決又は握り潰しと政府案の更生すべきを望んでゐるためである然し米穀においては多額議員選擧を控へ貴族院の贊否半ばするを以て政友會が負債整理中央金庫法の單獨法を以て進む時は貴族院で否決さるべきを以て政府提案の負債整理組合法にこれを附加し提出せる爲め必ずしも政府原案の如く修正さるゝやは疑問と見らるゝに至つた、これが爲め政府の計畫頓挫するの形勢となつた爲め政府は專ら貴族院との折衝に腐心極力諒解に努めることになつた

森中將着京

【東京三十日發】前關東軍獨立守備隊司令官森連中將は本日午前九時着京した

旗と人と萬歳聲裡に 凱旋將軍の大連入り
歸京途上の本庄中將

憶ひ起す昨年九月十八日夜、柳條溝の急變を聞いて深夜大旆を奉天に進めてから約一年、われ等の軍司令官本庄繁中將は今、凱旋將軍として晴れの歸朝の途上にある、寡兵をもつて積惡の舊軍閥を打倒し滿洲三千萬民衆に樂土を與へ、わが國軍の名譽を中外に宣揚した名將軍、本庄司令官の名に榮光あれ！ 萬歳！

車窓に名殘の夕陽

凱旋途上にある本庄將軍を關東州境に迎ふべく記者（和氣特派記者）は瓦房店驛に待ち受けた、凱旋列車は

熊岳城附近 の小匪賊團のため約四十分遅延し、州境の空は蒼茫として暮かゝつた、秋を思はせる一刷毛の高層雲に夕陽は美しく映え、驛前の牧場には牧羊が群て凱旋將軍を迎送するに相應しい景物だ、驛頭には在住邦人老幼男女千五百名、協和會員百名復縣小學校の滿洲兒童百五十名が日滿兩國旗を手に待ち受けてゐる、六時十五分新名大尉の操縦する偵察機が低空飛行し來り、同三十二分武裝兵を乘せた先驅列車が到着した、同五十二分、凱旋列車着、本庄將軍は

展望車より プラットホームに降り立てば期せずして起る萬歳、萬歳、かくて列車は四十分の遅延を取り返すべく速力を早め、普蘭店に着けば州内最初の驛とて歡迎ぶりは一段だ、將軍はここで幕僚と共に食堂に入り夕食を攝つたが、全速力で疾過した三十里堡、二十里堡等にも邦人が提灯や旗を持つて迎へ萬歳を絶叫してゐるのが突嗟に聞えて消えて行つたのに將軍も痛く心を打たれた樣子であつた、七時五十八分金州着、爆竹賑やかな歡迎に食事半で降車答禮した、沙河口では、鐵道工場や西部小學校兒童ら

盛んな萬歳 で送り八時三十五分、三萬の大衆が旗と提灯と絶叫をもつて待ち受けてゐる大連驛に着いた

でホームに降立つた吾等が輝ける

中將の温顔 を見た出迎へ人は喉わけもなく萬歳の聲を喉も裂けよと叫ぶばかりである

限りない國民的感謝と感激を唯この叫びだけに託した市民の口からほとばしる萬歳の聲は遂に完全に大連驛頭を壓してしまつた、これに答へる本庄將軍の頬も流石に感激に打震へてゐるではないか、萬歳の波に送られてプラットホームに出た將軍はここでも涙ぐましい市民の萬歳にしばし立止まつて敬禮直に住友副官を隨へ自動車の人となつた、自動車は日本橋から一路大連ヤマトホテルへ、日本橋までは

旗、人、萬歳 だけ、日本橋をすぎてから四つ辻に立つた市民は思はず萬歳を叫んで將軍を迎へた、かくて大連未曾有の歡迎の裡に本庄司令官は同四十五分ホテルに入つたがこの日の大連驛の出迎へ人は實に三萬餘と算せられた

大連驛に着く

八月廿九日、けふぞ晴の凱旋將軍本庄前關東軍司令官の大連入りを迎へる日だ、將軍一行を乘せた大連午後八時着豫定の急行列車を迎へるべく大連市民一同は老も若きも手に〜國旗をかざしながら

大連驛頭に 殺到、午後七時半すぎ既にこれ等の人波は日本橋までつゞいてしまつた、警護の在郷軍人、警官達は聲をからして必死の活動をつゞけてゐるが、人の波はともすると崩れ勝だ、熊岳城附近に匪賊が現はれたため列車は三十五分の遅着となつたが勿論出迎の人波は増す一方誰一人家路に急ぐ者はない、さしも廣いプラットホームも

安藤旅順要港司令官、岩井在郷軍人聯合分會長、高柳中將、山西、竹中兩滿鐵理事、以下各幹部、竹内大連民政署長はじめ關東廳高等官、岡野大連市長代理大内市會議長、村井商議會頭、森本地方法院長、石井大連署長以下市内各警察署長、夜性大連新聞社幹部、松山滿日兩新聞社長、以下通信新聞社幹部等の諸大有力者、大連在郷軍人一同、婦人團體代表市内男女中等學校生徒、小學校兒童等

完全に埋めつくされ、なほはみ出された小學生團體はプラットホームの外に居並びそれにつゞいて日本橋までが

一般市民の 歡迎の喚聲人の波ばかりである、午後八時十五分警乘兵を滿載した、先驅列車が到着した將軍の到着までには後二十分である、中學生の一團から突如勇ましい「吾等が將軍」の歡迎歌が高唱される出迎へ人の熱は次第に高潮今やおそしと列車の到着を待侘るのみ、午後八時三十四分カラン〜と機關車の鐘の音が聞へて來た、三十五分ピタリと列車はホームに到着、萬歳！天地に轟く歡呼の聲だ、後尾展望車から井上獨立守備隊司令官等と並ん

征戰一年 鬢頭霜を増す
將軍感懐を語る

瓦房店驛で同乘するや記者は直に刺を通じた、本庄將軍は展望車の中央に座し獨立守備隊司令官井上中將及び鞍山から同乘した八田副總裁と歡談してゐたが快く記者を招いた、征戰一年、心なしか白髪はふえ頬は落ちたが小柄ながら頑丈な身體、精悍黒い顔、節立つた手で軍刀をむずと握んだ姿は、頼もしい凱旋將軍の姿だ、記者が謹んで凱旋を御祝申上げますと祝意を述べると將軍はすつくと起立し鄭重に頭を下げて「有難う」と感謝した、その謙譲な態度は意氣盛る凱旋の將とは思へず、これであればこそ三軍の士卒を悦服せしめたのだなと感動せしめられた以下記者の問にまかせてのごとく語つた

昨年九月十八日夜、旅順を出てから一度は旅大を訪れたいと思つたが忙しくて遂にその機會を得ませんでした、旅大の邦人は慰問はもとより澤山の軍隊の往復の歡送迎や、死傷者の見送り出迎へに一方ならぬ御世話下され深く感謝してゐます、それで今度も朝鮮經由で歸朝しやうかと思つたのですが、それでは旅大の方々に叱られるだらうと思ひ、御禮旁々こちらを廻ることにしたのです、匪賊も少し事實以上に騷がれる傾きもあるが大局には關係なく治安問題はこゝらで一段落です、ここに後任に立派な武藤將軍が來られ各機關を統制して行かれることになつたので私は安心して滿洲を去ることが出來ます、むろん内地に居ても滿洲問題が有終の美を濟すやう微力を盡さねばならぬと存じてゐますから、在滿の同胞諸君によろしく願ひたいと思ひます

家庭欄

國際離婚法

◆…軍縮、賠償、戰債、關稅、錫、ゴム、油、石炭、金銀等雜多な國際會議で忙殺されてゐる世界は、又一つ國際的難問題を背負はされた、それは離婚問題である。

◆…最近英京ロンドンに「國際離婚法制定」に關する委員會が設立され、この委員會よりの建議案が今度國際法曹協會々議に提出されることになつてゐる。

◆…この國際離婚法制定委員會の趣旨は……今日各國における離婚法は全然區々別々であつて、從つて或る夫婦が離婚を行はんとす場合、たとひ自分の國ではそれが不可能な事情にあつても、外國へ出かければ簡單に離婚が出來るといふ場合が非常に多い、現にアメリカの一都會の如きは、その町に國際的な離婚裁判所が存在するため年々發展しつゝあるが、この裁判所に登記するなれば、人生の重大事件たる離婚が僅か五分か、十分で解決するのである。

◆…離婚はかくの如く輕々しく扱ふべきものではない、各國ともにもつと愼重に考慮すると同時に、自國で離婚出來なくとも外國に出かければ出來るといふ、この拔け穴はどうしても塞がればならぬ それには國際的な離婚法を制定して世界萬國の加盟を求め、その締盟國の一にて許される離婚は、他の締盟國でも許されるし、また然らざるものは萬國共に不許可であるといふことにせよ……といふのがその趣意である。

★　★　★　★

本庄繁中將は皆さんで存知の樣に今度關東軍司令官から軍事參議官となつて來る九月二日大連出帆のうすりい丸で日本に凱旋されることになりました。本庄將軍が滿洲に住んでゐる日本人のために、滿洲國人のために盡された功勞はいまさらいふまでもありませんが、殊に今を去る約一年まへ即ち昭和六年九月十八日の夜、張學良の部下が世界の交通機關である滿鐵の鐵道を亂暴にも爆裂彈で破壞した例の滿洲事件が起つてからこのかた本庄將軍は晝といはず夜といはず南滿の各地にはびこる兵匪どもの討伐に大いなる努力をされたのでありましたそして滿洲國が出來、世界の人々が安樂に暮すことが出來るやうにならうとしてゐるこの時、將軍は滿洲を去るのです、何と名殘おしいではありませんか、皆さんと共に本庄將軍のご健康をいのりませう【寫眞は本庄將軍】

滿洲國の子供達へ

滿洲國の子供達と仲よく助けあひりつぱな國にそだてあげて下さい

軍事參議官 陸軍中將　本庄繁

本庄中將のサイン

私は今回想出の深いこの滿洲を去ることになりましたので懷しい皆さんとのお別れに臨み一言御挨拶を申上げたいと思ひます

◇

皆さんも既に御承知の通り、滿洲は事變以來我が忠勇なる日本軍隊の非常な活動と滿洲國軍の奮鬪で惡い舊東北軍閥は滿洲から追ひ拂はれ又同時に滿洲國人全體の希望と努力で新に滿洲國といふ立派な獨立國が建てられました、この新に出來た滿洲國は我が日本とは切つてもきれぬ親密な關係がつながつてゐるばかりでなく、この國の中に住つてゐる人々は日本人も滿洲國人もその他の外國人も一樣に皆兄弟のやうに仲よくし、互に助けあつて世界に比類のない所謂民族融和を基調とした王道理想國を實現せねばなりません。

◇

それには日滿兩國の子供達が先づしつかりと手を握りあつて行くことが何より肝腎で、殊に皆さんの中には多分滿洲で生れた方が多いと思ひますが、たとひ日本內地で生れた人でも、滿洲に住つてゐる以上、內地の子供達に率先して、この重大事を充分に考へ、覺悟して、滿洲にあつては滿洲國の子供と仲よく勵み助け合ひ、日本母國の子供達に向つては常に在滿の皆さんがお手本になつて新國家の發展と日滿兩國の親善に向つて進まねばなりません。滿洲國は建國を告げてからまだ半年にもならぬので、前に申した樣な立派な理想國に育て上げるにはこれからが大事なのです。

◇

そしてそれを完成するのは一つに皆さんの今後の責任であると共に義務なのですから、その覺悟で只今から身體を大事に強くなると同時にしつかり勉強して頂きたいと切に希望致します。

寢冷え流行

耳の悪いひとぐ／＼は早期に手當なさい

今年 は土地の新聞が特に衛生方面に意を注いだ爲か、それとも雨やコレラのために海水浴の期間が例年よりずつと短かつたからか、例年のこの季節に較べると耳鼻科方面の疾患が著るしく減つたやうです、しかし減つたといつても六七月頃に較べると大變な增加で中でも目だつて多いのは小學兒童で、その最大原因は勿論海水浴です、海水浴をしても耳の入り口に油を塗つたり木綿わた（脱脂綿はかへつてわるい）をつめたりする程注意深い人はこんなことはありませんが

不注意 のため耳に水が入りこれが原因でいろ／＼な病氣を引起すことが多いのです、耳に水が入つてもそのまゝ放つて置いたのは大した事もありませんが誰も氣持が惡いので搔きたがりますし、搔けば傷がついて外聽道の炎症を起したりおでき（フルンケル）が出來たりします。又一方には海水浴によつて鼻や咽喉を惡くしそれが基で急性の中耳炎を起すのもあれば、舊い中耳炎を持つて一時よくなつてゐた人が海水浴によつて再發したり惡化したりしたのもあります。中には耳くそが海水ではいつたゝめにほとびて

外聽道 をふさぐやうになり著るしく聽力をそがれたやうな人も相當あります。これ等の病氣はいづれも氣持がわるいから耳かきやコヨリを突込んだり引かいたりする人がありますがこれは症狀を惡化させるばかりですからなるべく早期に完全な手當をされるやう希望します、海水浴に因るものでなくて昨今氣候の變化から呼吸器を害しそのために耳鼻科方面の故障を起すことがあります。宵のうちは蒸々と暑かつたのが朝方になつて急に氣溫がさがつて

風邪を 引込んだりおなかをこわしたりする所謂寢冷が昨今流行物のやうです。近年大氣生活がさけばれ夜も窓を開放して寢る方がこちらでも大變殖えたやうでこれは誠に結構なことですが、體の弱い人や子供などはよほど注意しないとこのために寢冷をして色々な病氣を引起すことがあります。當地は例年土用までは南風が吹きますが土用が過ぎると北風に變り、それが宵のうちには凪いで夜半から吹きはじめる事が多いのですから窓を開けて寢る時には北の窓はなるべく閉ざして東か南の窓を開けて下さい。それも東窓と南窓を兩方とも開放して置くとどうしても風が吹通し

冷え方 もちがひますから東なら東だけ、南なら南側だけ開けて寢る樣にされた方が安全でせう（森本辨之助氏談）

家庭顧問

子宮後屈症は入院して手術せねば治らぬか

【問】當年三十三歲で子供數名ある經產婦、三年前[illegible]より內地の某病院にてレントゲンを三回ばかり子宮に照射して貰ひました。ところがその爲か昨年秋頃から身體が追々と衰へて來、本年に入つても洗濯や日常のふき掃除、針仕事にも漸を追ふて根氣がなくなりしかも特に腰痛に惱むことが多く何かにつけ疲勞を覺ゆる度が增して來ますのでやむを得ず先日某醫院で診察して貰ひました處、子宮後屈症であるから入院して中手術を要すると云はれました。そこで同症はどうしても入院手術せねば治癒せぬものでせうか、日數は餘計にかゝつても其れ以外の方法でそれを癒す手段はないものでせうか（一患者）

働き盛りです速に治療をうけ主婦の務をなせ

岩男其二郎

【答】御記載で見ますとレントゲン線照射の結果と子宮後屈症の症狀とが同時に來てゐるやうに考へられます「レ」線照射によつて卵巢機能が急激に廢絶しますと月經閉止と分泌異狀を起しまして[illegible]か心悸亢進とか其他の神經症狀を起します、これを私共は缺落症狀と申してゐます、恰度貴女の持つてゐられる症狀がそれで子宮後屈のために苦痛殊に腰痛を訴へられるのです。此等の症狀はいづれも醫治によつて根治されます、未だお若い働き盛りの貴女が病氣の爲に活動力の大部分を減殺されるといふ事は人生の悲哀です、一日も早く恢復されて思ふ存分に御家庭のため邦家のため社會のためにお働きになるやうにお薦め致します勿論中手術はなさいますことを私もおすゝめします、手術による苦痛は殆ど御座いません、こんな事ならば早く手術を受ければよかつたと思はれる事を豫じめ申上げてよいと信じます。

もぐらもちのトンネル (23)

政本いさむ作　太田あた坊画

泥坊は酒をのんでるのでせう。大きな話聲がかすかに聞えて來ます「ねむいなあ」三太郎さんは物置の中でこつくりこつくり眠りました。

そう／＼ぐつすり寢込んでしまひました。やがて物置の戸が音もなくすうと開きました。三太郎さんはちつとも知らずに寢てゐます。

恐ろしい泥坊に追つかけられた夢を見てゐました。誰かゞしきりに三太郎さんの肩をゆすぶるのでハツと眼を覺ましましたらそこに[illegible]がすわつてゐました。

「泥坊だな」びつくりしてふりむきますと「三ちやん！」と小さい聲でいひました。「おや」

滿日各地版

學良五十名を選び大規模の反滿運動
既に北平發滿洲潜入
馮庸の驚くべき計畫

【奉天】確なる方面よりの情報によれば馮庸大學長馮庸は東北を脱出し北平に赴いて以來極端なる排日により元同大學の生徒を集め抗日鐵血義勇軍を組織し只に排日排貨の宣傳のみならず示威運動をなし各地に團員を發し匪賊の煽動をなすと共に各種情報募集に努め東邊道各地に約三百名の學生を潜入せしめ今春以來大成功を納めた爲め今回更に奉天に本籍を有する學生を五十名選拔し左記の如き命を授け本月十六日各々北平を出發せしめた

一、奉天に於ける各種情報視察報告すること

二、中等學校の生徒募集を目標に反日反滿思想を鼓吹すること

三、機を見て奉天を擾亂すること

團員は一班三名とし陸路又は海路により奉天に潜入する筈で何れも相當の旅費を給せられてゐると

寡兵とみて猛射撃
奉天大南門外で奮戰負傷した
鈴木軍曹元氣で語る

【奉天】廿八日午後十一時大南邊門附近に匪賊二百名來襲さ聞き逸早く近藤伍長、川島上等兵外三名と共に機關銃三挺を携帶し現地に急行中大南門外で賊彈を受け重傷を負へる城内憲兵隊附鈴木軍曹は目下奉天衛戍病院に入院加療中であるが重態にも拘らず頗る元氣で語る

あんな賊にやられて殘念でならぬ、自分等は匪賊來襲さ聞き、近藤伍長、川島上等兵と共に直に機關銃を以て出動し大東門外に差掛るや賊より突然一齊射撃を受けたので直に之に應戰したが賊は自分等の方が寡兵であることを知り益々肉薄して猛烈な射撃をなすのでこゝに於て猛烈な戰鬪となつた、この戰鬪で胸部に重傷を受けたのでやむなく指揮を近藤伍長に讓り急を憲兵隊本部に報じたのである、早く癒して彼等賊共を滅茶苦茶にやつつけてやりたい

不安恐怖の石橋子に又匪賊
二十八日の事件詳報

【本溪湖】打ち續く匪賊の脅威に今やその面上に生色なく不安と恐怖のドン底にまで突き落されんとしてゐる北部安奉線の各中間驛に在る邦人達、就中「魔の大嶺」を間近に控へて近輪の部落に數多の共産匪の徒黨が蠢動しつゝある狀況の中に今日まで辛くも平和を保つて來た石橋子驛、此處に住む人達が最も怖れてゐた所の戰慄すべき事件が遂にその頭上に襲ひ掛つて來たのは八月二十八日の午前一時頃のことであつた

折柄の豪雨を衝いて石橋子驛に迫つた賊團は警備の我が警察官が派出所に引き揚げた後、連日の激務の爲に心身共に過勞の極に達せる驛員のスキをうかゞつて鐵條網を越え炊事場の鏡を打ち破つて驛舍に闖入し居合せた滿洲國人二名に銃彈を浴せかけて逃走した、一方この銃聲を聞くと同時にすはこそばかりに飛び出した警官及び本溪湖守備隊分遣隊の兵士達が驛舍に向つて馳せつけんとした時、散開して待ち受けてゐた約三十名の匪賊は我が軍警に一齊射撃を浴せ來りこゝに漆黑の闇を挾んで物凄い逆戰が展開されたが交戰約四十分にして遂に賊團を撃退した

この襲撃を受けて石橋子驛員王國金は心臟部に貫通銃創を負ひ即死し鐵徳光は左足腿部に同じく貫通銃創を受け本溪湖滿鐵病院に收容手當中である、賊團は先日大嶺附近にて列車を襲つたものと同一らしく、大嶺を中心として附近部落に蟠居してゐる彼等匪賊一味はこの際徹底的に掃蕩するは大衆の齊しく熱望する處であるが現在の警備力はこの要望を滿たすには餘りに薄きに過ぎるかの觀がある、さればとてこのまゝに放置せんか益々増長せる彼等は如何なる事態を惹起せしめるやも計り知れず、かくては國際交通路安奉線の運行も危殆に瀕する結果を招來するので今や死線の間を彷徨せんとしてゐる安奉沿線居住者は警備力の増大を唯一の賴みとして不安に滿ちた月日を心許なくも送つてゐる

遼陽驛の本庄將軍（廿九日撮す）

撫順も不安
奉天城内襲撃事件で
關係當局嚴重に警戒

【撫順】撫順では奥地匪賊蠢三の瀋海線襲撃がいよ〳〵下章黨に及び益々附屬地に接近進撃することが確實となつたので二十九日守備隊憲兵隊警察及び炭礦防備隊の武裝兵一千餘を以て徹宵非常警戒をなせる折柄匪賊は突如奉天襲撃を敢行するに至りこゝもと無謀なる匪賊等は何時如何なる方面より當地に襲來せんとも限らぬとし、又奉天襲撃の匪賊團二千名の移動地域も分らず勞々當地東端塔連より元帥林を襲撃したる約一千の兵匪東方二、三里の地點には曩に營盤刀匪を控へて居ることは昨今に於ける炭都撫順の非常な脅威であり警備弛むと見たが最後彼等は必ず目頃の撫順襲撃を決行するものとし目下當地全警備機關は協力一致全力をあげて敵匪の防備警戒に當つてゐる次第であるが、鐵扉山附近に蟠居せる匪首李春閣以下八百の敵匪は漸次近接しつゝありその偵察隊の一部は既に渾河を渡つて管内に入つた模樣さへあるが、二十九日夜は東社東北方一里得利我哈に三百名同北方魏家鎭に二百名移動し來つた

萬家嶺で匪賊を撃退

【瓦房店】萬家嶺は匪賊の出沒とコレラの猖獗に惱まされ人心極度に戰慄してゐたがコレラは終熄尚自警團によつて匪賊の一味を逮捕大手柄をして二つの喜びが有つた卽ち八月十八日午後七時萬家嶺自警團鄕軍松本誠一郞外三名は柞蠶試場附近を徹宵警戒中野菜行商風を裝ひ附屬地の軍警の行動を探らんと侵入したが後備騎兵曹長松本誠一郞の鋭い眼光に看破され鄕軍四名は捨身となつて大格鬪の末逮捕した、此奴は蓋平縣生れ王成年（二十）で、蘇胃王殿廣の部下で既に六回馬賊を働いた兇賊である事が原司法主任の峻嚴なる取調べによつて漸く判明し廿八日復縣公安局へ一件書類と共に護送されたが萬家嶺鄕軍は七月廿七日突如五十餘名の匪賊團の襲撃に遭つたが而も豪雨暗夜最前哨線に立つて死守し軍警を援撃退した勇壯な奮戰は大和民族天賦の使命を果したものとしてその意氣に感激した大内警察署長は左記四名の表彰方を關東廳に上申した

松本誠一郞、小椋宮松、佐賀甫、西村源三

連絡者を銃殺

【鞍山】鞍山劉二堡間及び同騰鰲堡間の電話線は匪賊のため切斷され不通となつてゐるので鞍山農商聯合會では各村と連絡のためモヒ中毒の乞食に變裝せしめ使ひにやつて居たが先日も李永福外一名を變裝させ手紙を高粱稈の中に挿入し騰鰲堡にやつた處同村入口に於て見張り賊に發見され身體檢査の結果遂に高粱稈内の手紙を押收され匪首三勝のもとに護送された、三勝は大いに憤慨し劉二堡の川原に引出し多數村民の前で銃殺し手紙は燒却したと

開原の警戒

【開原】開原の東西兩方面には一通江口一は淸原縣より有力なる賊團開原に向つて前進しつゝありとの情報に依り軍警は嚴重警戒中であるが八月廿九日より更に義勇團は三小隊より成れる警備隊の一小隊を召集し毎日午後七時より翌午前五時迄各小隊交替にて當分附屬地内の警備を補助することゝなつた

小川氏の遭難詳報

【奉天】二十九日午前十時頃安奉線姚千戶屯、陳相屯間に於て小川組作民監督の下に滿洲人六名をつれ中間作業中約八十來襲つた家屋から突然廿四名の匪賊が現はれ作業中の滿洲人に對しこゝに日本人がゐるかと尋ねたので日本人はゐないと答へると賊はその滿洲人を毆打した賊と知つた小川氏は逸早く陳相屯方面に逃げ又滿洲人現業員の一部は高粱畑に他は姚千戶屯に入るや關屋地方事務所長、山崎

移民の奬勵時代に續々歸國する鮮農
撫順では既に七百人

【撫順】五月以來東邊道各地から當地に流れ込んだ避難鮮人は既に累計三千餘人を數へその大部分は當地鮮人民會や有志知友の世話を受け或は警察、炭礦等の斡旋好意により極草人夫や工事人夫として働き辛うじて生活を續けてゐるわけであるが、或は戶主や賴りにした兄弟を失つた老婦婦女子のみの家庭や罹病家庭は當地に止まつても何等生活安全の方法がないといふので、總督府、領事館、警察等の斡旋で鐵道割引乃至無賃乘車の便宜を得てぼつ〳〵鮮内に引揚げつゝあり、今日までかくして引揚げたる家族は合計二百六十九戶七百三十八人の多數に上つてゐる、卽ち移民出動の時代とは逆に切角の既移住者がかく歸還するは一面わが移民政策上甚だ芳しからぬこととして識者眉をひそめてゐるところではあるが、引揚鮮農等の語るところによれば、私等は滿洲に來て古い者は早二十年にもなるがまだ一度も歸國したこともないので今度一應歸るが、時局が安定すれば今度は老人は殘して知友若年を連れて再來する心算だ、併し從來の經驗に徵しどうしても交通便利で安全な地方で働きたいと思ふので、當局に於ては左樣な地域を調査物色して置いて貰ひたいものだといつてゐる

本庄將軍を送る沿線の歡喜
各驛は送迎人の山

【遼陽】柳條溝の滿鐵線を破壞されて約一年其の間に於ける本庄將軍の輝績は實に多大なるものがあつた廿九日午後急行で遼陽通過の日に凱旋せらるるに當り遼陽の日滿官民は擧げて將軍に對し心から成る見送りがあつた列車がホームに入るや關屋地方事務所長、山崎領事、貴島衛戍病院長、多門師團長夫人楊縣長其の他官民有志多數の挨拶を受け萬歲聲裡に離遂された

【鞍山】滿洲事變勃發以來幾多の大功績を擧げられ滿洲國の成立を觀た前關東軍司令官本庄繁將軍は滿洲に思出を殘し二十九日午後二時五十三分鞍山驛通過の急行列車にて南行したが驛頭には羽山少佐を始め將校團、泉警視、小野寺所長、林議長、右近、久留島各課長、在鄕軍人、青年訓練所、實業協會長、實業青年團、時局婦人會、小中學校生其他官民多數の迎送者があつた、將軍は感慨無量の體にて一同に言葉少なく別辭を述べ、小野寺時局委員長送辭を贈り市民一同感激の涙を浮べて別離を惜しみ迎送した

【大石橋】前關東軍司令官現本庄軍事參議官は本（二十九日）午後四時五分發上り第一二列車にて通過したが空には獨立飛行第十一中隊の戰鬪機警備地上は同隊地上勤務員至嚴の警戒を爲し又列車到着前二十分より驛頭には官市民は勿論在鄕軍人婦人團を以て埋められ青年聯盟支部處甲長は聯盟旗を掲げる支部員五〇を引率して參集歡送し滿洲國人は滿洲國旗を打ち振りて見送る樣人目を引く無慮二千の見送り人にて近來稀に見る盛況を造した

【瓦房店】光輝ある滿洲國誕生に貢獻し歷史上の大偉業と皇軍の武威を全世界に宣揚し赫々たる偉勳を顯し三千萬民衆の信望を一身に集め軍事參議官に補せられたる本庄將軍は二十九日第十二急行列車にて午後七時瓦房店驛着驛頭には日滿官民總出無慮三千ホームに堵列日本側代表阿川庶務主任各所局長の名刺二十名滿洲國側代表荒川指導員各所處長の名刺拾名を提出して惜別謝辭の敬意を表せば態々行歸う丁寧に挨拶あり天地も崩るゝ萬歲の嵐に展望車に巨軀を起立し一々擧手の答禮をなしつゝ華々しく母國へ凱旋の壯途に昇つた

安東のコレラは絶滅容易でない
山口關東廳衛生課長談

【安東】關東廳衛生課長山口俊太郞氏は二十七日夜來安、安東に於けるコレラ病の現地調査並に視察を爲し二十八日關係者と警察署に於て會合今後の處置につき協議を遂げ二十九日午前六時四十五分發歸任したが次の如く語つた

全滿的のコレラも安東以外の地は殆んど終熄した、何しろ安東は鴨綠江と云ふ大河を擁してゐる爲め絶滅は却々困難だ、殊に吐瀉物を殆んど江中に遺棄してゐるので困る、出入船も相當あるため日滿協力して大々的に根絶すべく、關東廳としても何等か方法を講じなければなるまいと思つてゐる、幸ひ附屬地内は當局の努力に依つて無難の樣であり感謝してゐる

安東のコレラ

【安東】當市街後潮溝の徐六子同蘭（二）宋水立（三）及びキリスト教徒王繼（三）の三名は二十八日眞性コレラと決定、家族は八道溝に收容する一方附近は交通遮斷し大消毒を行つた

日本少女使節の來滿延期を要望
營口青年聯盟で決定

【營口】營口青年聯盟支部に於ては當地が常に匪賊の爲めに襲はれ居住民は常に戰々兢々として戰場生活をつゞけ人心不安の極に達し商取引は、これが爲め杜絶し冬期結氷の際には更に一層の不安を感ずるにより居住民の生命財産安固を計るなら少くとも一箇中隊程度の常駐守備隊設置の必要ある事及び曩に滿洲國派遣の少女使節に對する日本少女使節が近く營口の答禮渡滿するよしなるも右は前記の如く沿線各地が現在の如き不安狀態では何時如何なる事變の勃發せずとも限らず使節の旅路絶對安全を期し難く且つ匪賊來襲に對する警備の爲日夜不眠不休の苦鬪をつゞけ常に不安危惧の念にかられ居る爲め使節を迎へるの氣分になり難きにより當分出發延期方の二項を具して本部に要望した

匪亂と豪雨中を綠林から綠林へ
馬占山討伐戰手記（下）
=（皆藤少佐）=

飛行機で第一線に糧食を送る事になつた、精靈を突いで決死の空輸である、投下した米袋が泥中に炸裂する、兵隊が土塊の中から米粒を洗ひ出す、砂金でも探る樣に一粒でも粗末には出來なかつた

氾濫地を殘るさき深みに足をすべらして馬もろとも水をくゞるものが少くなかつた、飯館の方は間もなく浮上るが水泳を知らぬ江省軍の兵隊は沈んだが最後それきりになるのが多い、麥畑の中で溺死するものが毎日續いた日があつた

其都度素ッ裸になつて日本の兵隊が次から次へと味噌汁の樣な水の中へ潛り込んで友軍の兵を救ひ上げる、水を吐かせる、注射をする人工呼吸をやる、十分二十分三十分なか〳〵息をふいて來ない「不行啊」？先方の將校はあつさりあきらめて居るのに日本兵はなんとかして生き返さうと思つて一生懸命である、日滿兵士の融合、がわで見て居つてホロリさせられる

これも共に苦勞をすればこそである

日滿親善の方法にはいくらもあるだらう、然し軍隊と軍隊との親善は最も有力なる一つの捷徑であることを信ずる、兎に角早く綏遠して互に知ることだ、でないと相手の習慣や風俗を重んずることが出來ない

日滿兩軍の到る處偏陬の地まで新國旗が誰が命ずるともなしにかゝげられた、怖はくて出したのかも知れんが兎に角今迄は旗の持ち合せもなかつたのだ、民間に對する認識の扶殖、作戰に伴ふ大きな收穫である、唯一の統治者である筈の「馬主席」がなぜ追はれて居るのかも百姓にはよく解つて來たる、馬に從つた將兵も少し新國家を識つて居つたらあれ程苦勞せずに濟んだらうに、それかあらぬか續々各地に歸順を申し込んで來るのが増えて來た、こゝに特筆すべきは昔から繰返して來た支那式の陰謀が滿洲國の庭の中では最早許されないといふ事だ、三千年來この方「萬乘之國弑其君者千乘之家…上下交征利」の思想は今でも同じ事、一波未平一波又起その波瀾の上に支那特權階級の生活があつた

その波瀾の下に喘いで來たのが百姓である、日滿兩軍今次の肅淸はまだ滿洲國人になりきれないで懐疑に迷ふ分子にも十分好い刺激を與へたこと、思ふ、まさか馬占山の死が民生の爲に殉じた佐倉宗五郎だとは思つては居らないだらう

秋の收穫に入る頃兵匪が消滅して行くといふ事は何んといふても百姓に對する福音である、江省の野に從軍して先づ氣のつくことは耕地面積の大きい點で、地表を覆ふ青々綿々の「莊稼」が地平線から地平線へ擴がつて何日行軍しても同じ所に居る樣だ、この耕作地に一寸でも改良の手を入れたら一體どこの港に持ち出すのだ、その吐け口が心配になる

所で百姓の生活はどうだ、生れて二日風呂につかつて牛と一緒に働いて死んで行くだけである、恐らく生れ落ちた第一第二日の温容が生涯を通じて一番のどかだつた生活に違ひない「見出而作、日入而息」宜なる哉、山藪の寒村には夜間燈火の準備がない、そして「一天到晩」働き通して剩餘は兵匪があつさり取り去つて行く、變つた生産と消費ではある

大きな部落にはたまに土地に不似合な煙突を見る「××燒鍋」（焼酎製造所）といふのがそれである、いづれも萬福麟とか馬占山とかを金主とする製造工場だ、人民の膏血がその煙突から煙になつて消えて行くかと思ふと寒くなる

搾取といふ言葉がこの土地にぴつたりと合ふ

「養生喪死無憾王道之始也」いくら孟子が叫んだつて口舌の文明は「有權階級と無權階級」（被治階級）を持つ階級と搾取を持たぬ階級の對立を今日迄續けて來たのではないか、古い樣だが滿洲國のうぶ聲は人類眞正の叫びである、これなしも政治的に解決せんとあせる列强の浅墓さ、そこに杞憂にのみ偏する近代外交の醜さがある（をはり）

沿線往來

▲八田滿鐵副總裁　廿九日安東へ

▲木村九大教授　卅一日新京へ向ふ筈

▲閻奉天市長　廿九日歸奉

▲駒井長官　廿九日歸任

▲滿洲國政府大橋外交部次長並に阪谷財政部總務司長は北滿水害狀況視察のため二十五日午前飛行機にてチ、ハル上空へ飛來し同地には足を入れずに飛去つたが途中泰安鎭訥河方面を視察して長春に向つたと

李海青軍大擧し 安達縣城を包圍す
齊哈間等通信杜絶

【チチハル特電二十九日發】李海青軍四千名廿九日安達縣城を包圍して市内に火を放ち隨所に火災起り市民はいち早く避難しつゝあり江省軍はこれと對峙し攻撃しつゝあるも兵匪は猛烈な勢ひにてその一部は西部線に進出し安達驛を攻撃しつゝありチチハル、ハルビン間の電信、電話は切斷された、齊克、洮南、四洮各線兵匪のため通信機關悉く切斷されしためチチハルより○○機○○に向け爆撃に向つた

本庄中將搭乘の 列車を襲ふ
熊岳城附近の鼠賊

本庄中將搭乘の列車が熊岳城驛に到着の時、同驛西方二清里の地點にある李山に約三十名の匪賊が襲來したこの報により直に同列車の後續裝甲列車に乘つてゐた兵士が現場に急行直にこれを擊退した、このため本庄中將搭乘の列車は熊岳城に三十九分待機した

騎兵監に 榮轉凱旋
吉岡豊輔少將

酷熱の北滿戰線を馳驅し敵將馬占山を擊滅せる吾の騎兵○團長吉岡豊輔少將は將陸軍異動で中將に昇進騎兵監に轉補されたが、三十日午後三時二十五分發安奉線列車にて凱旋赴任した、驛頭には關東軍司令部幕僚始め官民多數我が輝ける凱旋將軍を見送つた【奉天電話】

省城攪亂で 軍費稼ぎが目的
城内の密偵とも聯絡
來奉者を嚴重取締る

二十八日夜匪賊團の奉天省城襲擊は既報の通りであるが同匪團襲來の目的は省城攪亂でそれによつて學良より多額の軍資を領收せんとするもので匪團の先發隊は二十八日書間雜沓にまぎれこんで既に城内に數名のものが紛れこんでゐた模樣でこれが夜半を期して八方に急を聞き驅つける警備隊員を要所要所にかくれて狙擊せんとする計畫であつたものの如くである、又これ等賊團に襲來前省城潛入の密偵と充分なる聯絡を取つて決行したものとみられてゐるので滿洲國警務署においては密偵の潛入を防止するため來奉者を嚴重に取締る筈である、なほ匪賊團の奉天襲擊は兩三日前から二十八日夜半を期して決行するとの謠言が流布されてゐたとも言はれてゐる【奉天電話】

木蘭駐在員 殉職す
匪賊に襲はれ

【ハルビン特電三十日發】木蘭派遣の民政部駐在員青木勇次郎（二八）氏は二十八日午後四時江防艦隊との聯絡をなし歸途匪賊に襲擊され艦隊に引返し應急手當を加へハルビン歸還途中昨二十九日午後三時十分死去、氏は神奈川縣三浦郡出身拓大卒業生にて民政部最初の犧牲者である

六外國船長に 褒章を贈與
關東震災に難民救助

【東京三十日發】本年は大震災の十周年である、畏き邊ではこの震災記念日に際し横濱の避難民五千人を救助した在濱の外國船六隻の船長の人命救助の功勞を思召され三十日褒賞條例設以來二度目といふ無二の金鵄勳章たる紅綬褒章を當時の六船長に贈與の御沙汰があつた

英國船ライカオン號船長　エー・ゴードン
同ペンリフオフク號船長　アレキサンダー・ウエブスター
同ドンゴラ號船長　アール・グリフイン
同エムプレス・オブ・オーストラリヤ號船長　エス・ロビンソン
オランダ國船アイリス號船長　コーニングス
フランス國船アンドレル・ボン號船長　シエークサン
贈與紅綬褒章（各通）

聯合艦隊演習
横須賀を出港

【横須賀三十日發】小林躋造中將の率ゆる聯合艦隊金剛以下六十四隻の艨艟は三十日午後一時横須賀出港九時南方海洋上で行はれ演習に參加のため有明灣に向つた、なほ途中大阪に寄港の筈

建國祝賀の花火大會
來月十五日新京を振り出しに
大連は二十日に開催

滿洲建國に對し日本全國民を代表して祝意を表さうとの趣意から新京外沿線主要地で花火大會を催すべく計畫を進めて居る滿洲國建國祝賀會では本部を東京神田三河町に置き、曩に會員伊藤榮作氏を派遣して軍當局その他と折衝せしめたが、愈々九月中旬を期して實行することに決定、右先發として宮前銕堂、井上榮の兩氏は來月十一日着連の豫定である、同會は前記花火大會の外全國民の署名を集めた賀帳を滿洲國執政府に捧呈する由である、なほ花火大會は來月十五日先づ新京に於て第一回を催して續いて十八日奉天、吉林、ハルビンの各地に於て一齊に開催、越えて二十日大連に於て開催の豫定で滿洲各地に於ては我社が後援に當ることゝなつた

州內軍勝つ
對州外水上競泳大會

州內外對抗水上競技大會は既報の如く二十九日開催、二十五對十七で州內快勝した、戰績左の如し

▲千五百メートル　一着川崎（州外）二十二分四十七秒四（滿洲新記錄）二着熊野、三着史
▲百メートル　一着塚本（州外）一分〇五秒八、二着水田、三着永山
▲百米背泳　一着仁田（州內）一分二十四秒八、二着片山（州內）三着岩本（州內）
▲八百メートルリレー　一着州內チーム（佐藤、熊野、片山、仁田）一〇分四八秒四（滿洲新記錄）二着州外チーム（水田、川崎、北瀬、坂本）

◇◇（經過）トップ水田約二メートルを離して川崎に代り州內熊野よく頑張つてそのまゝ第三片山に替る片山力泳し百メートルにその差を半メートルに縮め百六十五で北瀬疲れ切り片山これを拔いて十二メートルの差をなし第四仁田ますます〳〵その差を大きくし二十五メートルの差で勝つ

▲得點

種目	州內	州外
二百リレー	三	〇
四百メートル	三	三
平泳（二百）	三	三
五十メートル	三	三
千五百メートル	三	三
百メートル	一	五
背泳	六	〇
八百リレー	三	〇
計	二五	一七

秋季競馬
第二日の午後

廿九日星ヶ浦秋季競馬第二日目午後よりの成績左の通り尚當日の馬券賣揚げは三萬三百八十圓で第一日同樣二日目も降雨のため成績不良であつた

▲第五競馬（駆馳速歩五頭）三千二百米　第一着萬歳（山下騎手）八分十一秒二、第二着濱花、第三着大福、配當（單）三十圓六十錢（複）一着七圓六十錢、二着七圓四十錢（附加券）一等百三十五圓三十錢、二等四十五圓十錢、三等廿二圓五十錢以下十一圓廿錢

▲第六競馬（各抽八頭甲）千六百米　第一着一（甲斐騎手）二分十七秒四、第二着良因（四馬身）第三着羽衣（頭）配當（單）五十圓（複）一着五十圓、二着五十圓、三着八圓廿錢（附加券）一等二百六圓四十錢、二等六十八圓九十錢、三等廿四圓四十錢以下六圓八十錢

▲第六競馬（各抽七頭乙）千六百米　第一着昇龍（福島騎手）二分十二秒四、第二着興（九馬身）第三着瑞流（七馬身）配當（單）二十一圓（複）一着十二圓三十錢、二着八圓九十錢（附加券）一等百八十六圓七十錢、二等六十二圓二十錢、三等三十一圓二十錢以下七圓十錢

▲第七競馬（新抽十頭）千六百米　第一着日輪（川合騎手）二分廿三秒一、第二着天正（一馬身）三着第一曉翠（大差）配當（單）五圓九十錢（複）一着五圓八十錢、二着八圓八十錢、三着十四圓七十錢

▲第八競馬（各抽二頭）二千米　第一着三白（山下騎手）二分五十三秒三、第二着吉林（頭）配當（單）五圓二十錢（附加券）一等二百三十六圓三十錢、二等百一圓廿錢

▲第九競馬（新抽七頭）千六百米　第一着鳥海（福島騎手）二分二十六秒、第二着鎧國（頭）第三着七夕（大差）配當（單）十四圓九十錢（複）一着六圓八十錢、二着五圓七十錢（附加券）一等二百六十三圓、二等八十七圓六十錢、三等四十三圓八十錢以下十圓九十錢

▲第十競馬（各抽九頭）千八百米　第一着海拉爾（二渡騎手）二分三十四秒四、第二着瑞流（二馬身）第三着南印（六馬身）配當（單）十圓十錢（複）一着五圓七十錢、二着［illegible］十錢（附加券）一等二百四十二圓四十錢、二等八十圓八十錢、三等四十圓七十錢以下五圓七十錢

▲第十一競馬（ダービー九頭）二千四百米　第一着英飛（青柳騎手）二分三十二秒一、第二着［illegible］第三着花園（一馬身差）配當（單）六圓七十錢（複）一着六圓四十錢、二着［illegible］三着九圓七十錢（附加券）一等二百八十六圓七十錢、二等九十五圓五十錢、以下七圓七十錢

▲第十二競馬（各抽五頭）二千米　第一着惠以（保利騎手）二分五十一秒一、第二着天龍（四馬身）第三着千昌（四馬身）配當（單）九圓三十錢（複）一着六圓二十錢、二着八圓五十錢（附加券）一等三百六十三圓十錢、二等百二十圓八十錢、三等六十圓四十錢、以下十圓二十錢

▲第十三競馬（新抽十頭）千六百米　第一着正和（山下騎手）二分卅一秒二、第二着左近（鼻）第三着蒙古（三馬身）配當（單）三十五圓六十錢（複）一着七圓六十錢、二着八圓四十錢（附加券）一等三百七十六圓三十錢、二等百九十五圓四十錢、三等六十二圓七十錢、以下八圓九十錢

▲第十四競馬（各抽九頭）千八百米　第一着神風（內村騎手）二分三十三秒二、第二着東（一馬身）第三着一白（一馬身）配當（單）四十六圓四十錢（複）一着九圓三十錢、二着五十圓、三着六圓十錢（附加券）一等三百七十三圓四十錢、二等百二十四圓四十錢、三等六十二圓二十錢、以下十圓三十錢

金州市民會の案內で 名所古跡を見物
本社で萬全のサービスを期す
金州のりんごデー

來る九月四日の本社主催の金州りんごデー當日は金州市民會で一行を歡迎し、南山、響水寺に湯茶の接待所を設くることは既報の通りであるが、今年は特に一行が一先づ南山に集合するので、本社サービス係では、この機會に金州の名所、古跡を紹介したい意味からその勞を金州市民會に依賴したところ、快諾を得たので、當日は南山に案內所を設けて、希望個所毎に一班となし、參加者のために各班に一名のリーダーをつくることにしたが、金州に到着後、淸遊に許される時間は約七時間半もあるので充分に見學も出來る、いま主なる金州の名所、古跡を金州要覽より摘記して參加者の參考に供することにする。

南山　金州驛より七町にして南山に到る、南山祠は昭和三年十月金州在住邦人が御大典記念に日露の役に南山の露と消へた將士の英靈を弔はんために建立せるものであるこのほか匪賊に仆れた吹山警部補の記念碑金州の支那人士が皇軍の忠烈に感激して建てた昭忠碑等もあり頂上の戰跡塔より金州一帶を眼下に收めて風光頗る佳である

金州城　金州驛より二十町餘、何時の代に築城せられたるかは不明であるが、明の洪武四年（西曆一三七一年）遼陽右署左丞張良佐此地に駐在し城壁の修築に著手、洪武八年指揮同知韋富が更に工事して十年に完成せるものである、城の周圍に四門あり、東門を春和門、西門を寧海門、南門を承恩門、北門を永安門と云ふ

三崎山　金州城外第一の絕景である、金州驛より馬車で三十分、日淸の役に陸軍通譯として第二軍に從軍遂に殉じた、福岡縣出身の鐘崎三郞、山崎羔三郞鹿兒島縣出身の藤崎秀の三氏の姓に因みてつけたる名稱である、山上に三烈士の碑あり、山上は金州城及び南山を前にし、山水の美を一眸に聚め、春より秋にかけて雅人の杖を曳くものが多い

天齊廟　通稱地獄極樂で驛より馬車で二十五分、邦人の間には地獄極樂と稱して金州見物の目的の一つになつてゐる何時の代に創建されたかは詳かではないが、境內に明の武宗正德二年の碑あるを以て、四、五百年前のものと稱されてゐる門には四天王を安置し、東西には冥府十王及八大地獄の塑像を列べてゐるが、これを見ると子供のときに誰からとなく聞いた地獄の鬼を想ひ出す

響水寺　金州驛から八里床を廻つて一里半、馬車をかれば一時間にして到る、ここは女媧后を祀つた道觀である、響水觀と記された山門をくゞれば洞窟あり、滾々としてつきぬ淸水が湧いてゐる、水は更に流れて天水靈となり琴洞の濃さなる、山深くして銷夏の好適地又紅葉の頃も佳い、當日解放される林間學舍もあるが、日露の役には第一師團長伏見宮貞愛親王殿下羽所を駐められしと聞く

また白系露人が 浦鹽を脫出來滿
北海道から入港した
明石丸でけふ上陸

大三輪會社扱ひ明石丸は三十日北海道より仁川經由入港したが同船で浦鹽において虐待され遂に獵舟に乘つて遙々北海道に渡り身の振り方を依賴した白系露人ペヨトルアサリンスル（五三）外四名が送還されて來た一行は本月十日僅か許りの勞銀を懷中に運を天に任せて北海道に渡り小樽水上署員の厚意で五十圓の金子と衣類をもつて來た、一行は浦鹽附近の鰊漁場におつたがその待遇が餘りに酷なので逃亡する氣になつたもので今後は奉天に行き知人を尋ねて何か職につく考へであると

契舟文化を語る 碑文を研究した
鳥居博士の調査談

考古學の權威鳥居龍藏博士は令息令孃を伴ひ滯奉中であつたが二十九日午後一時の急行で遼陽に向つた、氏は本庄將軍に挨拶を述べた後語る

去月東京を出發し朝鮮に約十二日間滯在奉天では蒙古林西方面から蒐集された貴重な碑文を研究したが、その碑文は廿餘種あり、いづれも今から九年前、藤原時代の遼聖祖、興祖、道祖の時における契丹との交涉を有するものであることが判明した、遼の盛大な時代は北宋との往徠より寧ろ契丹から高麗との交通があり東蒙古から現在の朝鮮に使者などが派遣された關係から遼の文化は高麗に非常に多くその遺物をみる、從つて契丹の文獻は遼に負ふところ多く、それが殘つてゐるのは朝鮮である、蒙古から集められたこれらの碑文は契舟の文化を知る上に良參考となり蒙古と高麗の接觸もこれによつて判る、遼陽では白塔と東京城を研究する豫定であるが、遼陽の塔も亦遼陽時代に築かれたもので、東京城は今も尙ほ土壤の殘つてゐることによつてその遺跡を知ることができる氏は遼陽に兩三日滯在の後北行、チチハル、ハルビンの阿什河地方を視察し九月中旬再び來奉の豫定である【奉天電話】

東北地方に 花嫁探し
海外青年の爲

【東京三十日發】最近內地の不況から働けば食へる南米その他海外への青年移住多く渡航に臨時船を出す盛況だが青年の海外雄飛に必要なのは花嫁なので日本婦人海外協會は會長松平とし子、西尾、杉田兩幹事等本部總出で來月上旬東北凶作地米澤、仙臺方面に嫁探しに出掛けて各支部で講演、映畫、座談會を開き町村處女を集め宣傳する

滿鐵々道部鐵砲打ち（敢て鐵砲打ちと言ふ）の三羽烏である驛運課森永、江崎、關の三主任殿が二十八日の日曜に仲良く打揃つて金福線登沙河に鴨打ちに出かけた。

◇

朝の八時から夕方の五時まで身體一杯に捲きつけた彈を打ち盡くしてさて一行の獲物は合計實に鴨が九羽しかも家路に遡る時の姿は今日仕事始めの森永氏が九羽、關、江崎の兩氏はなんと鳥を打ちに行つての土產が牛肉二百匁となつたではないか「なんですか、朝から出かけてゐて」と關、江崎兩夫人の不機嫌に引きかへ森永夫人のニコ〳〵顏。

◇

話は一轉して森永さん今春鐵砲を買つたが奧さんの許しが出ぬ「貴方なんかに鳥が打てますか」と劍もホロゝの言葉、さてこそ森永さんこの日は右に噛りついても鴨を物にせねばならず、かくて九羽を土產に持歸つたので早速奧さんから「貴方もう鐵砲使用を許可してあげるわ」で目出度し〳〵

◇

そして廿九日午後江崎、關の兩主任が森永氏を鴨にして盛大な晚餐會を開いたがこの理由は森永夫人に內所々々、要するに江崎四羽、關五羽の獲物でしたが〇〇〇終りッ。

匪賊來襲の奉天

【上より】（一）燒けた飛行場（二）滿洲警察隊の防備（三）我軍出動準備（四）討伐より歸る〇〇隊

北滿水災救恤金募集

北滿各地は二十年來の大水災に見舞はれ加ふるに惡疫流行、馬賊跳梁、食料の缺乏等悲慘の極に達し數萬の在留民は饑餓線上に彷徨しつゝあり此の窮狀を救ふ爲左記に依り救恤金を募集することに致しました各位奮て御贊同を願ひます

昭和七年八月

發起人

大連民政署　滿洲日報社
大連市役所　大連新聞社
南滿洲鐵道株式會社　滿洲報社
大連商工會議所　泰東日報社
大連華商公議會　關東報社
西崗華商公議會　滿洲文化協會
西部大連商民公議會　大連各婦人團體聯盟

記

一、救恤金額　隨意とす（團體の救恤金は可成一纏に申込まれたし、救恤金を受附けたるときは領收證を發しなほ其金額氏名を發起人たる各新聞紙上に登載す）
一、募集期限　九月十五日限
一、受附場所　大連市役所庶務課
一、分配方法　救恤金は特に指定するもの、外滿洲國政府に送付し分配を一任す

曙の鐘（392）

倉田潮　河野想多畫

旅鳥（一）

春木は銀次と別れてから「飲み正」と共に、洗濯石鹸の行商を始めることにした。

「旅には金を持つて出てはならない」と云はれてゐたので、春木は五圓の金を持つて來たことも今迄隱してゐたのであつたが、銀次と別れて後はまた野宿をせねばならないと思ふと、それが辛さにつひ飲み正は漫然と其の金をつかつてしまつたのでは義理が立たないと云ひ張つて、つひに行商を初めることにしたのだつた。前の旅にも此の商賣をしたことがあるとかで仕入れや賣方の詳しいことまで知つてゐた。

蒸籠の中に這入つたやうなむし暑い桑畑を傳つて、春木は飲み正と商品の包を負ひながら、村から村へさまよつて行つた。びろうどのルバシカは泥と垢に染まつて醜臭をはなち、帽子は破れ襟は陽にやけて一寸目と見られない姿に變つた。とは云へ、自然の下に生ひ育つた人と接し、己もまた自然と共に生きるよろこびを覺えてからは文明に腐つた都會に歸らうといふ考へにはなれなかつた。名もなき一個の自然兒として、肉體を土に歸さうと思ひながら、目あてもなく關東の平野をさまよつて行くのだつた。

村家では町に出て綿をかふ不便をさける爲に、行商人を歡迎した。中にも村の娘は多く一と處に集まつて機を織つてゐるので、午後の歸きが來た時分に行くと、よつてたかつて行商人をからかつた。飲み正は娘達にからかはれるのが大好きで、後には日課の晩酌を犠牲にして、ベルツ水と普通の石鹸まで買ひ入れて、女の好意を購けさを求めることにした。

その結果二人は野宿をまぬがれて、木賃宿に泊ることの出來る「身分」になつた。同時に飲み正はまた晩酌の焼酎二合を初めたが、今度はそれも格別二人の生活を脅さなかつた。

ある夜二人が遲くなつて仕事からあがつて見ると、その村に泊る可き宿のないことが知れた。次の村まで歩くことにして野路をたどつたが、いくら行つても隣り村まで行きつけない。日は暮れて、空腹は烈しく、咽喉が非常に渇いたが、桑畑ばかりで水は全く見あたらなかつた。

「路に迷つたのかもしれないな」

と春木は先の村で教はつて來た道順を思ひ出しながら歩を止めた。酒の氣がないので、飲み正は默つて土唇を[illegible]になめてゐた。

すると、そこへ背後から浴衣に伊達卷をした三十がらみの女が通りかかつたが、飲み正を見ると行きすぎたのに立ち止まつて、

「あんた、來る道で、四十五六の浪花節語りに逢はなかつたかね」

と訊いた。飲み正が首を振つて

「逢はねえ」

と答へてゐる暇に、春木が横から其の女の姿を見ると、別に美しいといふほどでもないが、と云つて醜いとも云ひ兼れる、宿屋の女中みたいな女で、手に小さい包をさげてゐた。飲み正の返事に彼女は暫く考へこんでゐたが、

「ぢや、私」と急にしらけた顔付になりながら「矢つ張り、置いて行かれたのかもしれない」

「誰にだい」

「その浪花節語りに、亭主にだよ」

と何時か二人と歩みを合せて歩き出したのを、飲み正はからかひ半分に、く、く、……と持ち前の笑ひを洩らして、

「あんた見たいなよい女が、何うしてまた男においてけ放りにされたものかね」

「別に女が出來た樣にもないが……時々町の白首のとこい通つてゐたから、二人がしめし合はせて逃げてしまつたのかしれない」

とがつかりして急に疲れが出た樣子だつた。春木は同情しない譯には行かなかつた。

柳壇

髮

高橋月南選

大連　北光

断髪が大股で出るビルディング

塗りあきて着あきて髪を縮らかし

大連　古垣　玉江

ロール巻帽子に少し大き過ぎ

大連　遠江　檀江

辮髪を時代遅れのやうに垂れ

丸めたる尼僧昔を忍び泣き

旅順　生野　扇風

髪たつむバリカンの音眠くなり

床屋から出る香水の匂ふ風

大連　廣島　孤松

はにかみへ断髪少し物足らず

鞍山　沼田　大耕

美容院土用波はご鏝をかけ

奉天　笠原　青蛙

髪結へ一日分を棒に振り

タイピスト正月だけを日本髪

番臺へ少しはすんで髪洗ひ

大連　鈴木　斗南

刈つた夜は兎角下宿に居つかれず

染めたれど皺をもかくす術もがな

小倉　中村　土太郎

尖端は變形髪を武器となし

ちよい惚れの髪の女は夜叉であり

旅順　田中　泥波

髪切つて尖端をモガの肩の風

寢くたれの髪恥しく明ける朝

大連　三井　三子男

髪の毛がせめて男姿の形見なり

断髪が下駄で來る海水場

旅順　久保田　三坊

断髪屋お客はみんな娘なり

山海關　吉田　甲子

藪入りの息子髪だけ一人前

高島田結ふてちつと肩がこり

大連　小田　壽

断髪へ今日も相手が又變り

普蘭店　土地　せつ

丸髷もお下げも集まる同窓會

お岩かと思へば洗髪樹下に立ち

大連　淺田　輝坊

床上げに三月振りの髪を結ひ

戰場で遺族に送る髪を摘み

断髪の口癖にでる經濟論

周水子　玉木　包山

親許へ歸るに髪の短か過ぎ

惜しそうに髪の切られる入營日

断髪の寫眞に親は聞入れず

普蘭店　河本　登志緒

白髪を染めて五十路を若く生き

理髪師は玩具のやうにびん廻し

大連　田中　黒衣

断髪になつて長髪かきむしり

旅順　亞鳳

断髪の亭主をつれてピクニック

髪のくせうまくウエーブに應用し

断髪が伸びて日取が決定し

大連　高橋　竹對

一本の白髪へ己れの秋を知る

支那老婆狂氣のやうな髪飾り

普蘭店　矢野　公彦

桃割を結はせて母は滿足し

ひよつこりと丸刈にして笑はせる

大連　中薗　最治

調髪へ夫婦で來る新時代

奉天　家本　北星子

顔髪にかくせぬ年の色があり

共稼ぎ合せ鏡にある亭主

周水子　内田　まなぶ

日記帳今日だけ書けぬ初島田

國からの慰問三筋の髪があり

普蘭店　坂井　いさを

断髪がもとで縁談こわされ

出動に遅れて断髪戀しがり

奉天　高見　不二夫

初島田褒めらるゝ度赤くなり

出征の夫に捧げる黒い髪

滿日柳壇課題

▽題　「二周年」「暗號」「銀高」

▽締　九月十日限（各題別紙の事）

▽句　各題五句住所氏名明記のこと

▽賞　佳吟に滿賞を呈す

▽宛　大連市能登町十高橋月南

第六回　滿日特選碁戰

先番　鈴木秀子三段

互先　飯田春治三段

【10】

對局者の感想

黒曰く　一九三（タの一）及び一九五（よの一）のハネつぎは大きいやうでした

けふの放送

大連　JQAK

八月三十一日

▲午前六時　ラヂオ體操

▲午後七時三十分　ニュース

▲講話「開通したる旅大裏道路に就て」關東廳技師中村貞輔

▲マンドリン獨奏「ニ長調司伴樂」（ザイツ）伊藤十五郎

▲謠曲（梅若流）「江口」渡邊三策

▲長唄「蓬莱」唄杵屋正春、三味線常磐櫻一瀧

▲職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

東京　JOAK

八月三十一日午後六時三十分（大衆演藝の夕）

▲萬歳（大阪より）「藤兵衛囃し」蝶家蝶丸、同富十、囃子連中▲浪花節（大阪より）「義士銘々傳中山安兵衛婿入り」雲井式部▲放送劇「隣り合せ」楠本朴念人作（場景）裏長屋の黄昏、翌日の或る街の午後、チンドン屋田部栗助（曾我廼家五郎）其弟子（時右衛門）同（蝶々）同（淸蝶）栗助女房おさと（大磯）吉松（蝶太郎）重吉（時松）役所の小使河村武助（蝶六）其の件新助（林蝶）栗助娘藝者（秀蝶）紳商石川淸造（一郎）救世軍大尉濱田（五六）酒屋山サ番頭平助（五樂）其の他、鳴物曾我廼家音調部、放送指揮曾我廼五郎

駐滿軍隊慰問金（二）

七十三圓五十錢正隆銀行本店有志、二十圓大谷淸二、十一圓六十錢大連地方法院有志、十圓鈴木兼重、五圓権野幾太郎、同副島善五郎、二圓五十錢中村ナツ子、二圓建石仍平

計百二十九圓六十錢

累計九百七十七圓六十錢（八月二十四日迄）

北滿地方水災救恤金（二）

二百四十圓三井物産大連支店員一同、五十六圓大連彌生高女職員生徒一同、五十三圓二十錢金光教健兒團、三十圓大連取引所信託會社員會一同、二十圓大谷淸一、十圓溝上洪盛堂藥舗、二圓五十錢中村ナツ、二圓中堂トメ、同大賀フユ

計金四百十五圓七十錢

累計二千五百六十四圓五十錢（八月二十五日迄）